

消防職員用被服等仕様書

納入場所：山武郡市広域行政組合消防本部指定場所

納入期限：令和8年1月30日まで

山武郡市広域行政組合消防本部総務課

令和7年度 消防職員用被服等仕様書一覧

1	男性消防吏員用冬服一式仕様書	(1～8頁)
2	女性消防吏員用冬服一式仕様書	(1～7頁)
3	ワイシャツ仕様書	(1～9頁)
4	夏服一式仕様書	(1～11頁)
5	活動服一式仕様書	(1～11頁)
6	救助服仕様書	(1～9頁)
7	救急服仕様書	(1～12頁)
8	防寒衣仕様書	(1～7頁)
9	雨衣仕様書	(1～11頁)
10	ヘルメット仕様書(ダイヤル調整有・リング式)	(1～9頁)
11	ヘルメット仕様書(ダイヤル調整有・ワンタッチ式)	(1～9頁)
12	ヘルメット仕様書(ダイヤル調整無・リング式)	(1～9頁)
13	ヘルメット仕様書(ダイヤル調整無・ワンタッチ式)	(1～9頁)
14	ヘッドアップライト及びスペアゴム仕様書	(1頁)
15	防火手袋仕様書	(1頁)
16	救助革手袋仕様書	(1頁)
17	ブーツバンド仕様書	(1～2頁)
18	防塵メガネ仕様書	(1頁)
19	防塵マスク及び吸収缶仕様書	(1頁)
20	墜落制止用器具仕様書	(1～4頁)
21	防火フード仕様書	(1頁)
22	丸首シャツ等仕様書	(1～2頁)
23	短靴仕様書	(1～7頁)
24	編上靴仕様書	(1～9頁)
25	エルボーパッド・ニーパッド仕様書	(1頁)

別紙納入物件一覧表

1 男性消防吏員用冬服一式仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する男性消防吏員用冬服一式について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この冬服一式は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は、受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 材料

(1) 生地一般

ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。

イ 織り上がりは、均整で、織りキズ、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

(2) 指定材料等

別紙1のとおり。

2 形状等

(1) 冬帽

別紙2のとおり。

(2) 冬服

ア 上 衣 ダブル、剣衿、六釦2ツ掛け、ステッチあり、左右衿バッチ穴、背抜き仕立てとする。

イ ズボン 長ズボン・裾シングル型、オビ付（巾35mm）左右後ろポケット、雨ブタなし、左ボタン止め仕立てとする。

(3) 革ベルト 革ベルトとし、巾28mm、黒色にするとともに、バックルの形状は風防型ワンタッチ式とし、消防署章付きとする。なお、長さについては、標準品のほか長尺品を含むものとする。

(4) ネクタイ 大剣幅 9.0cm（±0.3%）

小剣幅 4.0cm（±0.3%）

全 長 145.0cm（±3.0%）

本裏加工とする。

3 縫製

(1) 冬帽

ア 天井・まち

- (ア) 裏天井にビニールを張り、円端をミシンで逢着する。表天井と裏天井を合わせ、円端をミシンで縫い合わせる。
- (イ) まちは前面2枚、後面2枚を縫い合わせる。
- (ウ) 天井とまちを切り込み合わせ、ふくらみを作りながら縫い合わせ輪状とする。

イ 腰布

裁断した腰布は後部を縫い合わせ、輪状とし下端に玉縁を付ける。

ウ 蛇腹

蛇腹を寸法に裁断し、約1cmの縫い代で縫い合わせ輪状とし、縫い目は片返しとする。

エ 前立バネ

天井正面内側に、前立バネの先端を縫い付ける。

オ 腰枠・庇付け

- (ア) ポリエチレン板を頭廻り寸法に合わせ、輪状にホチキス又はミシンで縫止めする。
- (イ) 腰枠に庇を縫い付ける。

カ 仕上げ・まとめ

- (ア) 庇の付いた腰枠に帽体を挿入し、帽体の前面中央と庇の中央を正しく合わせ前方庇部をまとめ縫いする。
- (イ) 末端生地を内側に折返し、ぴん皮を縫い付け、後部の両端を合わせ、鳩目で重ね止めする。
- (ウ) 帽子の内側の天井に輪状のプラスチック枠を入れる。
- (エ) 蛇腹を腰に巻くとともに、階級により金線又は黒線を縫着する。
- (オ) 帽章を帽子の前立て線の中央線に添うように取り付ける。
- (カ) あご紐を本体側面の下端に耳章で止める。

(2) 冬服

ア 上衣

衿 剣衿とし、衿付けは縫い倒しミシン割り縫いとする。

衿付け 下衿は腰刺し7本以上、上衿は山刺し2本とし、衿腰は30mm
衿の返りは40mmとする。

裏 背抜き仕立てとすること。

肩縫い 表は割り縫い、裏は片倒しとし、肩綿を入れる。

ダーツ 胸1本ウエスト線まで、脇は裾まで、裏も同様、表ダーツは割り縫い、裏ダーツは片倒しとする。

胸ポケット 左胸部に1ヶ付け、左胸部内側身返しよりに『手帳吊ループ』をつける。

口布の巾25mm 口巾は115mm 深さ140mm。

	ポケット位置、裏に力布の巾を広く当て地縫する。
腰ポケット	両玉縁、雨蓋付とし、周囲に飾りステッチなし。 左右腰部にそれぞれ1つ付ける（別図の通り）。 雨蓋の巾は55mmとし、ポケット口巾は150mm 深さ200mmとする。 ポケット両端に機械門止めとする。
内ポケット	左右内側胸部にそれぞれ1つ付ける（別図の通り）。 両玉縁、三角雨蓋付14mmハトメ穴とする。 口巾は140mm 深さ180mm。
袖付け 袖	袖裏はまつり縫い又はミシン縫いとする。 割り縫い、上袖は130mmの袖芯を入れる。袖蛇腹は袖口より110mmの位置に付ける（別図通り）。袖周章用金銀線は蛇腹の袖口側に間隔なしで付ける。
裾 階級章	フラシ奥縫いミシン縫い可、表地折込は40mm以上とする。 着用時右ポケット中央上部に階級章（ウェルダー）及び階級章止め（マジックテープ）を取り付けること。
釦ホール	ハトメ機械穴とする。
衿吊り	衿腰中央に付ける。
品質表示	片布の下に付ける。
イ ズボン	
脇ポケット	脇縫い前身上部で巾50mm 上端より70mmの位置で150mmのポケット口巾として、機械門をポケット上部下部に行く。 ポケットの深さは下部門より120mm以上とする、ポケット巾は下部門の位置で150mmとする、上部門の位置にて白布の巾80mm以上を袋地として縫い付ける。 袋の裾は縫い返し飾り6mmにて縫う。
内ポケット	右側内側に口巾80mm 丈150mm 下部巾70mmのポケットを付ける。
尻ポケット	左右後身上端より80mmの位置にポケットを付ける。 袋地はポケット位置に張り必ず腰かざり上部にかかるように縫い付ける。 口巾140mmで片玉縁、雨蓋無しとし、左はボタン止めとする。
タック	左右各一本外倒しとする。
棒シック	小又門より後身に70mm以上のシックを浮かし付ける。前立てミトラファスナー開閉式とし、前かんを取り付けること。
尻縫い	割り縫いとし二重縫いにすると共に上部で20mm以上の縫代とする。
裾	折り返しは50mm以上とし巾20mm 丈150mm以上の靴ズレをつける。
膝当て	両端がほつれないように縫い付ける。

前立天狗	前立はファスナー開きとし、持出し付きとする。 上部にカギホックを付ける。 天狗に芯地布を付ける。
片布	右側脇ポケット上部中央に付ける。
品質表示	片布の下中央に付ける。

4 寸法

(1) 冬帽

頭廻り 54cm～62cm まで1cm 刻みとする。

(2) 冬服

ア 上着

(単位：cm)

サイズ	着丈	肩幅	袖丈	バスト
A 2	70	44	54	103
A 3	72	44	56	105
A 4	73	46	58	110
A 5	75	48	60	115
A 6	77	50	61	120
B 2	71	47	56	110
B 3	73	49	57	115
B 4	75	51	58	122
C 2	74	44	57	103
C 3	75	44	59	105
C 4	77	46	61	110

イ ズボン

(単位：cm)

サイズ	ウエスト	股下
2号	73	74cm上がりを基準に偶数単位で股下の調整をする。
3号	76	
4号	79	
5号	82	
6号	85	
7号	88	
8号	91	
9号	95	
10号	100	

第3 検査

- 1 検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものと

する。

第4 補則

- 1 冬服一式の納入先は、当本部が指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合及び本仕様書に記載されていない事項については、当本部担当者と協議しその指示を受けること。
- 3 落札業者は紡績メーカーの出荷引受証明書を提出すること。

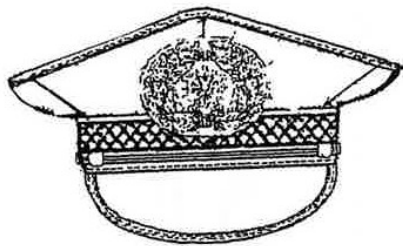
別紙 1

指定材料等

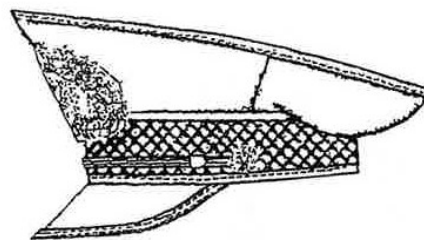
- 1 冬帽
日本毛織（株） 400番 E紺色
ウール100%
- 2 制服
 - (1) 表地
日本毛織（株） 440番 C／＃ トップ染サージ
ウール99.5% 静電性繊維0.5%
スーパーセルボニック（強撥水・防汚）加工
糸番号 径2／48×緯2／48
 - (2) 裏地
東レ Ⅲ303 C／＃ 黒
静電防止・抗菌・防臭加工
- 3 ネクタイ
 - (1) 表素材
素材名 先染 ジャガードネクタイ地 エコ仕様
品番 AKB - 2
混率 縦 ポリエステル100% 55d tex（±10%）
横 ポリエステル 90%（エコ糸）165d tex
（±10%）
アクリル10% 82d tex（±10%）
密度 縦 345本以上／3.8cm間
横 160本以上／3.8cm間
組織 レップ地合又は杉綾
 - (2) 裏地
素材名 ネクタイ用芯地
混率 アセテート100%
色 黒
 - (3) 芯地
素材名 ネクタイ用芯地
混率 ポリエステル100%
 - (4) その他
指定箇所に消防署章（紺色）の刺繍を入れること。

別紙2

前 面



側 面



き 章



あごひも留め消防章



参考図（冬服 上衣・ズボン）

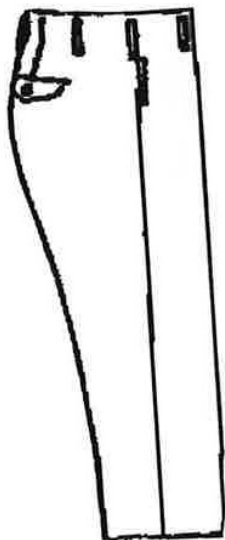
前 面



後 面



ズボン



ボタン



2 女性消防吏員用冬服一式仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する女性消防吏員用冬服一式について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧のとおり。
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この冬服一式は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は、受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 材料

(1) 生地一般

- ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。
- イ 織り上がりは、均整で、織りキズ、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

(2) 指定材料等

ア 帽子

区 分	仕 様	用 途
表生地	ニッケ #440 サージ 指定紺色 毛 99.5% ナイロン（帯電防止繊維）0.5%	
裏生地	ベンベルグ裏地 キュプラ又は同等品以上	帽子裏
備革	3cm幅備革 ポリエステル 100% （不織布いり）	帽子裏面
芯地	ダック芯（麻） 麻100%	帽子前面
ゴムひも	黒平ゴム 5mm幅	あごひも
リボン	旭化成8300 アクリル100% 38mm幅 黒色	
帽章	生地台（黒） 金色雪抱擁モール製 銀色真ちゅう製消防章付	帽章

イ 制服

区 分	仕 様	用 途
表 生 地	ニッケ 440 サージ 毛 100%	表地、身返し、 衿
裏 生 地	東レ 303-20	胴裏
袖 裏	キュプラ 100%	袖裏
袋 地	4号スレーキ 綿 100%	ポケット袋
前 芯	接着芯	前身前面
カ ラ ー ク ロ	フエルティス	主衿裏側
ス	良質の毛芯入肩綿	両肩
片 綿	インサイドベルト	腰裏
腰 裏	I S A防縮加工品	ヒザ当
ヒ ザ 当	YKKミトウ (黒)	前たて
ファスナー	上 衣 指定金属釦	前身6個
釦	ズボン 良質のもの (黒)	後ポケット
	テトロン糸 50番	前たて部
	ニッケ表示衿吊	衿吊
衿 吊	様式随意	
片 布		

2 形状等

(1) 冬帽 別紙のとおり

(2) 冬服

ア 上衣 ダブル、剣衿、六釦2ツ掛け、胸箱ポケット、両腰蓋付ポケット階級章マジック台、袖口縞縁付 (金銀線)、背抜き仕立て、センターベンツ

イ ズボン 長ズボン、タックはワンタック、脇ゴム入、ファスナー式、左右後ポケット片玉縁蓋なし、左釦止め、脇斜切ポケット

(3) 革ベルト 革ベルトとし、巾28mm、黒色にするとともに、バックルの形状は風防型ワンタッチ式とし、消防署章付きとする。なお、長さについては、標準品のほか長尺品も含むものとする。

(4) ネクタイ 大剣幅 8.0cm (±0.3%)
小剣幅 3.0cm (±0.3%)
全長 130.0cm (±3.0%)
本裏加工とする。

3 縫製条件

(1) 裁縫

糸調子は、上下糸共ツレ、タルミのないように最良の調子で縫い、返し針を完全にする。

(2) 裁断

型入れは、布目を正しく通し、全体を同一の反であるようにして、番号又は記号を付ける等、十分に留意すること。

(3) 仕立

優美なスタイルと着崩れのない上級仕立とする。

(4) 仕上

糸くずを取り、丁寧にプレスすること。

4 縫製要領

(1) 帽子

ア 頭は、木型にて頭の形に成形する。

イ つばは端の周囲を約7mm折り返してミシンで縫いつける。

ウ すべては内側頭周りに折り返してミシンで縫いつける。

エ リボン下端をつば元に密着させる。

オ 両サイドに5mm幅の平ゴム（黒）を取り付ける。（あごひも）

カ 消防本部の帽章を前面中央にまつりつける。

(2) 上衣

ア 主衿 地衿に芯を添え、ミシン刺し、表衿縫代は地衿にシツケ止めし、表衿は身返し部分に付合わせとし隠しミシン縫いをする事。

イ 衿吊り 衿中央に縫付ける。

ウ 胸ポケット 上前適当位置に箱かくしポケット箱芯入り、口幅10cm（標準）、深さ15cm、箱芯幅2.5cm、共布向当縫割り向当袋共割ミシン押さえすること。

エ 腰ポケット 左右雨蓋付、口は両玉縁、口両端はミシン門止め、蓋裏当布は裏地使用し、口幅14cm、深さ18cm（標準）、雨蓋幅5cmとする。

オ 内ポケット 左右適当な位置に蓋付、釦止め口は片玉縁とし、口幅12.5cm、深さ15cm向当布幅4cmとする。

カ 身返し 衿付けから裾まで縫目無し、身返し幅は第一釦位置で10cm、裾で8cm以上とする。

キ 背縫い 割縫いまたは輪でとること。なお、裏地は片倒し縫いとする事。

ク 肩縫い 表地割縫とする。

ケ 肩綿 所定の位置に芯裏の間にとじ付けること。

コ 裏 背抜き仕立てとすること。

- サ 袖 地縫い割り、裏地と中心とじをする。袖口より 10 cm の位置に縞縁を逢着する。階級により金線又は銀線を縫着する。
- シ 袖付け 山袖にそってたれ綿を縫付ける。縫付けは入念に、袖付け線は美しく無理のないように、袖は逃げないように前付目にする。
- ス 袖 裏 袖付け、中とじは入念にすること。
- セ 階級章 階級章（ウェルダー）及び階級章止めについては、上前の指定の位置につける。
- ソ 片布 上前の指定の位置につける。
- タ バッチ穴 なしとする。
- (3) ズボン
- ア 前タック 左右各 1 本を外向きに付ける。深さ 2 cm（標準）とする。
- イ ヒザ当 腰飾りミシンから約 70 cm のヒザ当を付け、裾は耳又は 3 つ巻若しくはヒートカットとする。
- ウ 脇ポケット 左右に各 1 個斜ポケット上部より 4.5 cm（標準）下がり、口幅 14 cm、深さ、口下端より 13 cm（標準）。両門止め、表地向当布幅 4 cm 以上、袋は縫返し 5 mm 飾り押さえとする。
- エ 後ポケット 左右 1 個、片玉縁、天蓋なし、左釦止め。口幅 12.5 cm、深さ 17 cm、口両端門止め、表地向当付 3 cm 以上とする。
- オ 後ダーツ 2 本とし、地縫い片倒しとする。ウエスト 100 cm 以上 1 本可。相引、内股、しりぐり、断目はオーバーロック、しりぐり、内股はミシン 2 回縫いとすること。特にしりぐりは糸切れを防ぐために伸ばして地縫いすること。
- カ 前たて 断目はオーバーロック、芯入り裏は表地使用。ファスナー止め。
- キ バンド通し 5 本、上端より 0.5 cm 下がり、幅 1.0 cm、長さ（バンド通し部分）4.5 cm とする。
- ク 腰 裏 共生地とする。
- ケ シック 棒シック長さ 8 cm（標準）を付ける。

5 寸法

- (1) 冬帽 頭周り 52 cm～60 cm まで 1 cm きざみとする。
- (2) 冬服及びズボン

（単位：cm）

号 項	上 衣				ズ ボ ン				
型 目	着 丈	肩 幅	胸 周	袖 丈	ウエスト	尻 周	股 上	股 下	裾 口
5	64	40	92	55	57	94	28	75	20
7	65	41	95	55	60	97	28	75	21
9	66	42	98	56	63	100	29	75	21.5

11	66	43	101	56	66	103	29	75	22
13	67	44	104	57	69	106	30	75	22.5
15	67	45	107	57	72	109	30	75	23
17	68	46	110	58	75	112	31	75	23.5

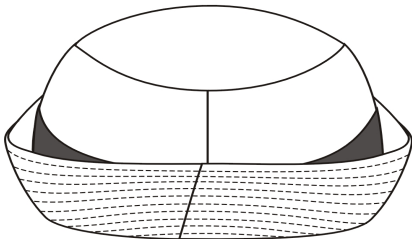
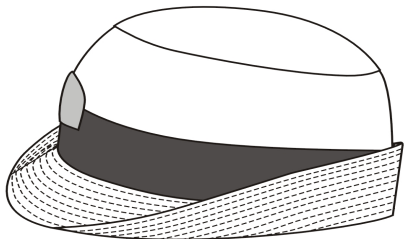
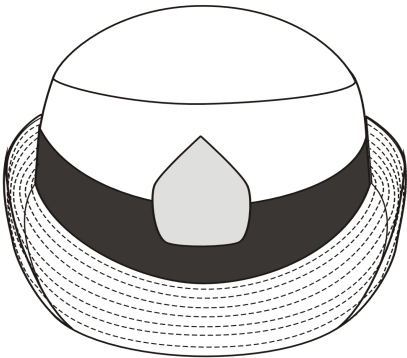
第3 検査

- 1 検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 冬服一式の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合及び本仕様書に記載されていない事項については、当消防本部担当者と協議しその指示を受けること。
- 3 落札者は紡績メーカーの出荷引受証明書を提出すること。

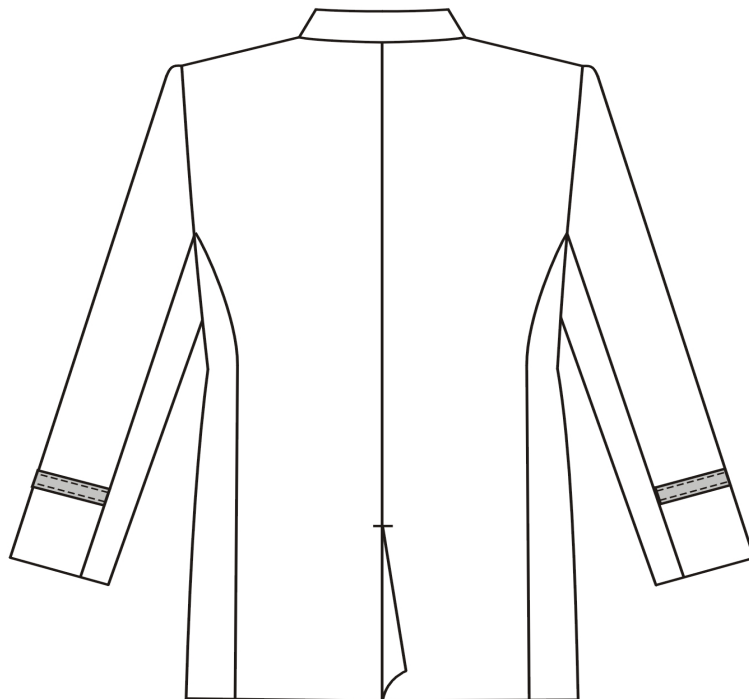
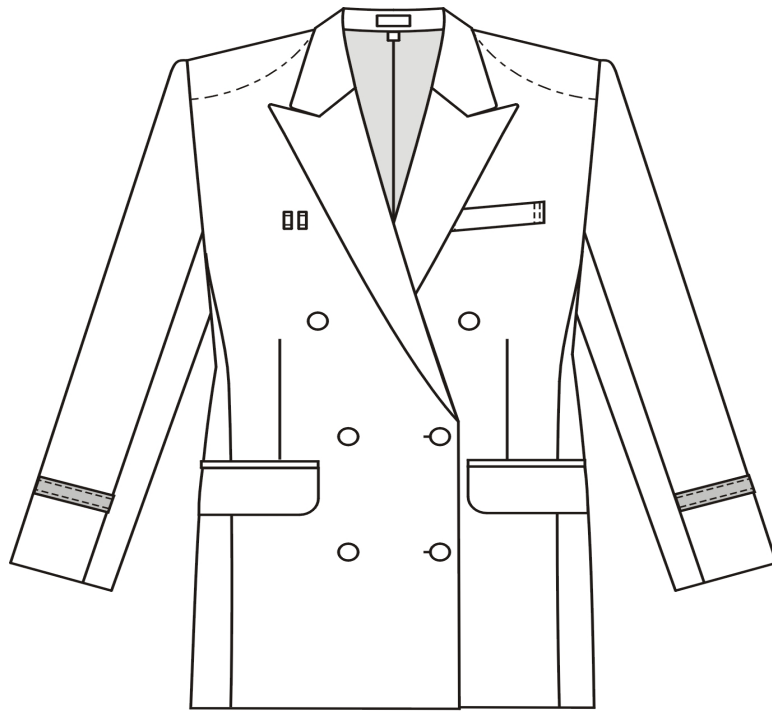
冬 帽



き 章



制 服



3 ワイシャツ仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入するワイシャツについて定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 このワイシャツは、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 仕様材料

区分	仕 様（規 格）		用 途
主材料	表生地	別紙 1	前身頃、後身頃、前立、衿、台衿、肩ヨーク、袖、カフス、剣ボロ、胸ポケット
副材料	芯 地	別紙 2-1	衿台、羽根衿、カフス
	芯 地	別紙 2-2	衿先補強
	芯 地	別紙 2-3	前立
	キーパー		衿先
	釦	ポリボタン 白 径1.0cm 上質なものの	前立6個、台衿1個、カフス2個 剣ボロ2個、予備1個
	小付属	品質表示	1枚
	縫い糸	ポリエステル 100%	80番手 地縫い、飾り縫い 50番手 穴かがり（上糸）、釦付け 80番手 穴かがり（下糸）、オーバーロック

2 構造の概要

(1) 上衣の型

カッター式、長袖、前立付き、左胸アウトポケット付きとする。

(2) 条 件

- ア 針 数 (3 cm 間に表面に現れた糸数)
 地縫い 1 4 針 標準
 飾り縫い 1 4 針 標準
- イ 測 定
 計り方は全般図の通りとし、cm により表示する。
- ウ 飾り縫い (0.5 cm ミシン飾り)
 衿羽根、前立て両端、背ヨーク、カフス周囲
- エ 飾り縫い (端飾り)
 肩縫い、ポケット付け、カフス付け
- オ 穴かがり (機械眠り穴)
 前立て6個、台衿1個、カフス4個、剣ボロ2個
- カ 釦付け
 手付け 2条の糸を2つの穴に2回以上通し、3回以上の根巻きをし、糸止めを完全にすること。
 機械付け 釦1個の糸量は手付けの場合と同程度にし、機械の調子良好で糸止めが完全であること。
- キ 縫い代
 1 cm を標準とする。
- ク かんぬき (本縫いミシンかんぬき)
 ポケット口両端
- ケ 裁 断
 裁断は裁断された生地がすべて型紙に一致するように正しく行う。裁断生地は号数等の表示をし、色相、サイズの間違ひのないように合わせる。ハギ、又は織り傷の部分は使用しないこと。型入れは布目を正しく合わせる。
- コ 縫製上の留意すべき点
 (ア) 縫いトビ、縫いハズレのないようにする。
 (イ) 糸調子、縫い目が優良で縫い曲がりのないようにする。
 (ウ) 縫い始め、縫い終わりの返し針を完全に行うこと。
 (エ) 穴かがり、釦付けは完全であること。
- サ 表示様式
 (ア) 片布 下前裾部の裏側に縫い付ける。
 (イ) サイズ表示 号札を衿付け縫いに挟み込む。
 (ウ) 品質表示 絵、組成表示を左脇縫い下部に挟み縫いする。
- (3) 寸 法 寸法表のとおり

3 縫 製

区 分	縫 製 要 領
衿	衿羽根は芯及び補強芯を入れ、地縫い返し、0.5 cm の飾り縫いをする。衿幅は中央で4.5 cm、衿先で7 cm とする。台衿は芯を入れ、中

	央で3.5cmとし、衿羽根を挟み地縫いかえしとし、0.5cmの押さえ縫いをする。衿付けは裏より地縫い、表より二条押さえ縫いする。
胸ポケット	胸ポケットは左に1個付け、押さえ縫いとする。幅は11cm、深さ13cm、ポケット口折り代は幅2.5cmの三つ折りとし、ポケット付けは飾り縫いで縫着する。ポケット口は三角形ミシン口とする。
前立	上前立は幅3.5cmの表前立とし、芯入りとし、両端に0.5cmの飾り縫いとする。下前立は幅2.5～3.5cmとし、耳使用の場合は二つ折り、裁ち切りの場合は三つ折り縫いとする。前立釦は第一釦を衿付けより5.5cm下に付け、第二釦以下はサイズに応じ等間隔（38・39標準で8.5cm間隔）に6個つけ、下前裾に予備釦を1個付ける。
肩縫い	表ヨークと裏ヨークを身頃で挟み縫いし、端飾り縫いする。
背ヨーク	表ヨークと裏ヨークを身頃で挟み縫いし表ヨークのみ0.5cmの飾り縫いをする。
袖付け	インターロック縫いとする。
脇縫い及び袖縫い	インターロック縫いとし、袖縫いと脇縫いは通して縫う。
袖	カフスの形状はコンバーチブルカフスとする。カフスは芯を入れ1.0cm～1.2cmの芯止めを施し、端飾り縫いで縫着する。カフス幅は6.5cmとする。ケンボロは幅2.5cm、下ボロ幅1.2cm、丈18cm（標準）、開き部15cmとし、開きの上部は幅0.5cmの二条縫いする。ヒダは袖口外側に深さ1.5cmの2本取りとする。
裾	幅0.3～0.5cmの三巻き縫いとする。
品質表示	生地規格及び洗濯表示等を脇インターロックに挟み縫いする。

4 仕 上 げ

- (1) 糸屑は丁寧に取り除くこと。
- (2) 素材に適したプレス条件で仕上げること。
- (3) 畳み付けは丁寧に仕上げること。

5 寸 法 表

(単位：c m)

号 数	首 回 り	肩 幅	胸 回 り	胴 回 り	後 丈	カ フ ス 丈	長 袖 衿 丈									
							A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
35	35	42	94	84	76	24	74	76	78	80	82	84	86	88	90	92
36	36	43	98	88	78	24										
37	37	44	102	92	78	25										
38	38	45	106	96	80	25										
39	39	46	110	100	80	26										
40	40	47	114	104	82	26										
41	41	48	118	108	82	27										
42	42	48	120	112	82	27										
43	43	50	122	116	82	28										
44	44	50	124	120	82	28										
45	45	51	127	125	85	29										
46	46	51	130	130	85	29										
47	47	52	135	135	85	30										
48	48	52	135	135	85	30										
49	49	53	135	135	85	30										
50	50	53	135	135	85	30										
51	51	53	135	135	85	30										
許 容 差	+0.5	+0.5	+1.5	+1.5	+1.0	+0.5	+0.5									
	-0.5	-0.5	-1.5	-1.5	-1.0	-0.5	-0.5									

第3 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 ワイシャツの納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。
- 3 落札業者は、紡績メーカーの出荷引受証明書を提出すること。

別紙 1
ワイシャツ生地表地規格

項 目	生 地 規 格	試 験 方 法
1 混 用 率	ポリエステル 65% 綿 20% 標準 麻 15% 標準	JIS L 1030
2 糸 番 手	縦 45/1 横 (長織紡糸) 40/1	JIS L 1096
3 組 織	平 織	JIS L 1096
4 仕 上 幅	1, 120mm以上	JIS L 1096
5 仕上重量	110 g/m ² 以上	JIS L 1096
6 仕上密度	縦 530本以上 横 270本以上	JIS L 1096 (10cm間)
7 引張強さ	縦 680N以上 横 290N以上	JIS L 1096A 法
8 寸法変化率	縦 ±1.5%以内 横 ±1.5%以内	JIS L 1096
9 防しわ性	縦 75%以上 横 75%以上	JIS L 1096
10 色 相	提出見本のとおり	
11 その他	P P S R 減量加工 抗菌防臭加工	

別紙 2

1 織物芯

混 紡 率 ポリエステル 65% 綿 35%
番 手 (経×緯) 23/2×23/2
密 度 経65本以上、緯55本以上(2.5cm間標準値)
組 織 平織り
色 相 表生地と同系色
そ の 他 洗濯堅牢度4級以上
使用箇所 台衿芯、衿羽根芯、カフス芯

2 織物芯

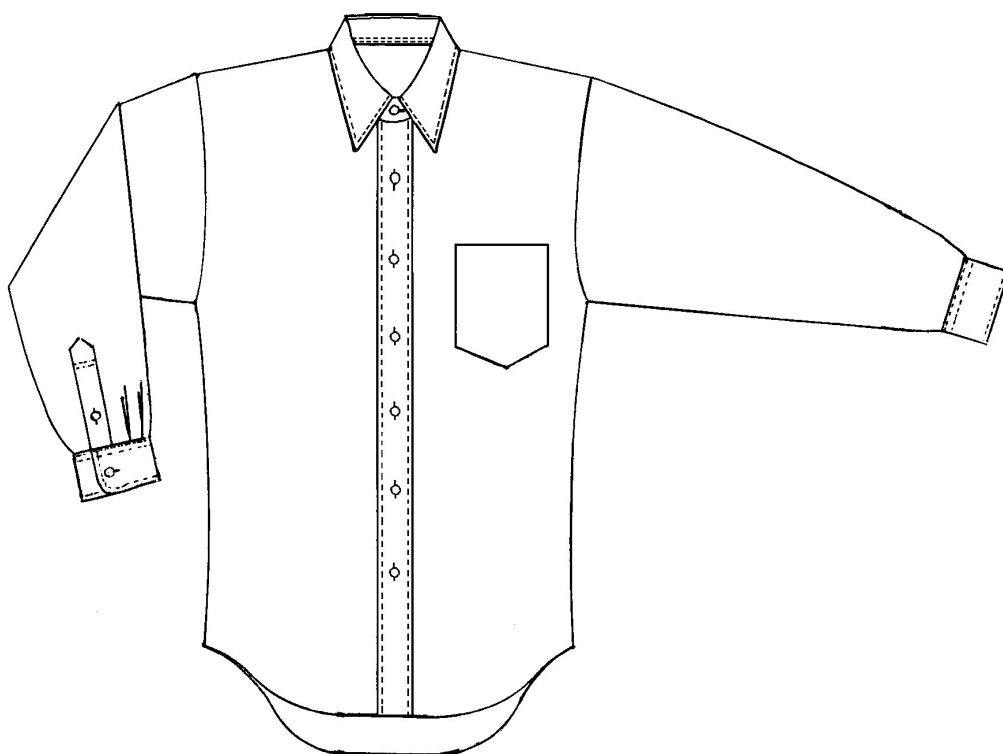
混 紡 率 ポリエステル 65% 綿35%
番 手 (経×緯) 23/1×23/1
密 度 (経)60本以上、(緯)55本以上(2.54cm間標準値)
組 織 平織り
色 相 白 色
そ の 他 高密度ポリエチレン樹脂・ヒューズ加工
使用箇所 衿羽根補強芯

3 織物芯

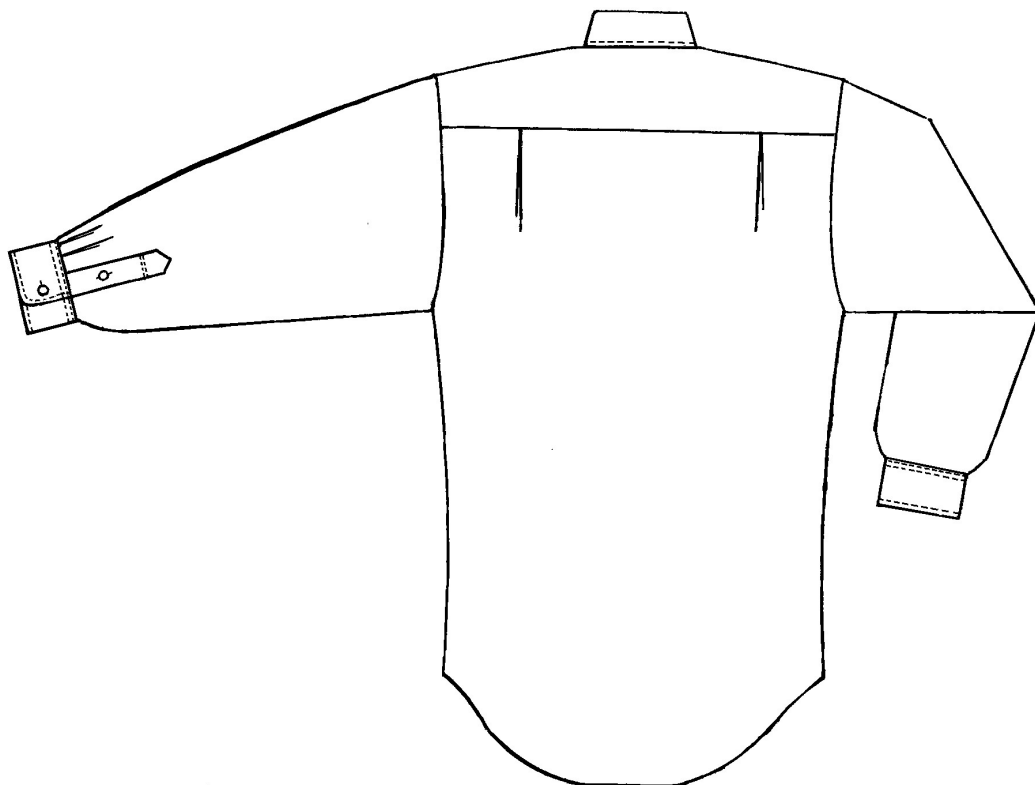
混 紡 率 ポリエステル 65% 綿 35%
番 手 (経×緯) 45/1×45/1
密 度 経56本以上、緯54本以上(2.5cm間標準値)
組 織 平織り
色 相 白 色
そ の 他 洗濯堅牢度4級以上
使用箇所 前立芯

参考図

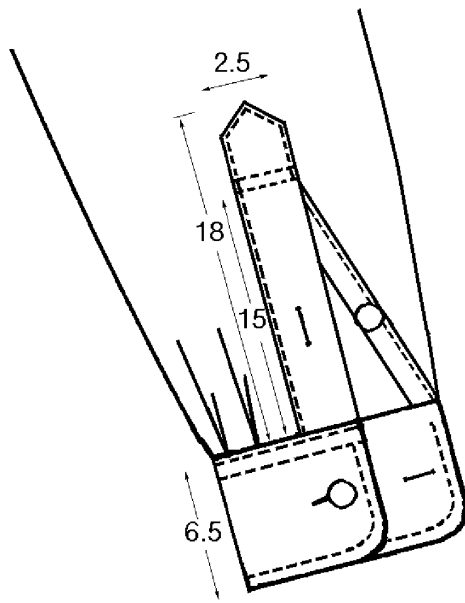
前面図



後面図



カフス及び剣ボロ (単位 : c m)



4 夏 服 一 式 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する夏服一式について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この夏服は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は、受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 材料

(1) 生地一般

- ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。
- イ 織り上がりは、均整で、織りキズ、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

(2) 表生地及び材料等

別表(1)及び(2)のとおり

2 形状等

(1) 夏帽（男性用）

- ア 型式 円形とし、前庇及びあご紐は紺色又は類似色とする。あご紐の両端は、帽子の両側において金色金属製の消防署章（ネジ式）各1個で止める。
- イ き章 銀色金属製の消防章をモール製金色桜で抱擁する。台地は紺色とする。
- ウ 周章 帽子のまわりに、紺色又はその類似色のなな子織りを巻く。
- エ 天裏 天井張りとする。

(2) 上衣はシャツ型、台襟付シャツカラー、パネルフロント、後ろヨーク、胸左右雨蓋付きアウトポケット、肩章付き、左袖エンブレム付きとする。

(3) ズボンはツータック、裾シングル又はフリータイプ、前ファスナー、後ろ左右尻片玉切込みポケット付きとする。

(4) ベルトは冬服のものを使用する。

3 縫製

(1) 一般

- ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、外れがない優良なものとする。
- イ 縫い代は、各部分に適した十分なものとする。

- ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。
- エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。
地縫い運針数 12 針以上／3 cm 間
飾りステッチ 12 針以上／3 cm 間
- オ 飾りステッチ幅は、0.5 cm 幅と端ミシンとする。
- カ 飾りステッチは、表ミシンとする。
- キ ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。
- ク 各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。
- ケ アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。
- コ 接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式芯張りプレス機を用いて全面接着をする。
- サ 布目は、パターン指定どおりにする。

(2) 夏帽

縫い始め、縫い終わりの箇所は、返し縫いをする。

(3) 上衣

ア 襟

- (ア) 上襟剣の長さは 7 cm とし、幅は背中身で 4.5 cm とする。
- (イ) 台襟幅は、背中心で 3.5 cm とする。
- (ウ) 台襟にて上襟を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。
- (エ) 台襟下部は 2 条縫いとし、下部の 1 条は裏を落とす。
- (オ) 上襟の周囲には（下部を除く）、0.5 cm の飾りステッチをかける。
- (カ) 表襟はゆとりを持たせ、折り返りの厚みを引かれぬようにする。
- (キ) 上襟には、作り芯を使用する。
- (ク) 襟つりは、幅概ね 1.0 cm の共布又は織りテープとし、襟腰中央下端に挟み縫いする。
- (ケ) 襟の内側は、配色生地にて配色する。

イ 肩縫い

ヨークで前身を挟み、端ミシンで縫う。

ウ 肩章

- (ア) 芯を入れ周囲は地縫い返しし、0.5 cm の飾りステッチをかけ（袖付け部を除く）、先端にボタン穴をかがる。
- (イ) 寸法は、根本幅 5.0 cm ・先幅 4.0 cm を基準とし、先端にて約 1.5 cm を槍で持ち出す。
- (ウ) 肩章の先は、襟腰よりやや控える。
- (エ) 肩峰点より概ね 5.5 cm のところで、肩章と身頃を縫い止めし、袖付け部分はクロスに飾りステッチをかける。
- (オ) 肩章の裏側は、配色生地にて配色する。

エ 袖付け

- (ア) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。
- (イ) 縫い代は身頃側に片倒しとし、0.5 cm の飾りステッチをかける。

オ 袖及びカフス

- (7) 袖は1枚袖とし、袖縫いは身頃脇縫いと通し縫いする。
- (イ) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがり（巻状で飾り縫いも可）とする。
- (ウ) 長袖の袖口の剣ボロは身頃を挟み、端は二つ折りにして端飾りステッチを施す。
- (エ) 長袖の剣ボロは、上前幅2.5cm、丈16.5cm、下前幅1.0から1.2cm、丈13.5cm以上、開き13.5cmを目安とし、開き止まりは2条縫いとする。
- (オ) 長袖の剣ボロには、カフス根本より5.5cm上部にボタン穴をあけ、下ボロに付けた相方のボタンにて留められるようにする。
- (カ) 長袖のカフス付け部は1.0から1.2cmと端ミシンの2条縫いをする。
- (キ) 長袖の外側に深さ1.5cm（型紙数値）のヒダを2本取り、袖開きの方へ倒し、剣ボロの端とヒダの間隔は約3.0cmとする。
- (ク) 長袖のカフスの仕上がり幅は、6.5cm（±0.3cm）とし、角は小丸に落とす。
- (ケ) 長袖のカフスの上袖側にはボタン穴をあけ、下袖側にはレギュラーボタンとアジャスターボタンの2個をつける。
- (コ) 長袖のカフス周囲（付け部は除く。）は、0.5cmの飾りステッチをかける。
- (サ) 半袖の袖口は3.5cm幅の表折り返しのカフスとし、袖口より3cmに飾りミシンをする。
- (シ) 長袖のカフス裏側は、配色生地にて配色する。

カ 脇縫い

袖縫いと通し縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。

キ 胸ポケット

- (7) 左右の胸の位置に、張り付けポケットを周囲端ミシンで縫着する。
- (イ) ポケット寸法は、口幅13.0cm・内側深さ14.0cm・外側深さ15.0cmを目安とし、下角は隅切りにする。
- (ウ) 口布は2.0cm以上とし、裁ち目は三つ折り返しにして隠すか、オーバーロックミシンかがりとする。
- (エ) ポケット中央部に深さ1.0cmのオガミヒダを2本取り、0.5cmの飾りステッチをかけ、ヒダは中央に向けて倒す。2本のヒダ端は、綺麗に合わせるようにする。
- (オ) 口の両端はかんぬき止め（ミシンかんぬきコ型または三角）とし、上部中央に凹面（縦2.5cm・横4.0cm・表生地同系色）の面ファスナーを付ける。
- (カ) 雨蓋は芯を入れて地縫い返しし、中央部に凸面（縦2.5cm・横4.5cm・表生地同系色）の面ファスナーを付け、周囲に飾りミシン（上部を除く。）をかける。
- (キ) 雨蓋の寸法は、幅14.0cm・高さ中央6.5cm・両端4.5cmを目安とし、五角形の本罌型とする。
- (ク) 雨蓋の上端は身頃に縫い付け、折り返して、押さえミシンをかける。折り

返し部分の端は、表に出ないようにする。

- (㌾) 左ポケット雨蓋の内側より 1.5 cm に、口幅 3.0 cm のペン差しを付ける。
- (㌿) 左ポケットの雨蓋を取り付ける際に、手帳止めループを挟み込んで付ける。
- (㍀) 雨蓋表側中央に飾りボタンを付ける。
- (㍁) 雨蓋の裏面は、配色生地にて配色する。

ク 前立て

- (㍂) パネルフロント仕立てとし、芯（共地芯も可）を入れ、両端に 0.5 cm の飾りステッチをかける。
- (㍃) 上前にはボタン穴を 6 個あけ、下前にはボタン 6 個を付ける。
- (㍄) パネルの幅は、3.5 cm 上がりとする。

ケ ヨーク

- (㍅) 裏つきの 2 重仕立てとする。
- (㍆) ヨークの幅は、背中央で 7.0 cm 上がりとする。
- (㍇) ヨークで後ろ身頃を挟み、0.5 cm の飾りステッチで縫う。

コ 背ひだ

- (㍈) 後ろ身頃中央に表箱ひだをつける。
- (㍉) ひだの幅は 3.5 cm とする。

サ すそ

- (㍊) 幅 0.3 から 0.6 cm の三巻縫いとする。
- (㍋) 左右脇には、くりを入れた馬乗り付きとする。

シ 階級章

- (㍌) 階級章止めは、右胸ポケット雨蓋から 1.0 cm 上の位置に階級章止め用面ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付け、階級章（ウェルダール）を取り付ける。
- (㍍) 階級章止めの寸法は、幅 2.5 cm 長さ 4.0 cm とする。

ス 氏名札（片布）及びサイズ札

- (㍎) 氏名札（片布）は、下前裾の裏側に付ける。
- (㍏) サイズ札は、襟腰下部に挟み込んで付ける。

セ エンブレム

- (㍐) 着用時左袖にエンブレム台（面ファスナー凹面・表生地同色系）を適正な位置に縫い付ける。
- (㍑) 刺繍エンブレムは、別図のとおりとする。（裏面ファスナー凸面・表生地同色系）

(4) ズボン

ア 脇ポケット

- (㍒) 斜めポケットを左右脇に各 1 個つける。
- (㍓) 口布は、表地を中心で 1.0 cm 以上折り返し、0.5 から 0.7 cm の飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から表地を中心で 5 cm 以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。
- (㍔) 口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりするか、耳使い又は、折り返して処理する。
- (㍕) 口の下端はかんぬき止めし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏とも必ず 1.0 cm 以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫う。

- (カ) 右ポケットの袋内部に、幅 8.0 cm、深さ 6.0 cm と 11.0 cm を目安とした斜め口の忍びポケットを縫い付ける。

イ 尻ポケット

- (ア) 片玉縁作りとし、左右に各 1 個つける。(玉縁作りミシン使用可)
- (イ) ポケットは、腰帯下より 4.0 cm・口幅 14.0 cm・深さ 18.0 cm とする。
- (ウ) ポケット周囲は端ミシンをかけ、口の両端はかんぬき止めをする。
- (エ) 向当布は幅 3.0 cm 以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりをし、袋地に縫い付ける。
- (オ) 左のみ中央上部にボタン穴をかがり、向当布にボタンを縫い付ける。
- (カ) ポケット袋は、地縫い返しして飾りステッチをかける。
- (キ) ポケット袋の上端は、表裏とも必ず 1.0 cm 以上腰帯にかかるようにする。

ウ タック

- (ア) タックは外向きに倒す。
- (イ) 前身頃センターに 1 本、その外側に 1 本のツータックとする。

エ 腰ダーツ

- (ア) 左右後ろ身頃の腰部にダーツ（尻癖）をとる。
- (イ) 左右各 2 本とする。

オ 天狗及び前立て

- (ア) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりをする。
- (イ) 天狗の鼻は島で持ち出すか剣型の「ち」をつけ、先端にボタン穴をかがる。
- (ウ) 前立てには芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりする。
- (エ) 前立て飾りは、幅 3.5 cm とする。
- (オ) 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は腰帯幅の中央にする。
- (カ) 前立てファスナー開き口下端に、天狗裏側から前立てとともに、かんぬきを入れる。

カ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- (イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りするか、腰帯の下に差し込み、耳は 2 条縫いで縫い付ける。

キ 脇縫い及び内股縫い

- (ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりする。

ク 尻縫い

- (ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 上部の縫い代は 2.0 cm 以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりする。
- (ウ) 棒シックは、またぐりにそって、ミシン縫いで表まで打ち抜く。(天狗からの続きシックも可)

ケ 腰裏

- (ア) マーベルト、スレーキを使用し、前立側両端はそれぞれ天狗を前立ての前かんの下まで入れる。
- (イ) 後部（しり縫い目）は縫い割りする。
- (ウ) 左右脇縫い目の箇所、後ろ身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにす

る。

- (イ) 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの個所で、表生地にとりして、かんぬき止めをする。

コ 膝裏

- (ア) 前身頃上端より膝下まで、膝裏を付ける。
(イ) 両脇は、表生地とともにオーバーロック縫いをする。
(ウ) 裾は振らして、耳を使うか三巻縫いをする。

サ 腰帯

- (ア) 腰は3.5cmの腰帯付とし、脇縫いの個所で、後ろ身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。
(イ) 腰帯内部に後身側から前身側及び前身側から後身側にそれぞれ伸縮テープをわたし、前身側と後身側が互いに引き合い腰廻りの伸張が左右ともに各2.5cm以上、できるようにする。

シ ベルト通し

- (ア) ベルト通しは、前身センター・脇縫い部・後身中程・尻縫いより1cm離れた箇所に付けた、8本付けとする。
(イ) ループは、折り返し・かがり部等がはずれないように強固に作り、両端は端ミシン縫いし、幅0.8から1.0cm・使用部4.5cmとする。
(ウ) 取付け位置は、ズボン上端より目安として1.0cm控え、上部は概ね0.5cm浮かして付ける。
(エ) バンド通し付けは上・下部ともに強固に縫い付けること。

ス すそ

- (ア) すそフリータイプ以外のものは、折り返し幅3.0cm以上とし、裾上げをする。
(イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりをするか、三ツ折返しする。

セ 氏名札（片布）及びサイズ札

氏名札（片布）は袋地に付ける。

4 寸法表

(1) 夏帽（男性用）

（単位：cm）

サイズ	特号	1号	2号	3号	4号	5号	6号
頭回	60	59	58	57	56	55	54

(2) 上衣

（単位：cm）

サイズ表示	首廻	肩幅	胸囲	胴囲	後丈	カフ丈	半袖丈	衿 丈							
								74	76	78	80	82	84	86	88
35	35	42	94	84	76	24	25	○	○	○	○	○	○	○	○
36	36	43	98	88	78	24	25	○	○	○	○	○	○	○	○
37	37	44	102	92	78	25	25	○	○	○	○	○	○	○	○
38	38	45	106	96	80	25	25	○	○	○	○	○	○	○	○
39	39	46	110	100	80	26	25	○	○	○	○	○	○	○	○

40	40	47	114	104	82	26	25	○	○	○	○	○	○	○	○
41	41	48	118	108	82	27	25	○	○	○	○	○	○	○	○
42	42	48	120	112	82	27	25	○	○	○	○	○	○	○	○
43	43	50	122	116	82	28	25	○	○	○	○	○	○	○	○
44	44	50	124	120	82	28	26	○	○	○	○	○	○	○	○
45	45	51	127	125	85	29	26	○	○	○	○	○	○	○	○
46	46	51	130	130	85	29	26	○	○	○	○	○	○	○	○
47	47	52	135	135	85	30	26	○	○	○	○	○	○	○	○
48	48	52	135	135	85	30	26	○	○	○	○	○	○	○	○
許 容 差	± 0.5	± 0.5	+2 -1	+2 -1	+ 2 - 1	± 0.5	± 0.5	± 1	± 1	± 1	± 1	± 1	± 1	± 1	± 1

(3) ズボン (単位：cm)

サイズ表示	腰 囲	股上(ベルト下)	裾 口	股 下
2号	7 3	2 1. 5	2 3	7 4 cm上がりを基準に偶数単位で股下の調整をする。
3号	7 6	2 2. 5	2 3	
4号	7 9	2 2. 5	2 4	
5号	8 2	2 2. 5	2 4	
6号	8 5	2 3. 5	2 4	
7号	8 8	2 3. 5	2 4	
8号	9 1	2 3. 5	2 5	
9号	9 5	2 4. 5	2 5	
10号	1 0 0	2 4. 5	2 5	
許容差	± 1. 0	± 1. 0	± 0. 5	± 1. 0

第3 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立合いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 夏服一式の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。
- 3 落札業者は、紡績メーカーの出荷引受証明書を提出すること。

別表(1) 夏帽表生地

1	品番	トスコ トロピカル ECO#3615
2	色相	紺色

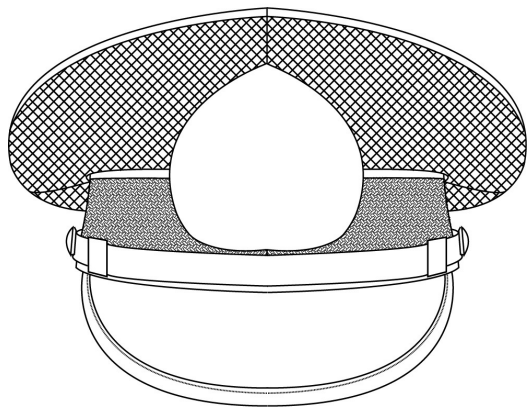
別表(2) 夏服表生地等

材料名	区分		規格	試験方法
表生地	指定品番	上衣	トスコ(株)ECO3615BL番	
		ズボン	トスコ(株)ECO3615BL番	
	色相	上衣	ベタ無地サックス色	
		ズボン	明るめの紺色	
	混用率		麻(長繊維糸) 15% ± ポリエステル(再生ポリエステル使用) 85% 5%	JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2
	番 手	経	36/1 s 167dtex / 2	JIS L 1096
		緯	36/1 s 167dtex / 2	
	密 度 (本/2.54cm)	経	58本以上	JIS L 1096
		緯	48本以上	
	質 量		165g/㎡以上	JIS L 1096
	引張強さ	経	780N以上	JIS L 1096 ラベルド・ストリ ップ 法 試験条件 ※1
		緯	680N以上	
	寸法変化率		経・緯共 ±1.5%以内	JIS L 1096 D法
	ピリング		4級以上	JIS L 1076 A法 10時間
	染色堅牢度	洗濯	4級以上	JIS L 0842
		汗	4級以上	JIS L 0844 A-2号
		摩擦	4級以上	JIS L 0848
		耐光	4級以上	JIS L 0849 II形
	組 織		平 織	JIS L 1096
	摩擦帯電電荷量		7μc/㎡以下	JIS L 1094 C法*2
膝裏	混紡率		ポリエステル100%	
	重量		40g/㎡以上	
	収縮率	経	1%以下	
		緯	1%以下	
	堅牢度	汗	4級以上	
		洗濯	4級以上	
		摩擦	4級以上	
	色相		黒色	
袋地 (スポンス ーキ)	組織		綾織り	
	色相		黒色	
	混紡率		ポリエステル60%以上 レーヨン20%以上	
	密度	経	310本以上	
		緯	250本以上	
	糸使い	経	30/1	
		緯	30/1	
マーベルト 滑り止め テープ	混紡率		ポリエステル、ポリエステル、繊維	
	番手	経	ポリエステル 200D	
		緯	ポリエステル 200D	
	滑り止め		ポリエステル(オパール) 2240D	
芯地① 襟作り芯	ベース	組織	平織り	
		混紡率	ポリエステル65% 綿35%	
		番手	(経×緯) 23/2×23/2	

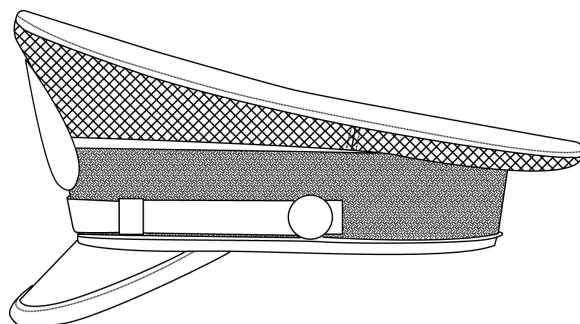
		密度	経４８本以上 緯４４本以上 (２．５cm間標準値)	
	補強	組織	平織り	
		混紡率	ポリエステル６５％ 綿３５％	
		番手	(経×緯) 23／1×23／1	
		密度	経６０本以上 緯５５本以上 (２．５cm間標準値)	
	キーパー		セルロイド製	
芯地②	組織		平織りまたは不織布	
	種類		ポリエステル混紡	
	使用個所		カフ・雨蓋・前立・肩章	
ボタン	材質		尿素樹脂	
	経 mm		１３mm および １５mm	
	使用個所		１３mm (表地同系色) 上衣：前ボタン・肩章・胸ポケット・袖口 １５mm (表地同系色) ズボン：尻ポケット・天狗裏	
ファスター	材質 (むし)		ナイロン製	
	サイズ		４号	
	色相		紺または黒	
	規格		エフロン止め	
座金前かん	素材		真鍮製	
	色相		シルバーまたはガンメタ	
	型		# 247相当	
糸	地縫い		ポリエステル糸	
	飾り縫い糸		ポリエステル糸	
	穴かがり糸		ポリエステル糸	
面ファスター	材質		ナイロン製	
	規格		ループ面	
	色相		表地同系色	

参考図（帽子・上衣・ズボン）

正面図



側面図



き 章 柄

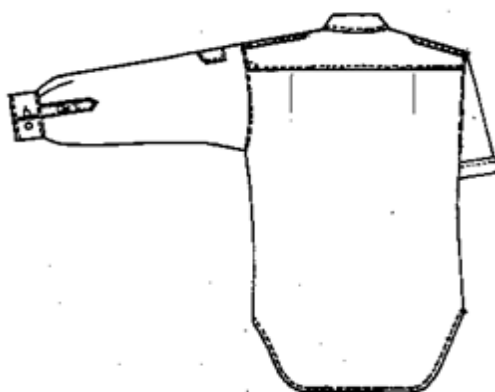


エンブレム



上着

女性用は上着の打ち合わせの右前身頃側を上とする。



5 活 動 服 一 式 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する活動服について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この活動服は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は、受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 アポロキャップ（夏冬兼用）

(1) 型式

ア 前立て部分は、長方形とすること。

イ 頭頂部は、天釦付きとし、通気口を6か所設け、サイズ調整用のスライドアジャスター付きとする。

ウ 別図のとおりとする。

(2) 使用生地

項 目	規 格
種 類	CA-9305 エスタミド サージ
混 紡 率	メタ型アラミド75% パラ型アラミド5% ポリエステル20%(再生繊維20%以上使用)
番 手	縦 36/2 横 36/2
組 織	2/2の綾織
染 色	アラミドは原液着色、ポリエステルは綿染
密 度	縦 83本 横65本/2.54cm間以上
引張強度	縦 120kgf 横 100kgf /5cm間以上
色 相	ブルー(PB-5)
収 縮 率	縦2% 横2%以下
染色堅牢度	洗濯変退色 4級以上 摩擦(乾) 4級以上 耐光 3級以上
洗濯後のシワ	3級以上
安全衛生基準	遊離アルデヒドの溶出量は25℃の水で1時間抽出後0.1%以下
難燃性試験	残炎1秒以下 残じん1秒以下 炭化面積10cm ² 以下
重 量	210g/m ² 以上
導電性繊維	1%以内

(3) 縫製

帽体部分は頭頂部を6頭分とし、前立て部は長方形とする。裏も同様とし、縫い合わせ部は目張りテープを使用し、表地に縫い付けるつばは、裏を共地とすること。

(4) 刺繍

ア 「FIRE DEPARTMENT」「SANBU」と金糸を用いて施す。

イ つばの「月桂樹の葉のデザイン」は金糸を用いて施す。

ウ 前立て部の「図柄」は銀糸及び橙糸を用いて施す。

エ 前章デザインは、別図のとおりとする。

2 活動服

(1) 生地・副材料（冬用）

ア 表生地(主生地A)

項 目	規 格
種 類	CA-9305 エスタミド サージ
混 紡 率	メタ型アラミド75% パラ型アラミド5% ポリエステル20%(再生繊維20%以上使用)
番 手	縦 36/2 横 36/2
組 織	2/2の綾織
染 色	アラミドは原液着色、ポリエステルは綿染
密 度	縦 83本 横65本/2. 54cm間以上
引張強度	縦 120kgf 横 100kgf /5cm間以上
色 相	ブルー(PB-5)
収 縮 率	縦2% 横2%以下
染色堅牢度	洗濯変退色 4級以上 摩擦(乾) 4級以上 耐光 3級以上
洗濯後のシワ	3級以上
安全衛生基準	遊離アルデヒドの溶出量は25℃の水で1時間抽出後0. 1%以下
難燃性試験	残炎1秒以下 残じん1秒以下 炭化面積10cm ² 以下
重 量	210g/m ² 以上
導電性繊維	1%以内

イ 表生地(副生地B)

項 目	規 格	使 用 箇 所
種 類	アラミド混紡織物	背ヨーク、襟回り、 胸ポケット拌み ひだ、雨蓋裏
混紡率	メタ型アラミド67%、パラ型アラミド3%、再生ポリエステル20%、難燃レーヨン10%	
番 手	縦 40/2 横 40/2	
組 織	2/2の綾織	
染 色	アラミドは原液着色	

色 相	オレンジ	
-----	------	--

ウ 補助材料

項 目	規 格	使 用 箇 所
芯 地	ポリエステル65% 綿35%平織り	上襟、襟腰、カフス
〃	ポリエステル100% 平織り接着芯	腰帯
釦	C/#55 セシール15mm	前立
面テープ	ネービー 20mm幅. 25mm幅	階級章台、胸ポケット、前身
袋 地	ポリエステル65% レーヨン35% スレーキ色相クリーム	ポケット袋地
腰裏地	ポリエステル65% レーヨン35% スレーキ色相 濃紺	腰帯(マーベルト)
ファスナー	5CN・3CFコイルファスナー	前立、袖口
縫 製 糸	アラミド50番 ブルー	地縫い、ステッチ、釦付け
〃	アラミド40番 オレンジ	肩章部分
〃	ポリエステル100% 90番	オーバーロック
〃	ポリエステル100% 50番	袋地

(2) 生地・副材料 (夏用)

ア 表生地 (主生地A)

項 目	規 格
種 類	CA-9602 エスタミド トロピカル
混 紡 率	メタ型アラミド75% パラ型アラミド5% ポリエステル20%(再生繊維20%以上使用)
番 手	縦 40/2 横 40/2
組 織	1/1の平織り
染 色	アラミドは原液着色、ポリエステルは綿染
密 度	縦 60本 横58本/2. 54cm間以上
引張強度	縦 85kgf 横 70kgf /5cm間以上
色 相	ブルー (PB-5)
収 縮 率	縦2% 横2%以下
染色堅牢度	洗濯変退色 4級以上 摩擦(乾) 4級以上 耐光 3級以上
洗濯後のシワ	3級以上
安全衛生基準	遊離アルデヒドの溶出量は25℃の水で1時間抽出後0. 1%以下
難燃性試験	残炎1秒以下 残じん1秒以下 炭化面積10c m ² 以下
重 量	155g/m ² 以上

導電性繊維	1%以内
-------	------

イ 表生地（副生地B）

項 目	規 格	使 用 箇 所
種 類	アラミド混紡織物	背ヨーク、襟回り、胸ポケット拌みひだ、雨蓋裏
混紡率	メタ型アラミド67%、パラ型アラミド3%、再生ポリエステル20%、難燃レーヨン10%	
番 手	縦 40/2 横 40/2	
組 織	1/1平織り	
染 色	アラミドは原液着色	
色 相	オレンジ	

ウ 補助材料

項 目	規 格	使 用 箇 所
芯 地	ポリエステル65% 綿35%平織り	上襟、襟腰、カフス
〃	ポリエステル100% 平織り接着芯	腰帯
釦	C/#55 セシール15mm	前立
面テープ	ネービー 20mm幅、25mm幅	階級章台、胸ポケット、前身
袋 地	ポリエステル65% レーヨン35% スレーキ色相クリーム	ポケット袋地
腰裏地	ポリエステル65% レーヨン35% スレーキ色相 濃紺	腰帯（マーベルト）
ファスナー	5CN・3CFコイルファスナー	前立、袖口
縫 製 糸	アラミド50番 ブルー	地縫い、ステッチ、釦付け
〃	アラミド40番 オレンジ	肩章部分
〃	ポリエステル100% 90番	オーバーロック
〃	ポリエステル100% 50番	袋地

(3) 形状（縫製）

ア 上衣は、人間工学（エルゴノミックス）によるデザインでカッターシャツ型付け袖とし前合せ袖口はファスナー開きとする。雨蓋は左右アウトポケット。左袖にペンポケット付きとする。

イ ズボンは外向きワンタック、ファスナー開きとし、脇ポケットは張りポケット、尻ポケットは左右切り込みポケットとする。

一般事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。 2 縫い目の飛び、外れがないこと。 3 糸調子は縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。 4 縫い目数は指定通りにすること。 5 地縫い運針数 1 2 針以上／3 cm間 6 飾りステッチ運針数 // / // 7 飾りステッチ幅は約0.5 cmで脇ポケット袋部分等は端ミシンすること。 8 飾りステッチは表ミシンとすること。 9 各部の合標、曲線は充分注意すること。 10 アイロン仕上げはプリーツについては高压接着とすること。 11 接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。 12 台襟接着芯はすべて高熱加圧芯張りプレス機を用いて全面接着すること。 13 布目は正確に取ること。
------	---

ウ 上衣

襟	<ol style="list-style-type: none"> 1 上襟は縦地に使い、剣の長さは約8 cmとし、背中心で約4 cm（標準）とする。表側は返りを良くする為に吹きもたせを施し、飾りステッチは約0.5 cm台襟上部は端ミシンとする。 2 襟芯は補強芯を貼り剣先にキーパーを縫い付けたものを地縫い返しをし、飾りステッチをする。 3 台襟は背中心で幅約3.5 cmとし、接着芯を貼り上襟を挟み縫い返しをし、身頃に縫い付け、下部は二条縫いとし下部の1条は裏を落とし、中央にプリント織マークとサイズマークを挟み縫いする。 4 上襟表周りは表生地（B）のオレンジとする。
前身頃	<ol style="list-style-type: none"> 1 前合せの開閉はファスナー式とする。 2 上前裏は前端より約4 cm奥に二条ミシンで縫い付けファスナーテープを見返し側に挟み縫いする。 3 下前は身頃と見返しにファスナーを挟み地縫い返しをして、一条の幅約0.5 cmの飾りステッチとする。 4 上前にA面、下前にB面（幅約20 mm、長さ30 mm）の面テープを台襟下部より3ヵ所に縫い付ける。（標準） 5 左右前身頃共雨蓋上部でハギを入れ雨蓋を挟み地縫い幅約0.5 cmの飾りステッチとする。
胸ポケット	<ol style="list-style-type: none"> 1 左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケット（大きさは別図の通り）を2個付ける。

	<p>2 ポケットは端ミシンで縫いつける。</p> <p>3 ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。</p> <p>4 ポケット上部の二つ折りは内側に約 2 cm とし、約 1. 5 cm で飾りステッチとする。</p> <p>5 ポケットの縫い始めと縫い終わりは返し針をする。</p> <p>6 ポケット中央に面テープ B を付ける。</p> <p>7 雨蓋は別図の型とし裏面に面テープ A を付け、地縫い返しをし、飾りステッチとする。</p> <p>8 左上前雨蓋中央側にペン刺し穴（幅約 3 cm）をあける。</p> <p>9 ポケット拌みヒダ及び雨蓋裏は表生地（B）のオレンジとする。</p> <p>10 左胸前雨蓋中央側に手帳ループを取り付ける。</p>
後ろ身頃 背ヨーク	<p>1 ヨークは一枚物 V 字型で後身頃の上部裁ち目をオーバーロックかがりをし、地縫い返しをして幅約 0. 5 cm の飾りステッチをする。</p> <p>2 ヨーク下端は上袖縫いの位置に合わせる。</p> <p>3 表生地（B）のオレンジとする。</p> <p>4 背ヨークに「山武郡市消防本部」とプリントを施すこと。文字体は丸ゴシック、大きさ、位置については見本を提出の上当本部の承認を得ることとする。</p>
袖 カフス	<p>1 袖は 2 枚ハギとし、上袖縫いは地縫い片倒しし幅約 0. 5 cm の飾りステッチとする。</p> <p>2 上袖縫い目先端に袖口から約 1 7 cm まで 1 6 cm のファスナーを表から一条ミシン縫いする。</p> <p>3 開き止まり部分よりカフス付け根まで水かきを縫い付ける。</p> <p>4 カフスは接着芯を貼り地縫い返しをし、幅約 0. 5 cm の飾りステッチをする。</p> <p>5 袖はファスナー側に 3 本のヒダをとりカフスに挟み縫いし幅約 0. 5 cm の飾りステッチをする。</p> <p>6 着用左側のヨーク端より約 8 cm 下りで袖山中央より前側に幅約 5 cm 高さ 1 5 cm の 2 本入りペン刺し用アウトポケットを縫い付ける。</p> <p>7 ペン刺しアウトポケットは端ミシンで縫いつける。</p>
袖付け	インターロックミシンとし身頃側に約 0. 5 cm 飾りステッチをする。
脇縫い	インターロックミシンとする。
裾縫い	前身頃、後身頃連続で幅約 2 cm の三つ折りアロハタイプとする。
片布	左上前身頃胸ポケット裏側に品質クロスを挟み縫い付ける。

肩章	ヨークの先端に揃え、袖付けに挟み縫いをして浮かし、飾り縫いを中程でヨークに縫い付ける。先端は山型として釦止めとする
ネーム刺繍等	<ol style="list-style-type: none"> 1 着用時左胸に共生地ネーム台（25 mm×40 mm・裏面マジックテープ）に個人名を刺繍（金茶色）し、ネーム取付け用ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付けること。 2 着用時右胸に階級章（マジックテープ 25mm×40mm）及び階級章取付け用ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付けること。

エ ズボン

前身頃	<ol style="list-style-type: none"> 1 外向きで深さ約 2 cmのタックを左右にとる。 2 内股、脇、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。
後身頃	<ol style="list-style-type: none"> 1 腰ダーツを左右各二本とり片倒しとする。 2 内股、脇、尻はオーバーロック掛けとする。
前立て 天狗	<ol style="list-style-type: none"> 1 前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをし、幅約 3. 5 cmの飾りステッチとする。 2 天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫いし、前身頃とファスナーをはさみ縫いの上端ミシン飾りとする。 3 ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。 4 棒シックは天狗裏スレーキと連続で、かんぬき止まりより約 1 0 cm間、内側のみミシン掛けとする。 5 天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めを施し、先端に鳩目穴かがりをする。
脇ポケット	<ol style="list-style-type: none"> 1 口幅約 1 5 cmの斜め切りポケットで接着芯を貼り袋地と縫い付ける。 2 ポケット口中央で約 6 cm幅の向当てオーバーロックを掛け袋地と縫い付ける。 3 袋地底は地縫いをし約 0. 5 cm幅の飾りステッチをする。 4 ポケット口上下をかんぬき止めする。 5 右ポケット内側に小物ポケット入れを付ける。
尻ポケット	<ol style="list-style-type: none"> 1 ポケット口幅約 1 3. 5 cm、深さ約 1 7 cmを左右に付ける。 2 ポケット口は芯入り片玉縁とする。 3 左ポケットのみ鳩目穴をし釦を付ける。 4 ポケット両端はかんぬき止めとする。 5 ポケット口向当ては 4 cm以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。 6 袋地は左右を地縫いし回りを幅約 0. 5 cmの飾りステッチとする。

	7 袋地上部は帯飾りステッチに掛るようにする。
帯び付け	1 仕上がり幅約4 cmで約3. 8 cmの接着芯を前面に接着する。 2 腰帯は尻合わせ部分で割り縫いとする。 3 ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫いつける。 4 マーベルトの尻合わせは割り縫いとする。 5 左右の帯の先端に前かんをつける。
脇 内股縫い	裁ち目はオーバーロック掛けし、1本針、一本糸使いの環ミシン掛け、割り縫いとする。
ベルト通し	1 幅約1. 5 cm、高さ約6 cm（有効長さ約5. 5 cm）を後中央2ヶ所左右3ヶ所の合計8ヶ所付けとする。 2 上部は約0. 5 cm下りてくるみ縫いをし、下部は折り曲げてステッチを掛ける。
尻縫い	1 縫代は上部で約3 cm、下部で約1 cmとする。 2 裁ち目はオーバーロック掛けし、2本針、2本糸使い環ミシン掛け割り縫いとする。
片布	左尻ポケット内側に織マークと共に縫い付ける。

(4) サイズ (単位：c m)

	上 衣			
サイズ	首回	着丈	衿丈	胸 囲
特A S	3 7	6 8	7 3	1 0 0
A S	3 7	7 2	7 6. 5	1 0 0
A M	3 9	7 4	7 9. 5	1 0 5
A L	4 2	7 6	8 2. 5	1 1 0
A L L	4 4	7 8	8 5. 5	1 1 5
B M	4 1	7 5	8 0	1 1 5
B L	4 3	7 8	8 3	1 2 0
B L L	4 5	7 8	8 6	1 2 5
B 3 L	4 7	8 0	8 9	1 3 0
特A L L	4 4	8 3	8 9. 5	1 1 5
特B L L	4 5	8 3	9 0	1 2 5
許容範囲	± 1. 0	± 1. 0	± 1. 0	± 2. 0

(単位：cm)

ズ ボ ン				
サイズ	腰回	渡り幅	股下	前タック
1 号	7 2	3 4	8 5 ハーフ	外向き 1 本
2 号	7 4	3 4		
3 号	7 6	3 5		
4 号	7 8	3 5		
5 号	8 0	3 6		
6 号	8 2	3 6		
7 号	8 5	3 7		
8 号	8 8	3 7		
9 号	9 1	3 8		
1 0 号	9 4	3 8		
1 1 号	1 0 0	3 9		
許容範囲	± 1 . 0			

3 活動服用ベルト

ナイロンベルトとし、巾40mm、色は活動服と同色（主生地A）にするとともに、バックルの形状は2ピン式バックルとする。なお、長さについては、90cm、100cm、110cm及び120cmとする。

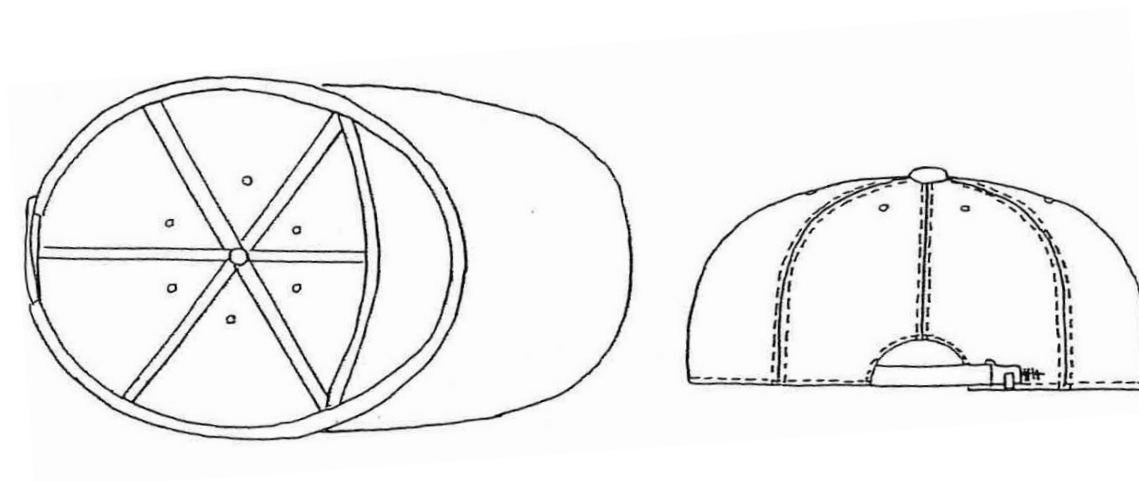
第3 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立合いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 活動服の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。
- 3 落札業者は、紡績メーカーの出荷引受証明書を提出すること。

アポロキャップ



アポロキャップ前章デザインは裏面のとおりに



アポロキャップ前章デザイン



6 救 助 服 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が、令和7年度に購入する救助服について定める。
- 2 購入数は、別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この救助服は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は、受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 型式

(1) 上衣

前立てファスナー（衿先ジップアップ）、脇下ベンチレーション、左右胸両玉縁ファスナー付きポケット、右胸階級台マジック付き、肘刺し子付き、立ち襟部分マジック止め調整用タブ付き、肩章付き、袖口ファスナー水かき付き、前後見頃切り替え部・肩部刺し子加工、裾シャツ式、ストレッチ

(2) ズボン

前立てファスナー、ベルトループ5本付き、両サイドファスナー付きアウトポケット、膝・脇・後身及び股下部刺し子加工、ストレッチ

2 表生地

(1) 種類

東レNX4040R（C／＃BOR）

難燃ストレッチツイル

(2) 混紡率

メタ系アラミド（ノーメックス） 94%

パラ系アラミド（ケブラー） 4%

ポリウレタン 2%

導電性繊維混入

(3) 難燃性（LOI値） 30以上

(4) ストレッチ性 13%以上

第3 条件

- 1 針数は30mm間に飾り・刺し共に10針以上とすること。

- 2 縫製糸は生地と同色とすること。
- 3 主生地において、必ずストレッチ性が13%以上のものを使用すること。
- 4 人間工学に基づく立体裁断及立体縫製で作成すること。
- 5 縫製の糸調子は上下供ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。
- 6 その他不明な点については、当消防本部と協議すること。

第4 縫製要領

1 上衣

(1) 衿

- ア 裏衿腰部分にステッチを7本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。
- イ 衿裏に共生地で当て布を縫い付ける。
- ウ 表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。
- エ 衿・前端にファスナーを前見頃から続けて付ける。
- オ 裏衿側は突合わせとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護のため、ムシを見せないようにして付ける。

(2) 前身頃

- ア 切り替え部分に表地を2枚重ね、刺し子加工する。
- イ 前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。
- ウ 表面は突合わせとし、ファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。
- エ ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に門止めする。
- オ 袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。
- カ 肩章は縫い止め、先端は釦止めとする。

(3) 胸ポケット

- ア 両胸切り替えにポケットを取り付け、ファスナーを閉じて外側に取り付ける。
- イ 左胸ポケット内に2本用のペン刺しポケットを取り付ける。

(4) 台座

- 右胸ポケット位置より約10mm上部に25mm幅、長さ40mmの階級章マジック台を取り付ける。

(5) 後身頃

- ア 後身頃は肩ヨークと縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせ、ダブルステッチを後身頃側にかける。

イ 衿付位置から約250mmまで表地を2枚重ねし、ストレートヨーク型として刺し子加工する。

(6) 脇身頃

ア 脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール（通気口）を設ける。

イ 脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。

ウ 前身頃と前袖を縫い合わせ、脇身頃にダブルステッチをかける。

エ 後身頃と後袖を縫い合わせ、後身頃・袖側にダブルステッチをかける。

(7) 袖

ア 肩ヨークの続き袖は、肩の部分に表地2枚重ねし、刺し子加工を施し、肩先端はダブルステッチで袖に縫い止める。

イ ヨーク前側は、前身頃・前袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

ウ 後袖は肘上部辺りで切り替え2枚ハギとし、ダブルステッチをかける。

エ ヨーク後側は、後身頃・後袖と縫い合わせる時、ヨーク側にダブルステッチをかける。

オ 腕の長さにより肘の位置が変わるため、それに合わせるため標準サイズ、±3cmの3種類を設けること。

カ 高度隊員用ワッペン（裏面ファスナー凸）及び面ファスナー（凹面・表生地同色系）を左袖に取り付けること。

(8) 肘刺し子

左右の肘に当て布をダブルステッチで縫い止める。

(9) 袖口

ア 後袖の袖口に両玉縁で黒皮持手付きファスナー長さ約170mmを付ける。

イ カフス先までファスナーを付け、周囲はコバステッチで押さえる。

ウ ファスナー開き部分の内側（ファスナー下）に表地で水カキを付ける。

エ 水カキはカフス先端から開き止まりまでとし、水カキの口は三つ折り始末し、ステッチで押さえる。

オ シングルカフス付き内側始末は、折り曲げカフス付け側と袖口側にダブルステッチをかける。

カ ファスナーはロックタイプとする。

- (10) 裾
シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。
- (11) 片布・サイズ表示・品質表示
片布は左胸ポケット位置に身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。
- (12) 衿吊り
後中心衿ぐりに挟む。
- (13) 背文字
共生地に刷り込み印刷を施し背ヨークに縫い付けすること。色は黒色で字体は丸ゴシックとする。



- (14) ネーム刺繍等
共生地に刺繍を施し、付けすること。色は黒色。ネーム刺繍等は着用時左胸に共生地ネーム台等(裏面ファスナー凸)に個人名等を刺繍し、左胸ポケット付近にファスナー(凹面・表生地同色系)を縫い付けること。

2 ズボン

- (1) 前
ア ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で2か所切り替え、表地2枚を重ね、刺し子加工をする。
イ ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。
- (2) 前立て
ア 左上前立てに芯を貼り、約40mm幅と6mm幅の飾りステッチで押さえ、左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にしミシン閉止めする。
イ 見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。
ウ 右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。

- エ 持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。
- (3) 膝当て
- ア 表地2枚を重ね刺し子加工し、周囲をダブルステッチで付ける。
- イ 身長により膝位置が変わるため、85cmハーフ、95cmハーフの2種類で膝当ての位置を対応すること。
- (4) 内股
- 前ファスナーから前切り替え線の膝上位置までの上部に、刺し子加工をした布をダブルステッチで付ける。
- (5) 後
- ア 後身はウエストより尻部で切り替え刺し子加工し、ダブルステッチで押さえる。
- イ 尻部より裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。
- (6) ウエスト
- ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ35mm幅のステッチをウエスト一周にかける。
- (7) ベルトループ
- ア ベルトループ幅約9mm、通し幅約60mm、ループの両端にコバステッチをかける。
- イ 左右の前切り替え位置・後切り替え位置に4本付け、上端は約0.5cm下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止めし、両角を門止めする。
- ウ 後中心のループ幅約100mm、通し幅中心で約60mm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。
- エ 上端は約1cm下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。
- (8) アウトポケット
- ア 左右脇アウトポケットは幅210mm、長さ220mmとし、左右にマチ布を付ける。
- イ ポケット口はファスナー開き170mmの突合わせとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。
- ウ ハーネスを付けた際にでも使用できるように、ポケット口は斜めとし、ファスナーは閉じて尻側とする。
- エ ポケット付け位置は上記を考慮し、ポケット底辺を膝横のハギに合わせる。
- オ 四角を門止めする。

(9) 脇

前後身頃の切り替え部分、膝上あたりまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

(10) 尻縫い

左後身頃へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

(11) 裾

折り返し幅約4cmの三つ折りで縫い押さえ、裾口に紐を入れ踵止めゴム紐を縫い付ける。

(12) 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

(13) 警告表示

右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

3 救助服用ベルト

ナイロンベルトとし、巾50mm、色は黒色にするとともに、バックルの形状は2ピン式バックルとする。なお、長さについては、90cm、100cm、110cm及び120cmとする。

第5 補則

- 1 救助服一式の納入先は、当本部が指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合及び本仕様書に記載されていない事項については、当本部担当者と協議しその指示を受けること。
- 3 落札業者は紡績メーカーの出荷引受証明書を提出すること。
- 4 同商品は、地球資源の効率的な再利用を図ることを目的としている。
着用済み後、当消防本部より回収依頼があった場合、速やかに回収がなされ、回収後は確実に再利用される製品であること。
※株式会社赤尾が行うマテリアルサイクルと同等の再利用が行われること。

第6 寸法表（単位：cm）

上衣

サイズ	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
着丈	73	73	75	77	80	81	84	86
衿丈	77	79	81	64	86	88	91	94
胸囲	97	101	105	111	117	123	129	135
胴囲	95	99	103	109	115	121	127	133
カフス回り	22	22	24	25	26	27	28	29

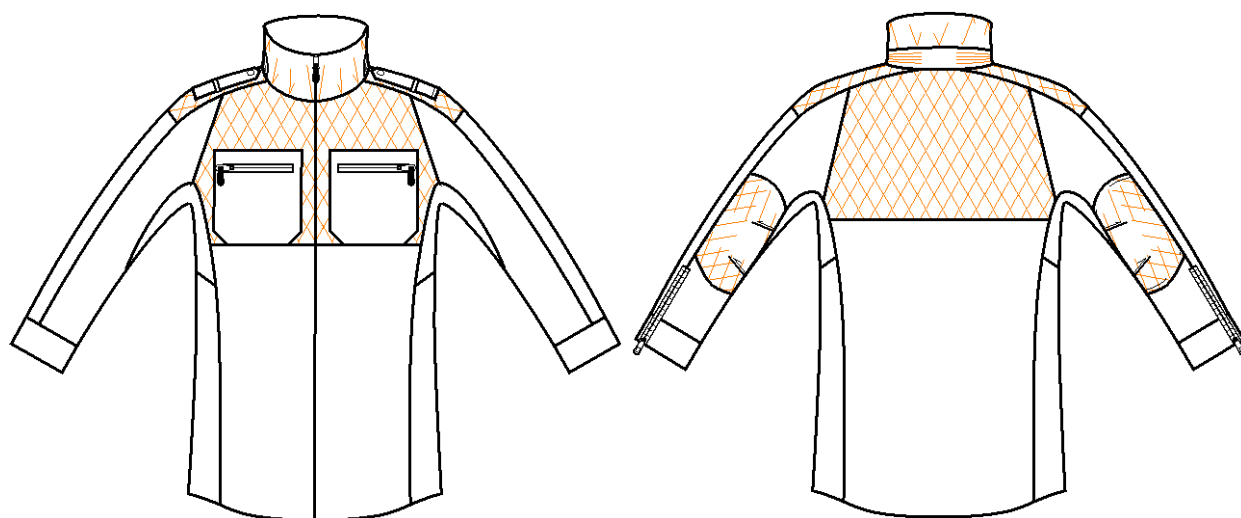
背ヨーク丈	24	25	26	27	28	29.5	30.5	31.5
前ファスナー	58	58	60	62	64	66	68	68

ズボン

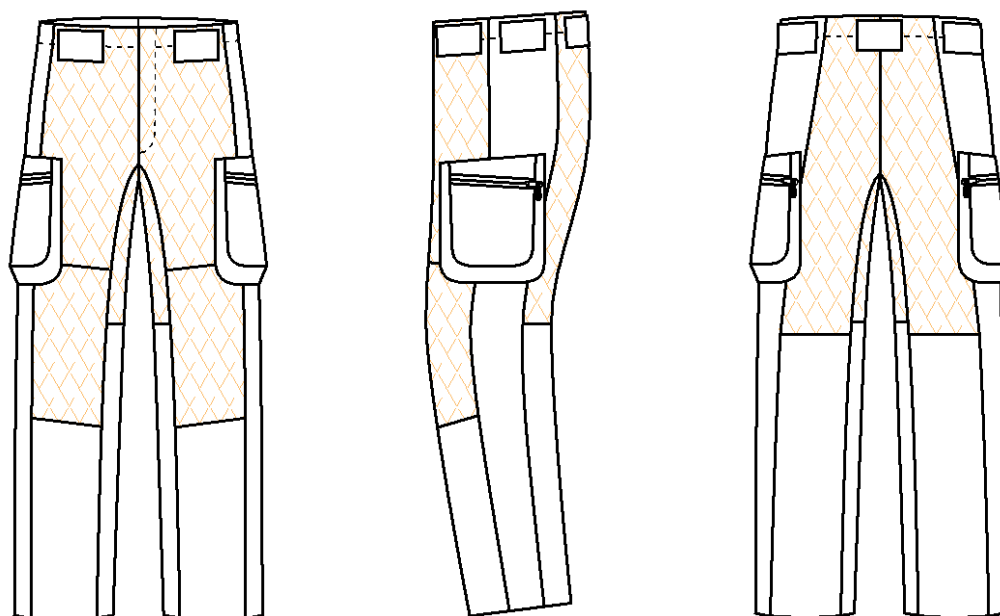
サイズ	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
ウエスト	71	75	79	83	87	91	95	99
ヒップ	96	100	104	108	112	116	120	124
股上	23	24	25	26	27	28	29	30
渡り幅	32	33	34	36	37	38	40	41
フロントファスナー	15	16	16	18	18	20	20	22
脇P付け位置	25	26	27	28	29	30	31	32

第7 概要図

上衣

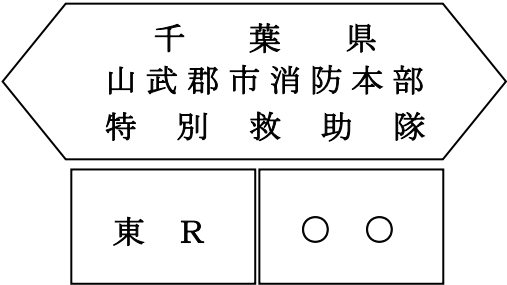
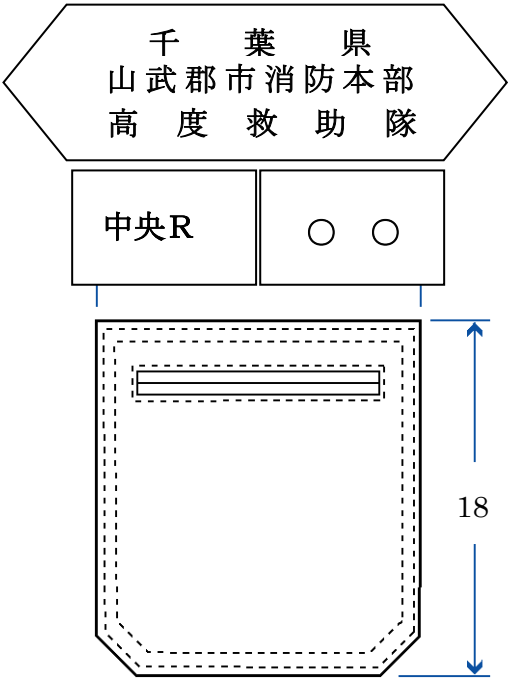


ズボン



ネーム文字等

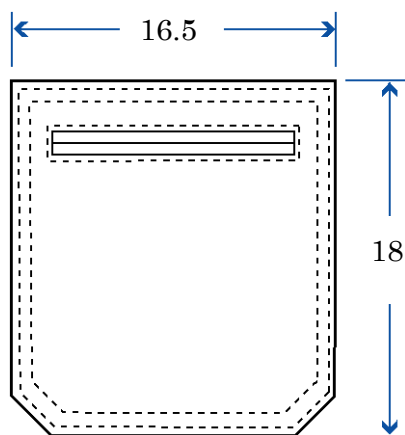
(単位：cm)



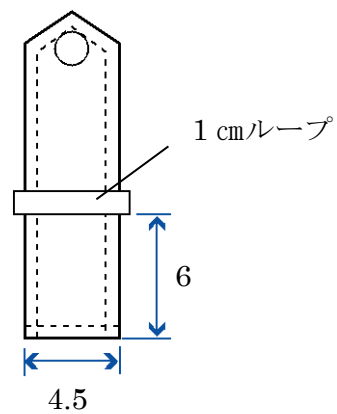
(単位：c m)

<上着>

胸ポケット

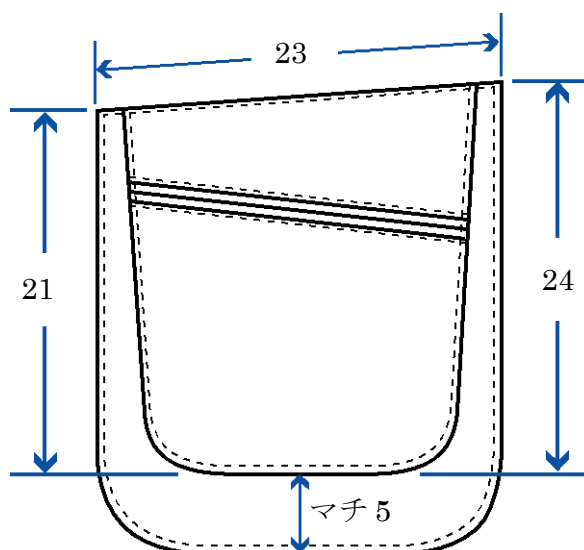


肩章



<ズボン>

脇ポケット



7 救 急 服 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が、令和7年度に購入する救急服について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この救急服は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は、受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

自治省消防庁依頼による三宅デザイン事務所のマスターパターンに基づく仕様とする。

1 救急服(冬用) 上衣・ズボン

(1) 型式【上 EM75120・下 EM75150】

ア 上衣

台衿付きシャツカラー替衿付、比翼ファスナー、1ッ釦、両胸フラップ付アウトポケット、肩章、左袖ペンポケット付

イ ズボン

裾シングル、前立てファスナー開き、両脇ポケット、後両尻アウトポケット付

(2) 表生地

		上 衣		ズボン	
品 番		テイジン	T - 85440	ニッケ	NK - SK - 1
品 名		ピケ		サキソニー	
混 紡 率		表 ポリエステル	100%	ウール	30%
		裏 中空ポリエステル	70%	ポリエステル	70%
		綿	30%		
番 手	経×緯	150DE×33/2		2/52×2/52	
密 度		460本×290本以上 10 cm間		275本×255本以上 10 cm間	
重 量		210 g / m ² 以上		220 g / m ² 以上	
引 張 強 度		100×55 kg以上		80×70 kg以上	
収 縮 度		1.5%以下		2%以下	

染色堅牢度	4級以上	4級以上
色 相	グレー指定色	濃いステールグレー
巾 × 長さ	150cm × 50cm 乱	150cm × 50cm 乱
特 長	吸汗防汚剤（練込み） 導伝繊維入	撥水加工 導伝繊維入

(3) 附属材料

芯 地	ポリエステル 綿 平織 接着芯地
釦	トップ染 15mm, 10mm
替 衿	ポリエステル 綿、平織り（ブロード） 淡いクリーム
肩章 覆い	3Mホワイト（反射布）
階級章	マジックテープ 25mm × 40mm B
ファスナー	YKK製
膝 裏	ポリエステル100%

(4) 条件

ア 針数

3cm間で地縫い飾り縫い共13針以上とする。

イ 縫製糸

ポリエステル50番とする。

ウ 穴がかり

上衣はネムリ穴 ズボンは鳩穴目とする。

エ ボタン付け

機械付け又は手付とする。

オ 縫製

糸調子は上下ともツレ、タルミのないようにし返し針を完全にすること。

(5) 縫製要領（上衣）

ア 衿

上衿、台衿共接着芯を張り地縫いの上飾り縫いをする。

衿巾は中央で上衿約4.5cm台衿は3.5cm、衿先巾は約6.8cmとする。

台衿先に替衿釦をつける。

イ 身頃（前）

左上前は、比翼仕立てとし、前合わせはファスナー開きとする。

上前にA面下前にB面、約20mm × 31mmの面テープを3か所縫い付ける。

裾は三ッ巻きとし左右ポケット下（ウエスト部分）に深さ約1.8cmのタックを付ける。

ウ 身頃（後）

後身頃は1枚裁ちとし左右袖付けより約7cmの所に深さ3cmのタックを外向きに

付ける。タックの下部を中側より縫い、裾は三ッ巻縫いとする。脇合わせはインターロック縫いをする。

エ 衿吊

所定のマークを衿付け中央にはさみ縫いする。

オ 胸ポケット

左右各1か所で中央にひだを内側にとり雨蓋付ループボタンマジックテープ併用止めとする。左側は雨蓋にペン差し穴を付けポケットにペン用の巾2.5cmのステッチをかけ、左ポケットはペンライト用の4cmステッチをかける。

カ 肩当て

巾は中央で約10.5cmとし前身頃、後身頃共はさみ縫いの上表一条の飾り縫いとする。

キ 袖

袖は一枚裁ちとしタックを二本とり、ファスナーを付け、袖縫い付けは筒状で縫い付ける（インターロック縫い）こと。また、左袖にペンライト入れのポケットを付ける（約5cm×16cm）こと。なお、袖口の開きは約10.5cmとし、袖の縫い合は地縫いの上オーバーロックミシンかがりとする。

ク 肩章

接着芯を張り地縫いの上飾りミシン縫いをし肩当ての先端に揃え袖付け時に内に縫込む先端に、ネムリ穴をあける。

折り巾約6cm長さ約10cmの反射布でできた筒状を差し込む。

ケ 片布

所定のものを上前胸ポケット裏に縫い付ける。

コ 替衿

本体の上衿よりやや大き目で芯地を張り、台衿に5ヶ穴がかりをする。

サ ネーム刺繍等

着用時左胸に共生地ネーム台（25mm×40mm・裏マジックテープ）に個人名を刺繍（灰色）し、ネーム取付け用ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付けること。また、着用時右胸に階級章（マジックテープ25mm×40mm）及び階級章取付け用ファスナー（凹面・表生地同色系）を縫い付けること。

シ その他

サイズマークは衿吊り合わせに縫い付けること。

(6) 縫製要領（ズボン）

ア タック

前身は左右各1本を外向きに付け、深さは約2cm、後身は左右各2本を縫い付ける。

イ 腰帯

巾 3. 5 cmとし芯地入りで腰裏はブルーのラッセル入りのマーベルトをつけおとしミシンがけとする。両脇に前カンをつける。

ウ ベルト通し

巾 5 cmのものを左右及び後中心 3 か所に巾 2. 5 cmをその間に縫い付ける。

なお、巾 5 cmのものは下部を三角に上部を浮かせて付ける。

エ 脇ポケット

芯地入りの斜め切りポケットを左右につけ口は 0. 6 cmの飾りミシン縫いとする。

口巾は約 1 8 cm深さは上部カン止めより約 2 9 cm袋巾は約 1 6 cmとし向当て布をつけ上下口端をかん止めする。なお、右袋内に小物ポケットを縫い付けること。

オ 尻ポケット

上端より 9 cm下りに口巾 1 6. 5 cm深さ約 1 8. 5 cmの張りポケットを左右両側に縫い付ける。上部約 4. 5 cmより下に中央で内側のひだをとり、すみは小丸とする。

カ 前立て・天狗

前立ては芯地を張りファスナーを縫い付ける。天狗は上部に天狗の鼻をつけ穴がかりカン止めとする。前身との間にファスナーをはさみ縫いし、下部をカン止めする。

キ 膝裏

腰帯下部より膝下まで左右前身にオーバーロックでかがり縫い付ける。

ク 相引き・内股・尻ぐり縫い

裁目はオーバーロックをかけ相引き、内股は一本針二重環縫い又は 1 回縫い尻ぐりは一本針二重環縫い、又は 2 回縫いとする。

ケ 棒シック

天狗裏続きとする。

コ 裾口

ハーフ仕上げとする。

サ 片布サイズマーク

上前脇ポケット袋地に両方を縫い付ける。

(7) 寸法表

冬用救急服サイズ

ア (上衣)

(単位：c m)

	上り 胸囲	着丈	肩巾	袖丈	ネック	中胴
1	110	81	47	56. 5	40	96
2	114	83	48	58. 5	41	100

3	118	85	49	60.5	42	104
4	120	81	50	56.5	43	108
5	124	83	52	58.5	45	112

イ (ズボン)

(単位：c m)

	腰 囲	帯 下 股 上	渡り巾	裾 巾	股 下
1	73	24	35.5	23.5	85 ハーフ
2	76	24	35.5	24	
3	79	24.5	35.5	24	
4	82	24.5	36	24.5	
5	85	25	37	24.5	
6	88	25	38	25	
7	91	25.5	38.5	25	
8	95	25.5	39	25.5	

2 救急服（夏用）半袖上衣・ズボン

(1) 型式【上 EM75310・下 EM75250】

ア 上衣

台衿付きシャツカラー替衿付、比翼ファスナー、1ッ釦、
両胸フラップ付アウトポケット、肩章付

イ ズボン

裾シングル、前立てファスナー開き、両脇ポケット、
後両尻アウトポケット付

(2) 表生地

	上衣	ズボン
品 番	テイジン T - 85439	ニッケ NK - SK - 2
品 名	ピンホール・トロピカル	霜降トロピカル
混 紡 率	ポリエステル・100%	ウール 30% ポリエステル 70%
番 号 経×緯	150DE/2×150DE/2	2/40×2/40
密 度	220本×190本以上 10cm間	175本×150本以上 10cm間
重 量	200g/m ² 以上	185g/m ² 以上
引 張 強 度	100×90kg以上	60×50kg以上
収 縮 度	1.5%以下	2%以下
染 色 堅 牢 度	4級以上	4級以上
色 相	グレー指定色	濃いステールグレー
巾 × 長 さ	150cm×50cm乱	150cm×50cm乱

特	長	吸汗防汚剤（練込み）	撥水加工
導	伝	導伝繊維入	導伝繊維入

(3) 附属材料

メ	ッ	シ	ュ	ポリエステル	100%	グレー
芯		地		ポリエステル	綿	平織 接着芯地
	釦			トップ染	15mm, 13mm, 10mm	
替		衿		ポリエステル	綿、平織り（ブロード）	淡いクリーム
肩	章	覆	い	3Mホワイト	（反射布）	
階	級	章		マジックテープ	25mm×40mm	
	ファスナー			YKK製		
膝		裏		ポリエステル	100%	

(4) 条件

ア 針数

3cm間で地縫い飾り縫い共13針以上とする。

イ 縫製糸

ポリエステル 50番とする。

ウ 穴がかり

上衣はネムリ穴 ズボンは鳩穴目とする。

エ ボタン付け

機械付け又は手付とする。

オ 縫製

糸調子は上下ともツレ、タルミのないようにし返し針を完全にすること。

(5) 縫製要領（上衣）

ア 衿

上衿、台衿共接着芯を張り地縫いの上飾り縫いをする。

衿巾は中央で上衿約4.5cm、台衿は3.5cm、衿先巾は約6.8cmとする。台衿先に替衿釦をつける。

イ 身頃（前）

左上前は、比翼仕立てとし、前合わせはファスナー開きとする。

上前にA面下前にB面、約20mm×30mmの面テープを3か所縫い付ける。

裾は三ッ巻きとし左右ポケット下（ウエスト部分）に深さ約1.8cmのタックを付ける。

ウ 身頃（後）

後身頃は3枚ハギとし背中央上部はメッシュとの2枚構造とする。

左右袖付けより約7cm中央よりに外側タック状の通気孔をあける。（長さ約7.5cm）通気孔の下部は左右共裾まで飾り縫いをし裾は三ッ巻縫いとする。

脇合わせはインターロック縫いをする。

エ 衿吊

所定のマークを衿付け中央にはさみ縫いする。

オ 胸ポケット

左右各 1 か所で中央にひだを内側にとり雨蓋付ループボタンマジックテープ併用止めとする。

左側は雨蓋にペン差し穴を付けポケットにペン用の巾 2.5 cm のステッチをかけ、左ポケットはペンライト用の 4 cm ステッチをかける。

カ 肩当て

巾は中央で約 10.5 cm とし前身頃後身頃共はさみ縫いの上、表一条の飾り縫いとする。

キ 袖

袖は一枚裁ちとし袖縫い付けは袖底で縫い付ける。半袖口先端は表に折り返し飾りミシンをかける。袖の縫い合せは地縫いの上オーバーロックミシンがかりとする。袖の縫い合せは地縫いの上オーバーロックミシンがかりとする。

ク 肩章

接着芯を張り地縫いの上飾りミシン縫いをし肩当ての先端に揃え袖付け時に内に縫込む先端に、ネムリ穴をあける。

折り巾約 6 cm 長さ約 10 cm の反射布でできた筒状を差し込む。

ケ 片布

所定のものを上前胸ポケット裏に縫い付ける。

コ 替衿

本体の上衿よりやや大き目で芯地を張り、台衿に 5 ヶ穴がかりをする。

サ ネーム刺繍等

着用時左胸に共生地ネーム台 (25 mm × 40 mm・裏面マジックテープ) 個人名を刺繍 (金茶色) し、ネーム取付け用ファスナー (凹面・表生地同色系) を縫い付けること。また、着用時右胸に階級章 (マジックテープ 25 mm × 40 mm) 及び階級章取付け用ファスナー (凹面・表生地同色系) を縫い付けること。

シ その他

サイズマークは衿吊り合わせに縫い付けること。

(6) 縫製要領 (ズボン)

ア タック

前身は左右各 1 本を外向きに付け、深さは約 2 cm、後身は左右各 2 本を縫い付ける。

イ 腰帯

巾 3.5 cm とし芯地入りで腰裏はブルーのラッセル入りのマーベルトをつけ、お

としミシンがけとする。両脇に前カンをつける。

ウ ベルト通し

巾 5 cmのものを左右及び後中心 3 か所に巾 2. 5 cmをその間に縫い付ける。

巾 5 cmのものは下部を三角に上部を浮かせて付ける。

エ 脇ポケット

芯地入りの斜め切りポケットを左右につけ口は 0. 6 cmの飾りミシン縫いとする。
口巾は約 1 8 cm深さは上部カン止めより約 2 9 cm袋巾は約 1 6 cmとし向当て布を
つけ上下口端をかん止めする。

右袋内に小物ポケットを縫い付け。

オ 尻ポケット

上端より 9 cm下りに口巾 1 6. 5 cm深さ約 1 8. 5 cmの張りポケットを左右両側
に縫い付ける。上部約 4. 5 cmより下に中央で内側のひだをとり、すみは小丸とす
る。

カ 前立て・天狗

前立ては芯地を張りファスナーを縫い付ける。天狗は上部に天狗の鼻をつけ穴が
かりカン止めとする。前身との間にファスナーをはさみ縫いし、下部をカン止めす
る。

キ 膝裏

腰帯下部より膝下まで左右前身にオーバーロックでかがり縫い付ける。

ク 相引き・内股・尻ぐり縫い

裁目はオーバーロックをかけ相引き、内股は一本針二重環縫い又は 1 回縫い尻ぐ
りは一本針二重環縫い、又は 2 回縫いとする。

ケ 棒シック

天狗裏続きとする。

コ 裾口

ハーフ仕上げとする。

サ 片布サイズマーク

上前脇ポケット袋地に両方を縫い付ける。

(7) 寸法表

夏用（半袖）救急服サイズ

ア （上衣）

（単位：c m）

	胸囲	着丈	肩巾	袖丈	ネック	中胴
1	110	81	47	24	40	96
2	114	83	48	25	41	100
3	118	85	49	26	42	104
4	120	81	50	24	43	108

5	124	83	52	25	45	112
---	-----	----	----	----	----	-----

イ (ズボン)

(単位：c m)

	腰 囲	帯 下 股 上	渡り巾	裾 巾	股 下
1	73	24	35.5	23.5	85 ハーフ
2	76	24	35.5	24	
3	79	24.5	35.5	24	
4	82	24.5	36	24.5	
5	85	25	37	24.5	
6	88	25	38	25	
7	91	25.5	38.5	25	
8	95	25.5	39	25.5	

3 ベルト

ナイロンベルトとし、巾40mm、色は白色にするとともに、バックルの形状は2ピン式バックルとする。なお、長さについては、90cm、100cm、110cm及び120cmとする。

第3 検査

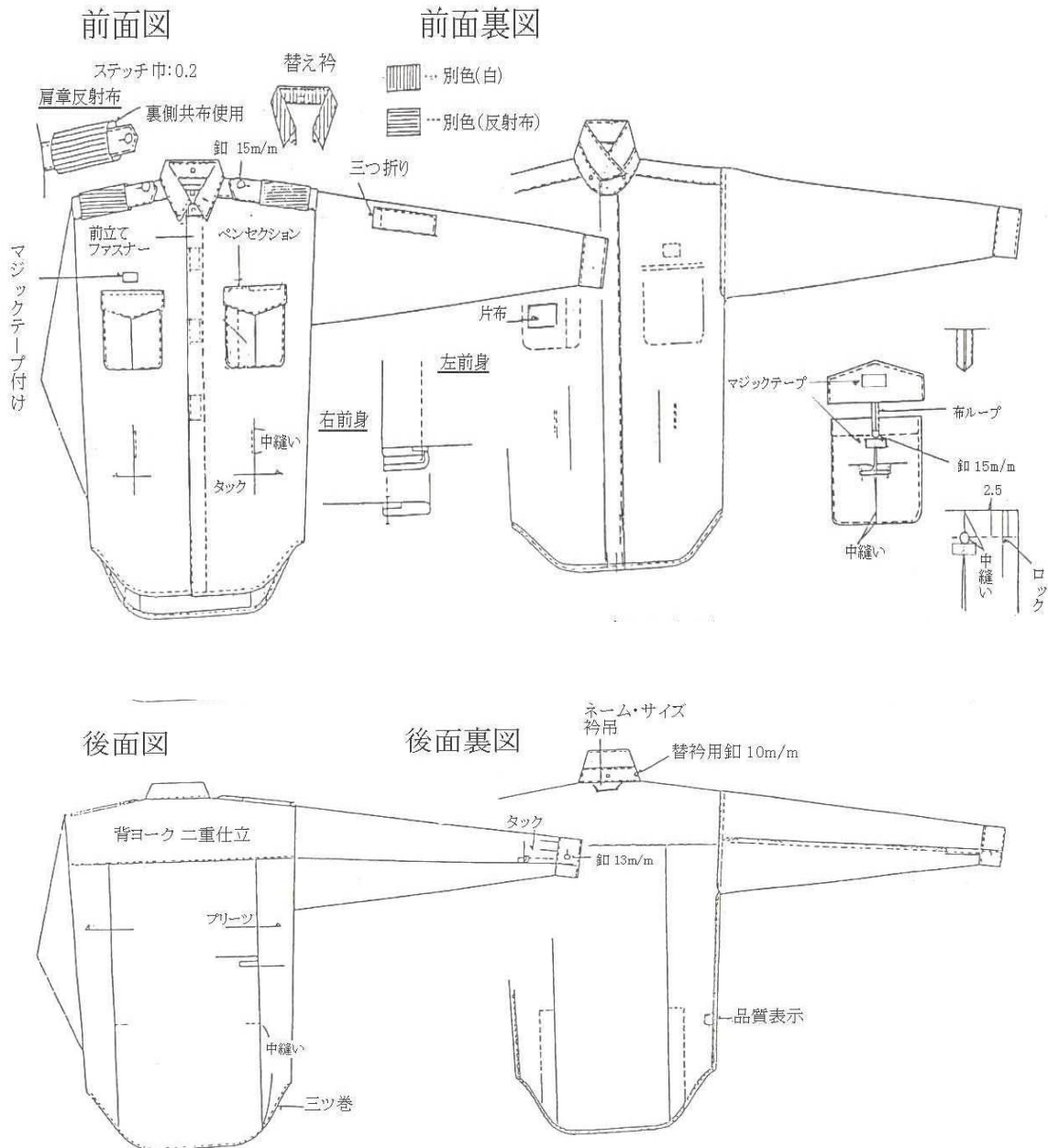
検査は、納入時に当本部の係員が立合いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

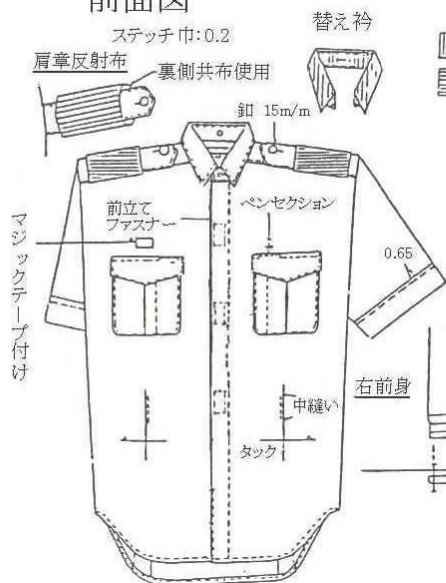
- 1 救急服の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。
- 3 落札業者は、紡績メーカーの出荷引受証明書を提出すること。

第5 概要図

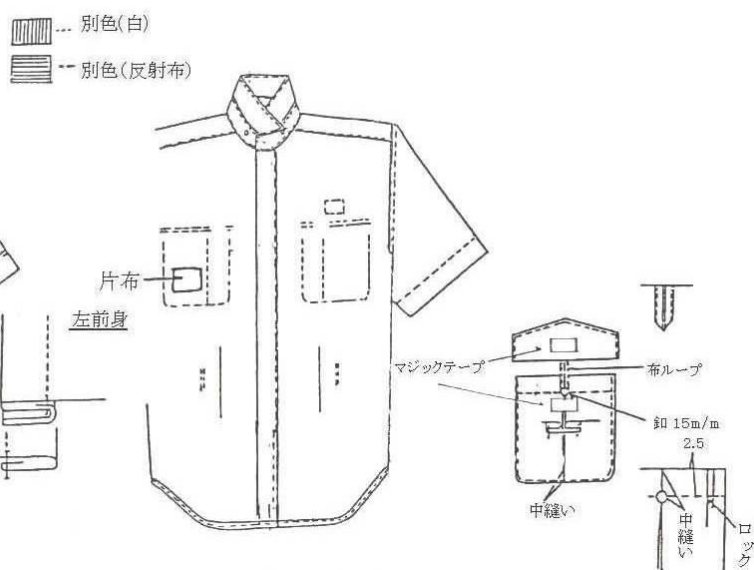
(単位：mm)



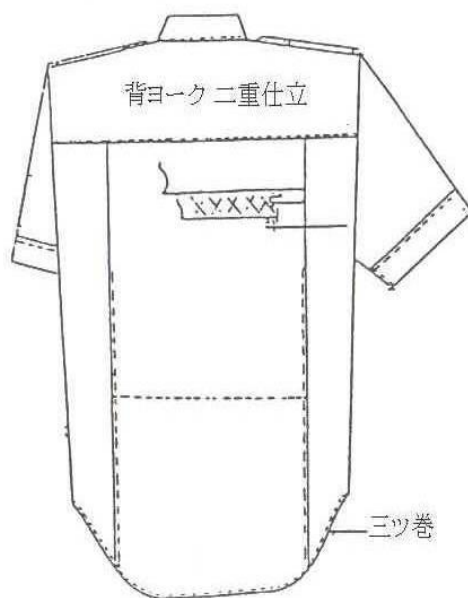
前面図



前面裏図



後面図



後面裏図

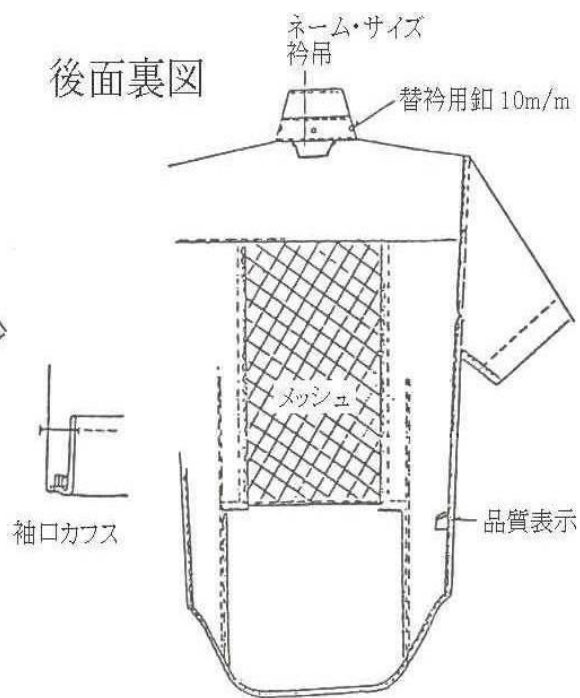
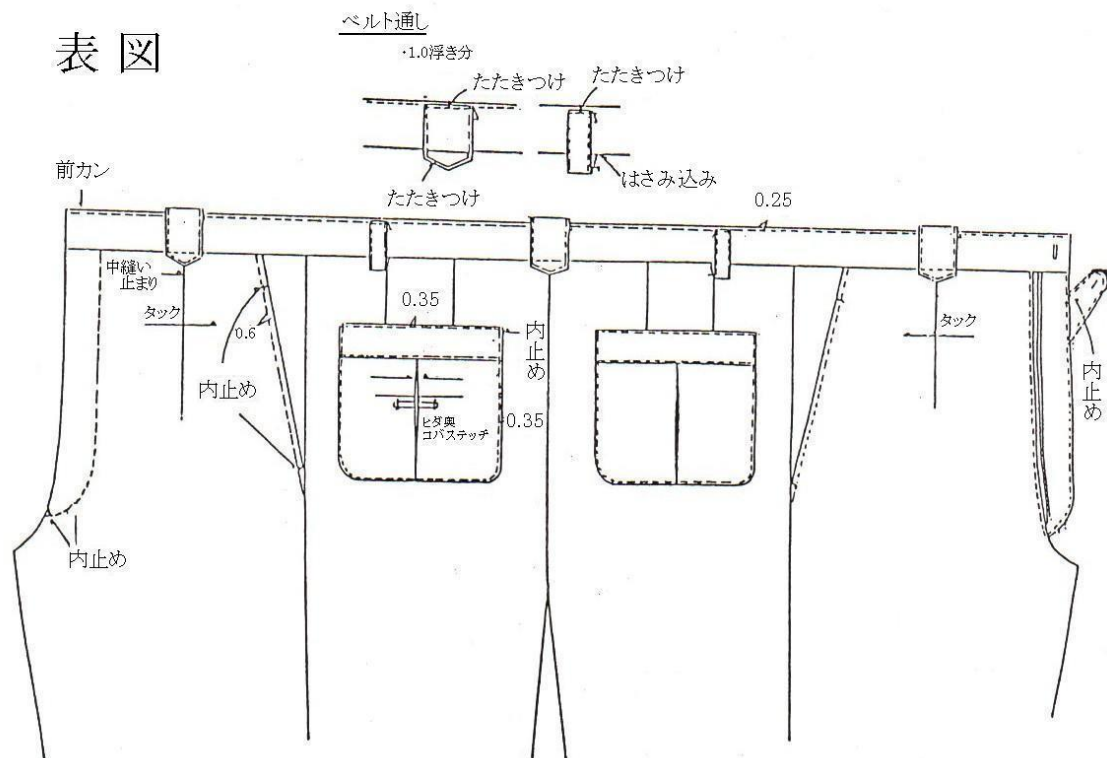
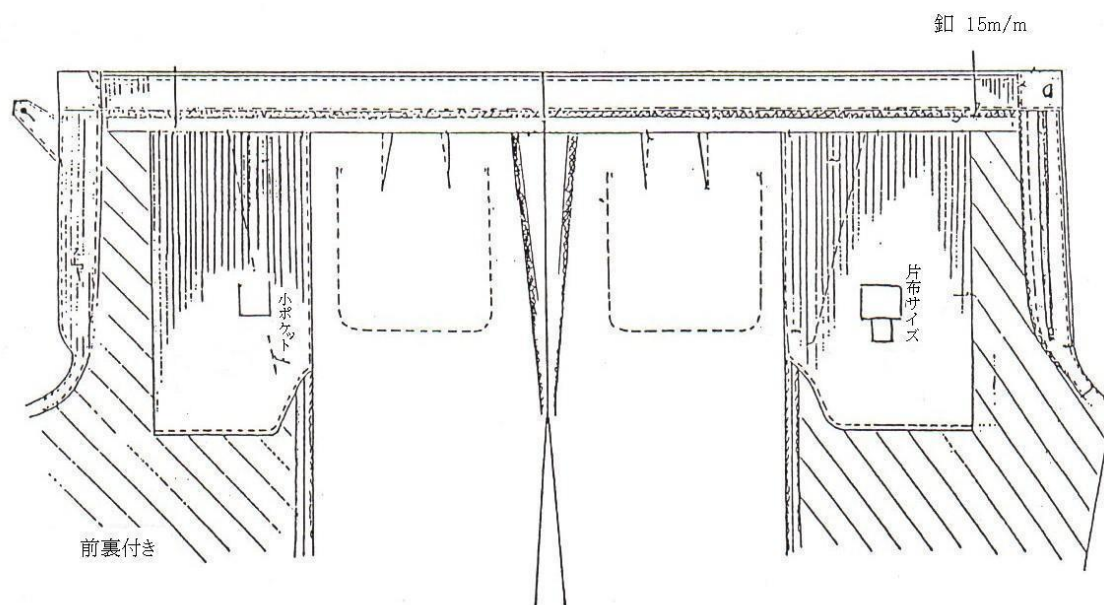


表 図



裏 図



8 防寒衣仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武市郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する防寒衣について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 受注者は、各自の採寸を行なうこと。
- 4 この防寒衣は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は、受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 基本型式

- 1 形状
コート型とし、フロントファスナー・前立て付き面ファスナー止め・両脇ポケット・胸ポケット・袖口面ファスナー止めとする。
- 2 型式は下記の参考品を基本型式とする。
※参考品 メーカー名：ミズノ株式会社 型式：G2JE

第3 使用材料

- 1 生地一般
 - (1) 原糸は糸むら、番手むら、撚りむらなど目立たない良質なものを使用するものとする。
 - (2) 織り上がりは均整で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものでなければならない。
- 2 生地
生地は別表1のとおりとする。
- 3 袋布
ポリエステル100%をポケット袋に使用する。
- 4 芯地
不織布芯地
- 5 ファスナー
YKK5番コイルファスナー
ブラック(フロント・胸ポケット・脇ポケット)
- 6 面ファスナー
20mm
- 7 手口ゴム
平ゴム40mm

8 縫い糸

ポリエステルミシン糸 #50 生地同系色

第4 縫製要領

1 裁断

- (1) 地の目曲がりの目立たないこと。
- (2) 指定方向に裁断すること。
- (3) 表裏を正しく使用すること。
- (4) 生地の傷や汚れのないこと。
- (5) 色ぶれ(色違い)が出ていないこと。
- (6) 印付けが目立つ箇所がないこと。
- (7) 製品上見える部分に印付けに目打ちをしないこと。また、焼き目打ち、ドリル目打ちも使用しないこと。
- (8) 生地を積み重ねて裁断するとき、上と下の生地の狂い、ずれが生じないこと。

2 縫製等

- (1) 針あと傷が生じないように、縫い針の選択等に留意し針交換は定期的に行うこと。
- (2) 各部の縫い合わせは、上下糸のつれ、たるみがないようにすること。
- (3) 縫い目とび、縫い外れ、縫い継ぎ不良、縫い目曲がりがないこと。
- (4) 重ね縫い(糸継ぎ)は2cmを目安として、ほつれのないようにすること。
- (5) 飾り縫いによる、ねじれ又は縫いしわのないようにすること。
- (6) メス切れ不良等による、生地端のささくれのないようにすること。
- (7) 不適当なメス落として、寸法不足のないように注意すること。
- (8) 針穴傷、送り歯傷等のないこと。
- (9) 縫い調子が良好で、糸切れ、目とび、パッカリングのないこと。
- (10) 袖丈は左右揃っていること(1cm以内)。
- (11) 脇交点のズレがなく合っていること(5mm以内)。
- (12) 糸きり、糸始末は、丁寧にかつ完全に行うこと。
- (13) アイロン焼け、アイロンあたり、アイロンしわ等のないようにすること。
- (14) 製品に湿気を残さないこと。

3 ファスナー

- (1) ファスナー開きに適合するものを使用すること。
- (2) スライダーがスムーズに上下又は左右に移動し、生地には食い込まないこと。
- (3) 縫い曲がり、波打ち等が目立たなく、ファスナー付け止めは返し縫い

又はかん止めをいれること。

- (4) ファスナー見せ幅(むしだし幅)が適正で、左右均一であること。
- (5) ファスナー付けによる各部の段違いが生じないこと。

第5 縫製仕様

1 衿

- (1) 外衿に芯地、内衿に中綿と高密度織物表地を入れること。
- (2) 衿幅は後中心で10.5cm±5mm(サイズピッチ有)とする。
- (3) 飾りステッチは6～7mmとする。
- (4) 肌に当たる側はポリエステル100%メッシュ素材を使用する。

2 身頃

- (1) 前後ヨークから袖にかけて切り替える。切り替えには再帰反射パイピング(シルバー#99)を入れること。
- (2) 右胸ポケットの上部には、無線機マイク用のループを付けること。

3 前立て

- (1) 前あわせは面ファスナーで4点止めとすること。
- (2) 前ファスナーの付け始めと付け終わりはカン止めを施すこと。
- (3) 前ファスナー上部にチンガードを付けること。

4 胸ポケット

- (1) 右胸ポケット、両腰ポケットはファスナー付きでスライダーには引き手ループを付けること。
- (2) 右胸ポケットの袋地端は吊り布でアームホールに固定する。

5 袖

袖口には、袖口巾を調整できるマジック面ファスナーを付けること。

6 脇から袖下

本縫いし、更にオーバーロックミシン又はインターロックミシン掛けとする。

7 チンガード

- (1) 肌に当たる側はポリエステル100%メッシュ素材を使用する。
- (2) ファスナー噛み防止のステッチとカン止めを施すこと。

8 中綿

部位により中綿グラム数を変えること。

ア 後身裏上部	100g
イ 内衿・前見返し・前身裏・後身裏下部	80g
ウ 袖裏・上前立	60g

9 表示

- (1) 品質表示は左脇裏に付けること。
- (2) メーカー名とサイズ表示は後身裏の衿下に付けること。
- (3) 個人用ネームタグは右胸の内側に付けること。
- (4) 左腕にメーカー名を記載した反射タグを付けること。

10 文字記入

別表 3 のとおりとし、色についてはオレンジとする。

第 6 その他

- 1 防寒衣の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。
- 3 サイズについては、基準サイズとし、サイズ表(別表 2)のとおりとする。
ただし、サイズの号数表示名、基準サイズについては、契約決定後事前に当本部の承認を受けた場合、承認サイズ表に変更することができるものとする。

別表 1

【表生地】

項 目	基 準
表生地本体生地（ネイビー）	YK0739／帝人フロンティア
表生地本体混紡率	ポリエステル 100%
表生地配色生地（オレンジ）	#55 ポリエステル 100%
内衿並びにチンガード	ポリエステル 100%
表生地寸法変化	タテ、ヨコ-2～+1%以内
プレスによる寸法変化	±3%以内
引張強度	200N 以上
引裂強度	10N 以上
滑脱抵抗	3.0 mm以下
スナッグ	3 以上
撥水度	初期全て 4 以上/5HL 全て 2 以上/5DC 全て 2 以上
染色堅牢度 耐光	4 級以上
洗濯	3 級以上
摩擦	3 級以上

【裏生地】

項 目	基 準
裏地本体生地	ポリエステル 100%
裏地袋地	ポリエステル 100%
裏地後身上部生地	KAW1234K／東洋紡 STC 吸湿発熱素材（ブレスサーモ）
染色堅牢度全般	4 級以上
寸法変化	-3～+1%以内
プレスによる寸法変化	-3～+1%以内

【その他】

項 目	基 準
ファスナー	YKK
面ファスナー	フック：標準 ループ：ソフト
パイピング	再帰反射パイピング

別表 2

サイズ表（新 JASPO 規格）

【上位】

（単位：cm）

サイズ	胸 囲	衿 丈	着 丈
S S	1 1 4	8 5 . 4	7 3
S	1 1 8	8 7 . 6	7 6
M	1 2 2	8 9 . 8	7 9
L	1 2 6	9 2 . 0	8 2
O	1 3 0	9 4 . 2	8 5
X O	1 3 4	9 6 . 4	8 8
2 X O	1 3 8	9 8 . 4	9 1
3 X O	1 4 2	1 0 0 . 4	9 4

許容範囲：－ 1 cm～＋ 1 . 5 cm

別表 3



9 雨 衣 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する雨衣について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この雨衣は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は、受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様 別紙のとおり

第3 検査 検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 雨衣の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な支持を受けること。

1 型式

上 衣	全 体 の 形 状	半コート型	
	主要部の形状	前立て	二重前立て、ファスナー開閉、面ファスナー止め
		衿	スタンドカラー
		袖	ラグラン袖、一重袖口
		フード	脱着式、両脇調節ゴムコード付き
		ポケット	両脇雨蓋付きポケット
下 衣	全体の形状	長ズボン型	
	主要部の形状	ウエスト	ゴム入り、調節紐付き
		裾	裾外側に雨蓋付きスリット付き

2 材料規格

(1) 生地

項 目	規 格		試 験 方 法
品 名	ゴアテックス®ファブリック (3層品)		
構 造	ゴアテックス®フィルムにナイロン布とニットをラミネート加工した3層構造		
色 相	イエロー		
組 織	平織		JIS L 1096
混用率	ナイロン 100%		JIS L 1030
繊 度	縦	78dtex±6%	JIS L 1096
	横	78dtex±6%	
密 度	縦	440本/10cm以上	JIS L 1096
	横	340本/10cm以上	
染色堅ろう度	水	4級以上	JIS L 0846
	耐光	3-4級以上	JIS L 0842
	洗濯	4級以上	JIS L 0844 A-2号
	摩擦(乾・湿)	4級以上	JIS L 0849 II形
	汗(酸・アルカリ)	4級以上	JIS L 0848
厚 さ	0.30mm±0.10mm		JIS L 1096
質 量	130±20g/m ²		JIS L 1096
寸法変化	縦	-3.0~0.0%	JIS L 1096 E法
	横	-3.0~0.0%	
引張強さ	縦	650N以上	JIS L 1096 ラベルドストリップ法 5cm幅
	横	400N以上	
引裂強さ	縦	20N以上	JIS L 1096 A-1法(シングルタ ング法)
	横	20N以上	

耐水度	初 期 350kPa以上 20回洗濯後 350kPa以上(※)	JIS L 1092 B法 (高水圧法) (初期と20回洗濯後の耐水度を測定) 目皿使用、ニット面より加圧 洗濯条件:JIS L 0217 103法 タンブル乾燥
はっ水度	初 期 50回洗濯後 53以上(※)	JIS L 1092 スプレー試験 (初期と50回洗濯後のはっ水度を測定) 洗濯条件:JIS L 0217 103法 タンブル乾燥
透湿度	450g/m ² ・h以上	JIS L 1099 B-2法
湿式屈曲試験	48hr連続水洗後 漏水なし 生地には剥離がないこと	①ISO 6330 Bタイプ洗濯機に水を入れ、試料及び負荷布を投入し、連続水洗を48hr行う (水量60±4リットル、試料60cm×全幅、負荷量900±90g、水温45℃以下)。②水洗後乾燥を行い、JIS L 1092 A法に規定する耐水度試験装置で幅方向5点に20kPaの水圧を2分間加え、漏水の有無を評価する。

(2) 目止めテープ

項 目	規 格	試 験 方 法
品 名	ゴアシーム®テープ (3層用)	
構 造	ゴアテックス®フィルムにニットと熱可塑性樹脂をラミネート加工した3層構造	
色 相	生地裏面と同系色	
幅	22mm	
耐 水 度	初 期 20回洗濯後 (接着加工後) 350kPa以上 350kPa以上	JIS L 1092 B法 (高水圧法) (初期と20回洗濯後の耐水度を測定) 皿皿使用、ニット面より加圧 洗濯条件:JIS L 0217 103法 タ ンブル乾燥
接 着 加 工 方 法	ホットメルト方式	

＜注記＞本仕様書における材料規格のうち、生地並びに目止めテープに関する規格(試験方法が明示されたもの)への適合についての証明にあたっては、以下のうちいずれかの検査機関発行の試験証明書を事前に提出することとする。

- ・ 財団法人 日本化学繊維検査協会
- ・ 財団法人 日本繊維製品品質技術センター

(3) 附属材料

材料名(使用箇所)	項 目	規 格
糸	材 質	ポリエステル 100%
	色 相	生地同系色
ファスナー (上衣:前立て)	YKK No.5C ファスナー オープン 同等以上	
	長さ/数量	別記/1本
	色 相	生地同系色
ファスナー (下衣:裾)	YKK No.3C ファスナー 止め 同等以上	
	長さ/数量	26cm/2本
	色 相	生地同系色
面ファスナー (上衣:前立て、袖口、フード、 ポケット)	材 質	ナイロン 100%
	規 格	幅:20mm
	色 相	生地同系色
釦 (上衣:フード、衿/下衣:裾)	材 質	樹脂製
	数 量	6セット
	規 格	外径:12.5mm
	色 相	生地同系色
平ゴム (上衣:袖口/下衣:ウエスト)	規 格	幅:25mm/30mm
	色 相	ホワイト
丸ゴム (上衣:フード)	規 格	直径:3mm
	色 相	ブラック
紐 (下衣:ウエスト)	江戸打ち紐 中太 同等以上	
	材 質	ナイロン 100%
	色 相	生地同系色

起毛ニット (上衣:衿)	材 質	ポリエステル100%
	色 相	グレー
ファスナー引き手 (上衣:前立て)	規 格	合皮 GORE-TEX®ネーム入り
	色 相	ブラック
ストッパー (上衣:フード)	材 質	樹脂製
	色 相	ブラック
芯地 (上衣:衿)	規 格	不織布
	色 相	ホワイト

3 縫製

(1) 縫製基準

運 針 数	10針／3cm以上とする。
縫 代	特に指定するものの他、1.0cm(標準)とする。
返し縫い	1.0cm(標準)とする。
目止め加工	本体同士の縫合部分は、ゴアシーム®テープ(3層用)にて目止め加工する。
裁 目 処 理	生地 of 耳は使用可とし、裁目ではつれ止めを要する部分については二つ折り、三つ折りのいずれかの方法により必要な処理をする。
そ の 他	(1)各縫い合わせの上下糸につれやたるみがない。 (2)縫いとびや縫い外れがない。 (3)返し縫いは完全に行う。 (4)必要な箇所には合印を入れてポイント合わせには注意する。

(2) 縫製仕様

上衣	衿	スタンドカラーとし、内衿に起毛ニットを縫い付ける。
	衿吊り	表共生地による衿吊りを、外衿中央付け根に挟み込む。
	袖	ラグラン型とし、身頃にダブルステッチにて取り付ける。
	袖口	袖口は一重袖とし、ゴム入り、調節タブ付き(面ファスナー止め)とする。
	前立て	二重仕立てとし、内側はファスナーにより開閉する。 上前立てと下前立ては面ファスナーにて止める。
	脇	前身頃と後身頃をダブルステッチにて縫い合わせる。
	裾	三つ折り縫いとする。
	ポケット	両脇に雨蓋付き(面ファスナー止め)ポケットとする。
	フード	脱着式とし、調節ゴムコード付き(ストッパー付き)とする。 背面に高さ調節タブ(面ファスナー止め)を付ける。
下衣	ウエスト	平ゴム入りとし、調整紐付きとする。
	脇	前後をダブルステッチにて縫い合わせる。
	裾	三つ折り縫いとし、外側に雨蓋付きスリット(ファスナー開閉、下端釦止め)付きとする。

(3) その他

品質・洗濯表示	上衣、下衣に取り付ける。取り付け位置は機能、外観を損なわない位置とする。
背 文 字	熱転写シートにて背文字を圧着すること。(蓄光反射タイプ) 別紙有り

4 寸 法

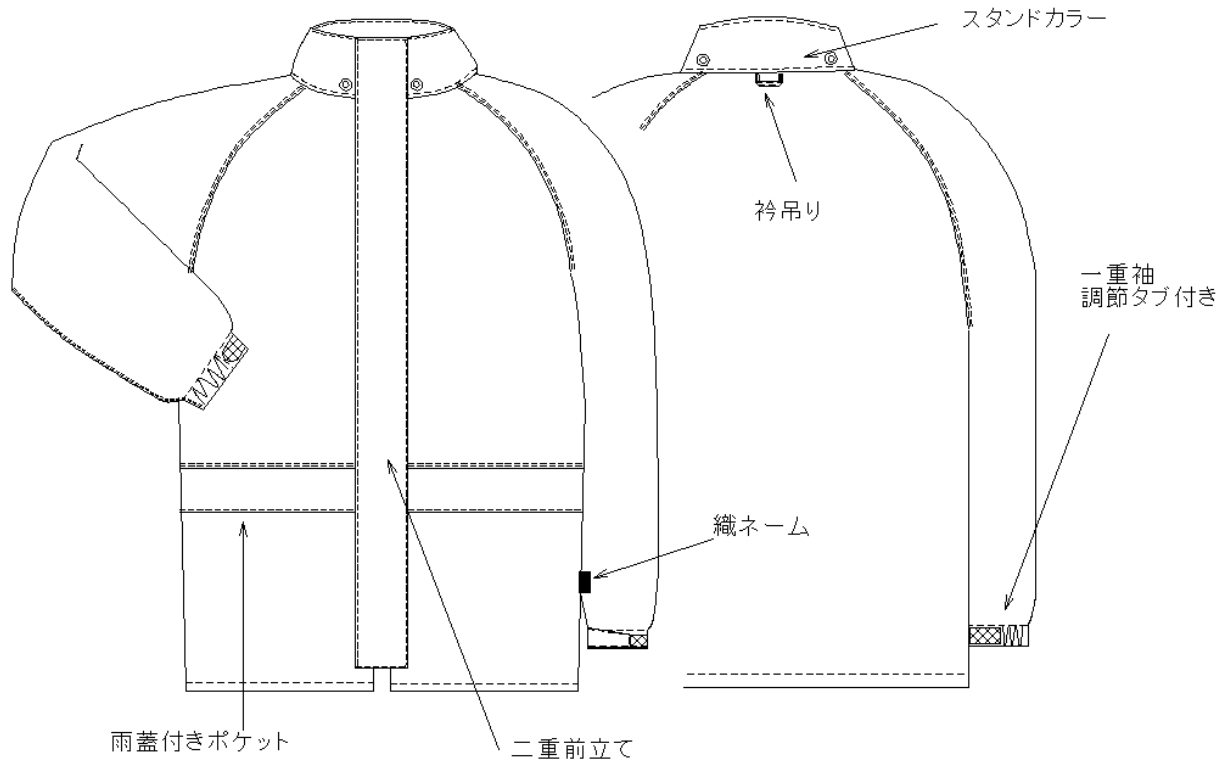
(単位:cm)

	部 位	S	M	L	LL	3L	許容差
上衣	上 衣 丈	72.0	76.0	80.0	84.0	88.0	±2.0
	衿 丈	78.0	82.0	86.0	90.0	94.0	±2.0
	胸 回 り	117.0	121.0	125.0	129.0	137.0	±2.0
	衿 回 り	55.0	56.0	57.0	58.0	60.0	±1.5
	前立ファスナー	56.0	56.0	56.0	60.0	60.0	±1.5
下衣	下 衣 丈	96.0	101.0	106.0	111.0	116.0	±2.0
	股 下	68.0	72.0	76.0	80.0	84.0	±2.0
	腰 回 り	106.0	110.0	114.0	120.0	132.0	±2.0

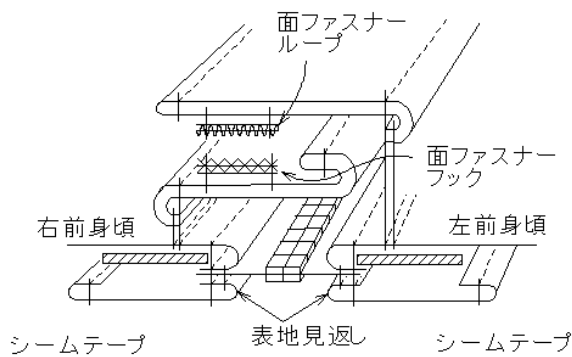
5 包装・出荷

包 装	1着ごとに袋に入れ、サイズシールを貼る。
梱 包	出荷の際、梱包資材外装に内容物のサイズ、数量を明記する。

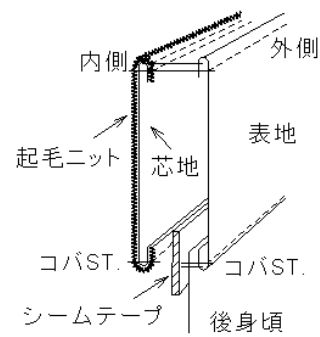
上衣全体図



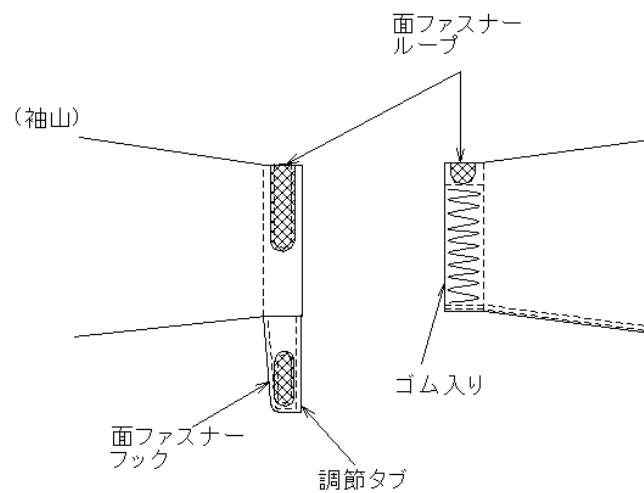
● 前立て断面



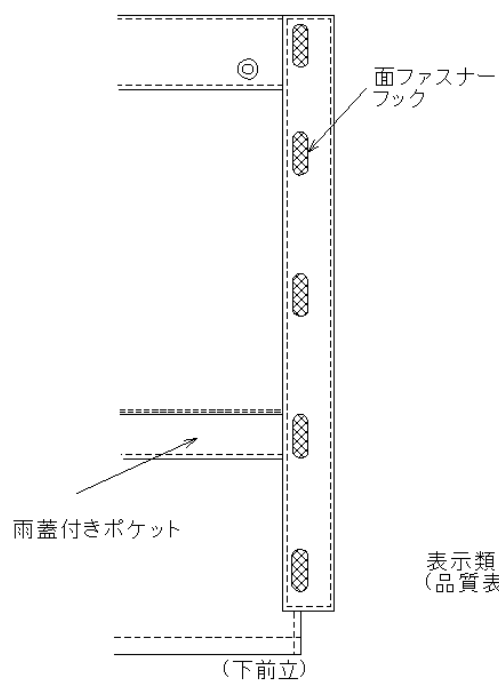
● 衿断面



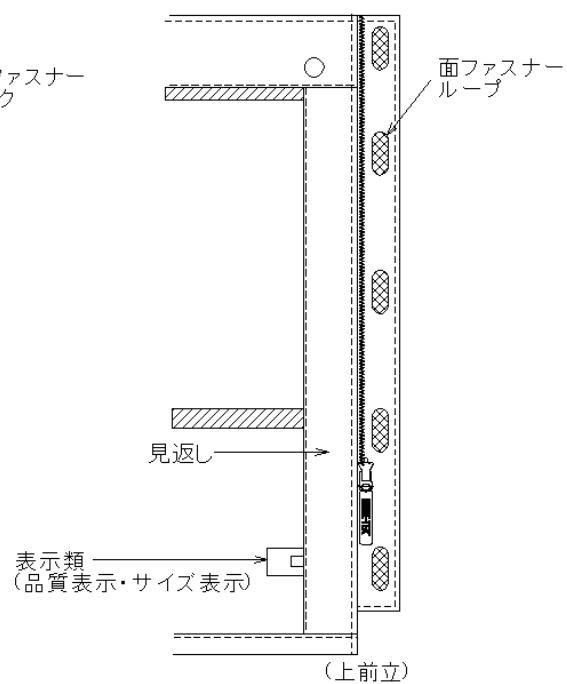
● 袖口 〈左袖〉




●右前表

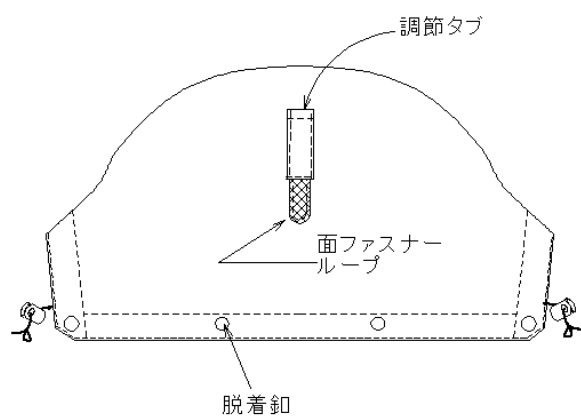


●左前裏

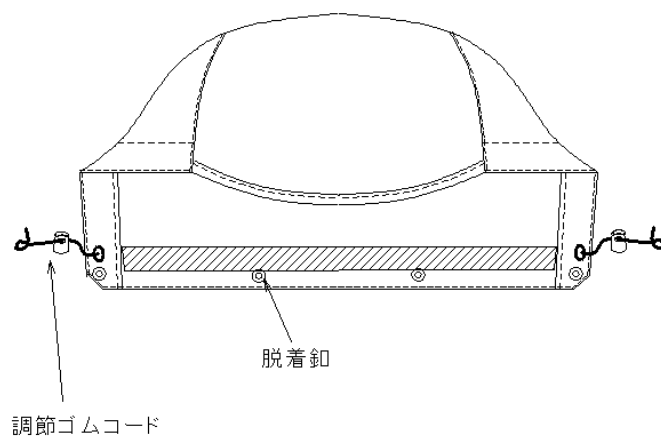


シームテープ: 

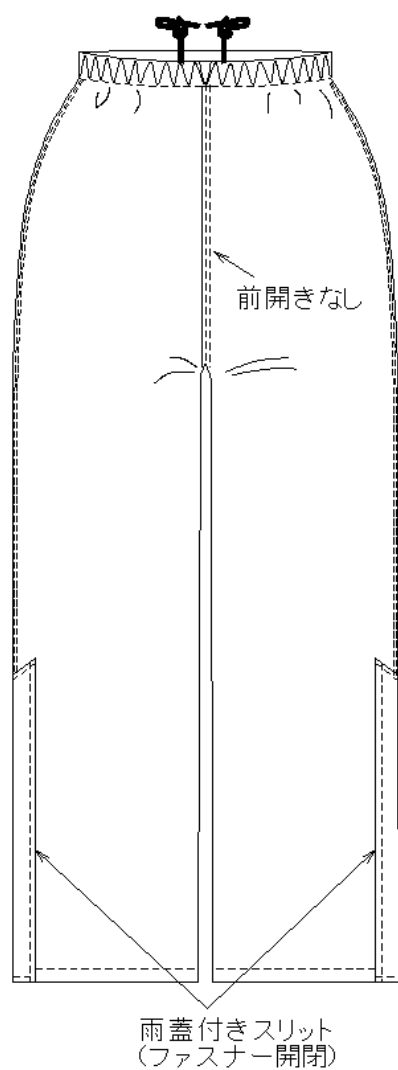
●フード後



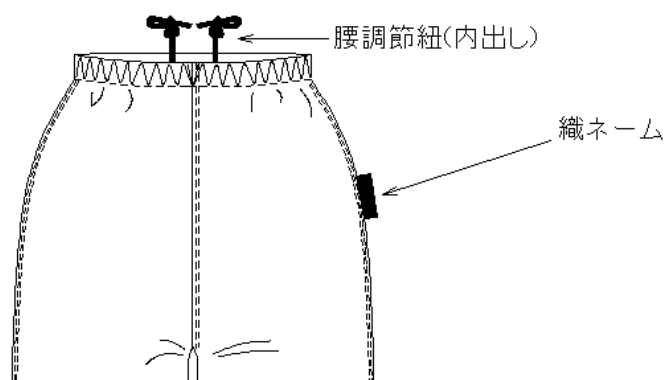
●フード前



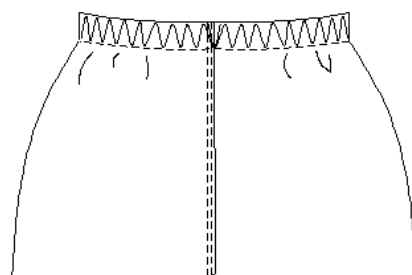
下衣全体図



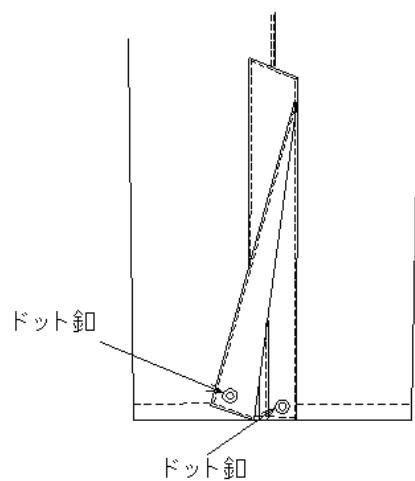
●ウエスト前



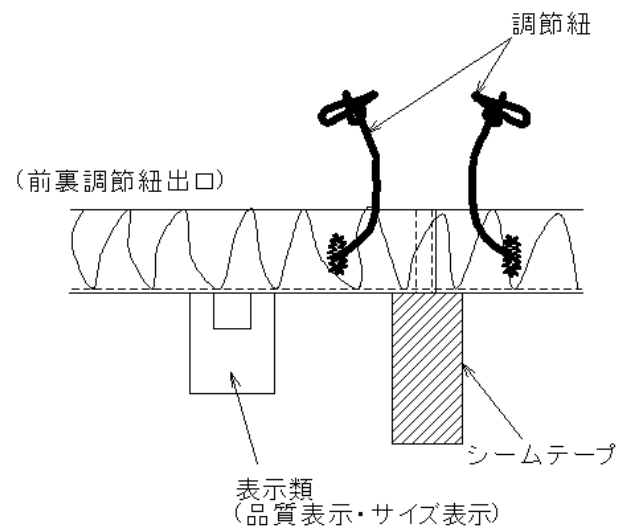
●ウエスト後



●下衣裾



●下衣前裏



FIRE DEPARTMENT

SANBU

たて : 230 mm × よこ : 340 mm

10 ヘルメット仕様書

(ダイヤル調整有・リング式)

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入するヘルメットについて定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 ヘルメットの納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 4 検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。
- 5 保安帽は、物体の飛来落下及び墜落から着装者の頭部を保護する構造及び性能を有し、頭部を動かしても、ぐらつきが小さく、着装者の不快感が少ないものとする。
- 6 保安帽は、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定に基づく保安帽の規格（昭和50年9月労働省告示第66号）に適合するものとする。
- 7 このヘルメットは、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
また、仕様内容と相違がある場合及び不合格の場合は、指示事項を訂正、修正又は交換の上、再検査を受けるものとする。
- 8 検査後であっても帽体、着装体等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 仕様材料

項 目		内 容	
帽体	本 体	材 質 表 面 寸 法	ポリエステル樹脂（F R P） 白とクリアの焼付け塗装 概要図1 参照
	階 級 線	材 質 貼付位置 反射素材	アクリル系プラスチック／赤反射 概要図2 参照 ガラスビーズ、アルミ反射層
	き 章	材 質 取付位置 寸 法	アクリル系プラスチック 概要図2 参照 概要図3 参照
	標 識	材 質 寸 法	塩化ビニール／黒／紺 概要図3 参照
	外周緩衝	材 質	軟質塩化ビニール／黒
	掛け金具	材 質	真鍮／ニッケルメッキ仕上げ
着装体	ハンモック	材 質	ポリエチレン／白
	連結リベット	材 質	真鍮
	ヘッドバンド	材 質 寸法調整	ポリエチレン／黒 (汗止め／合成皮革) ダイヤル式調整
	緩衝パット	材 質 寸 法	E V A発泡 長さ1 2 0 mm以上、幅2 0 mm以上 厚み6 mm以上
衝撃吸収 ライナー		材 質 取 付 法	発泡スチロール 概要図5 参照
あごひも		材 質 寸 法	ナイロン／黒 概要図4 参照
重量		6 0 0 g 以下	

2 構造

保安帽は、帽体、着装体、衝撃救急ライナー及びあごひもで構成され概要図5のとおりとし、構成部分は次のとおりとする。

なお、(株) イマジョー製の品番 IMF-3 (白) 又は同等品以上とする。
同等品以上とする場合は事前に当消防本部と協議し承認を得ること。

(1) 帽体

ア 本体

- (ア) 本体は、帽体を形成する主要部分で、ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂（強化プラスチック製）とする。
- (イ) 外側の（表面）の仕上げは、白とクリアの焼付け塗装とし、安易に剥離しないものとする。
- (ウ) 表面は、滑らかで堅牢であること。

イ 階級線

- (ア) 階級毎に赤色の反射テープを帽体周囲に貼付すること。
- (イ) 貼付位置は周章の上端と下端が、き章の中心から等距離になるようにする。
- (ウ) 階級は消防正監・消防監・消防司令長・消防司令・消防司令補・消防士長・消防副士長・消防士とし、各数量については別途指示するものとする。

ウ き章

- (ア) スコッチシール（小） クリア仕上げ
- (イ) 取り付け位置は、前面の中央とし、接着は強固に行うものとする。

エ 本部名標識

文字の寸法及び向き等は、概要図3のとおりとする。

- (ア) 帽体の両側に、「SANBU FIRE DEPT. / 山武郡市消防本部」と2段で表示すること。
- (イ) 表示は、カッティングシールを使用し、「SANBU FIRE DEPT.」は青色、「山武郡市消防本部」は黒とする。
- (ウ) 字体は丸ゴシックとする。

オ 外周緩衝

帽体の外周には、幅約25mm、厚さ約1.5mm程度の黒ゴムを使用した緩衝材を内側と外側に折り曲げて張り巡らす。

カ 掛け金具

半月形で、黄銅製ニッケルメッキ及び同等の耐食性を有する金属製とし、本体の後部中央に取り付ける。

(2) 着装体

ア ハンモック

ポリエチレン成型品（白）とし、かぶり具合を調節できる補助ハンモック付きのものとする。

イ 連結リベット

真鍮成型品とし、帽体本体に固定され、ハンモック等の着装体が確実に取り付けられるものとする。

ウ ヘッドバンド

- (ア) ヘッドバンドは、ポリエチレン成型品で吸収性及び耐久性に優れた汗止めを外周に取り付けてあるものとする。
- (イ) 寸法調整については、ダイヤル調整式とする。

エ 緩衝パット

- (ア) EVA発泡製で、長さ約120mm以上、幅約20mm以上、厚さ約6mm以上の寸法とする。
- (イ) 取り付け位置は、ヘッドバンドと帽体本体の間に、前頭部及び両側頭部の位置とする。

(3) 衝撃吸収ライナー

- ア 発泡スチロール又は、これと同等の衝撃吸収性能を有するものとする。
- イ 帽体本体の内側に密着し、帽体外部からの衝撃エネルギーを有効かつ、安全に吸収できるように取り付ける。

(4) あごひも

- ア ナイロン製の重織（黒色）の引きひも式（リング式）とする。
- イ 帽体又は着装体に固定され、使用中に帽体が脱落したり、ぐらつかないように確実に締め付けられるものとする。
- ウ ポリエチレン成形品（あご当て 黒色）を取り付ける。

3 重量

完成重量は、600g以下とする。

4 性能

告示に示された耐貫通性能及び衝撃吸収性能の数値を満足すること。

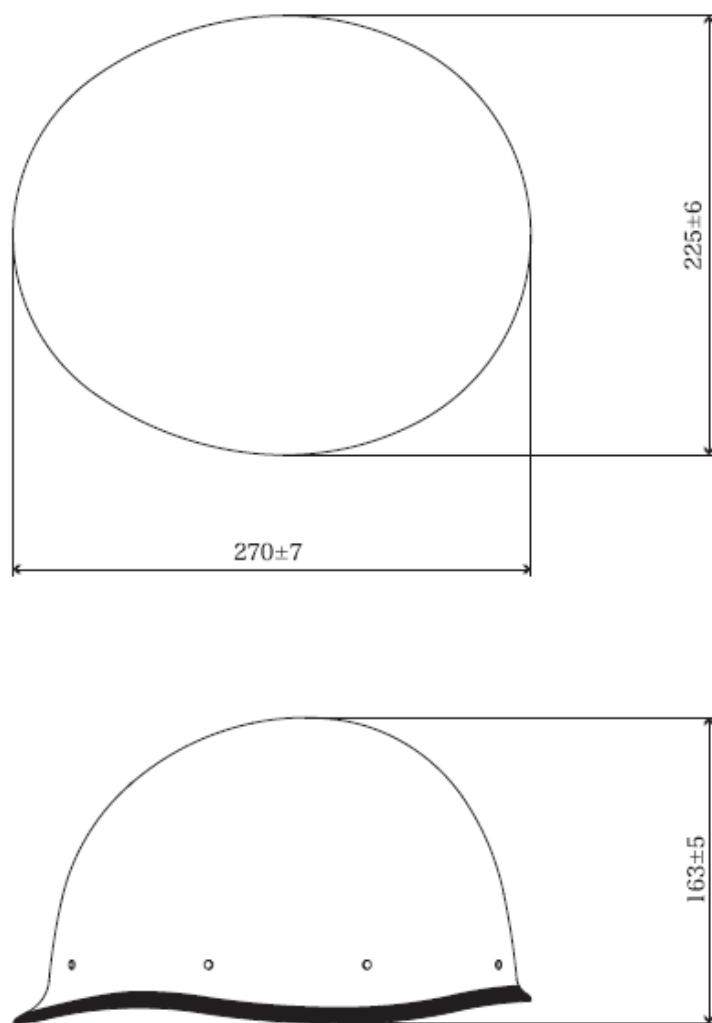
5 補則

- (1) 仕様書に記載のない部分については、当本部と打ち合わせをするものとする。
- (2) 当本部と受注者は、常に信義を重んじ、本仕様書に記した内容全般における疑義及び不備に関して良心を持って協議し、変更を加えこれを解決するものとする。

概要図 1

寸 法

単位:mm



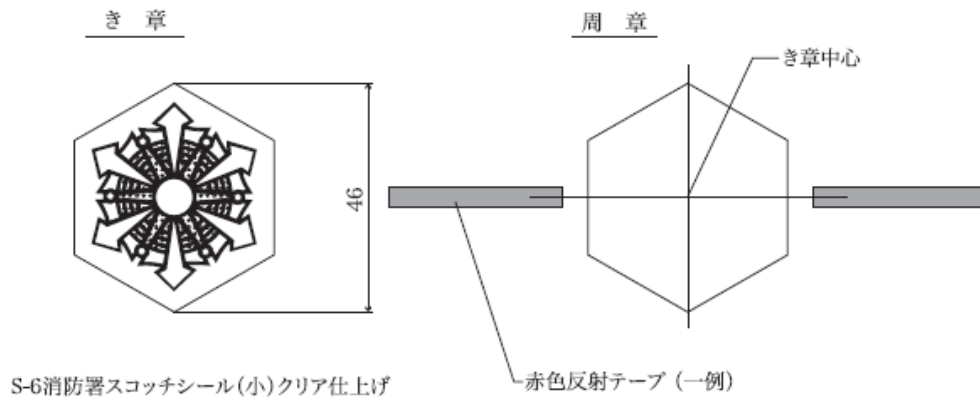
寸法は、外周緩衝を取り付けた時の数値とする。

概要図 2



概要図 3

単位:mm



標識の寸法及び向き

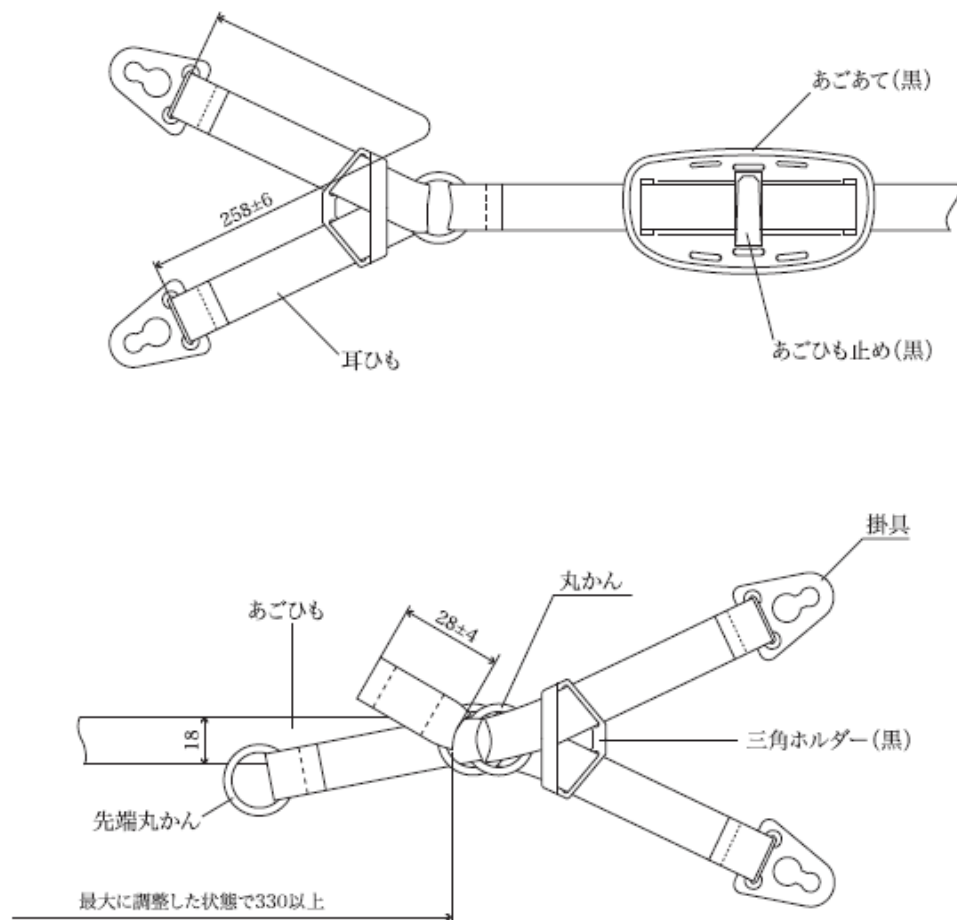
1. 相体の両側面
左書き
切り文字/黒 切り文字/紺
W17×H30×L150 英字H10×L125

SANBU FIRE DEPT.
山武郡市消防本部

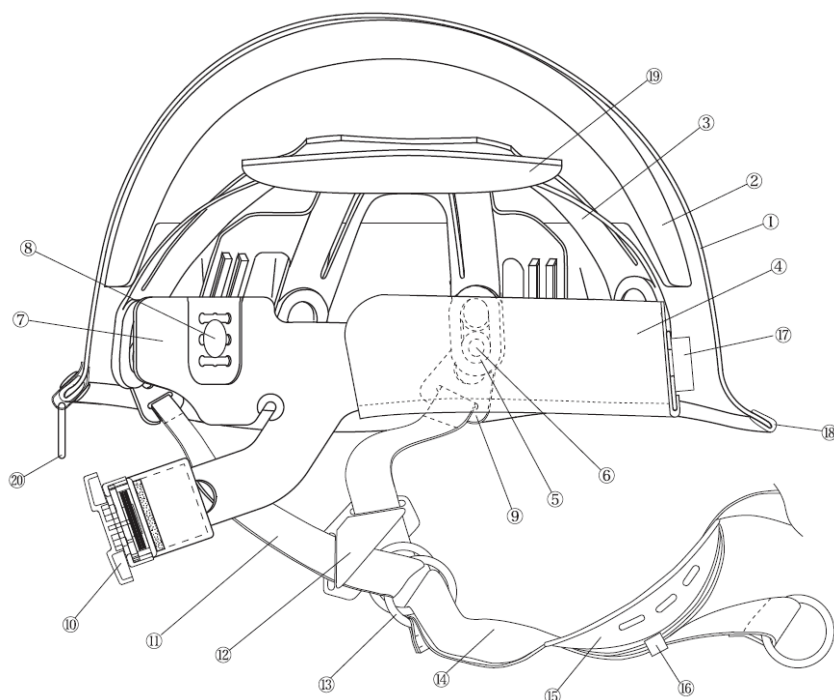
概要図 4

単位:mm

あごひもの形状



概要図 5



No.	部品名
①	帽体
②	衝撃吸収ライナー
③	ハンモック
④	汗取り
⑤	フランジ
⑥	リベット
⑦	ヘッドバンド
⑧	固定ピン
⑨	掛け具
⑩	ダイヤル式サイズ調整具
⑪	耳ひも
⑫	三角ホルダー
⑬	丸かん
⑭	あごひも
⑮	あご当て
⑯	あごひも止め
⑰	緩衝材
⑱	縁ゴム
⑲	ヘッドパッド
⑳	掛け金具

1 1 ヘルメット仕様書

(ダイヤル調整有・ワンタッチ式)

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入するヘルメットについて定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 ヘルメットの納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 4 検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。
- 5 保安帽は、物体の飛来落下及び墜落から着装者の頭部を保護する構造及び性能を有し、頭部を動かしても、ぐらつきが小さく、着装者の不快感が少ないものとする。
- 6 保安帽は、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定に基づく保安帽の規格（昭和50年9月労働省告示第66号）に適合するものとする。
- 7 このヘルメットは、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
また、仕様内容と相違がある場合及び不合格の場合は、指示事項を訂正、修正又は交換の上、再検査を受けるものとする。
- 8 検査後であっても帽体、着装体等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 仕様材料

項 目		内 容	
帽体	本 体	材 質 表 面 寸 法	ポリエステル樹脂（F R P） 白とクリアの焼付け塗装 概要図1 参照
	階 級 線	材 質 貼付位置 反射素材	アクリル系プラスチック／赤反射 概要図2 参照 ガラスビーズ、アルミ反射層
	き 章	材 質 取付位置 寸 法	アクリル系プラスチック 概要図2 参照 概要図3 参照
	標 識	材 質 寸 法	塩化ビニール／黒／紺 概要図3 参照
	外周緩衝	材 質	軟質塩化ビニール／黒
	掛け金具	材 質	真鍮／ニッケルメッキ仕上げ
着装体	ハンモック	材 質	ポリエチレン／白
	連結リベット	材 質	真鍮
	ヘッドバンド	材 質 寸法調整	ポリエチレン／黒 (汗止め／合成皮革) ダイヤル式調整
	緩衝パット	材 質 寸 法	E V A発泡 長さ1 2 0 mm以上、幅2 0 mm以上 厚み6 mm以上
衝撃吸収 ライナー		材 質 取 付 法	発泡スチロール 概要図5 参照
あごひも		材 質 寸 法	ナイロン／黒 概要図4 参照
重量		6 0 0 g 以下	

2 構造

保安帽は、帽体、着装体、衝撃救急ライナー及びあご紐で構成され概要図5のとおりとし、構成部分は次のとおりとする。

なお、(株) イマジョー製の品番 IMF-3 (白) 又は同等品以上とする。
同等品以上とする場合は事前に当消防本部と協議し承認を得ること。

(1) 帽体

ア 本体

- (ア) 本体は、帽体を形成する主要部分で、ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂（強化プラスチック製）とする。
- (イ) 外側の（表面）の仕上げは、白とクリアの焼付け塗装とし、安易に剥離しないものとする。
- (ウ) 表面は、滑らかで堅牢であること。

イ 階級線

- (ア) 階級毎に赤色の反射テープを帽体周囲に貼付すること。
- (イ) 貼付位置は周章の上端と下端が、き章の中心から等距離になるようにする。
- (ウ) 階級は消防正監・消防監・消防司令長・消防司令・消防司令補・消防士長・消防副士長・消防士とし、各数量については別途指示するものとする。

ウ き章

- (ア) スコッチシール（小） クリア仕上げ
- (イ) 取り付け位置は、前面の中央とし、接着は強固に行うものとする。

エ 本部名標識

文字の寸法及び向き等は、概要図3のとおりとする。

- (ア) 帽体の両側に、「SANBU FIRE DEPT. / 山武郡市消防本部」と2段で表示すること。
- (イ) 表示は、カッティングシールを使用し、「SANBU FIRE DEPT.」は青色、「山武郡市消防本部」は黒とする。
- (ウ) 字体は丸ゴシックとする。

オ 外周緩衝

帽体の外周には、幅約25mm、厚さ約1.5mm程度の黒ゴムを使用した緩衝材を内側と外側に折り曲げて張り巡らす。

カ 掛け金具

半月形で、黄銅製ニッケルメッキ及び同等の耐食性を有する金属製とし、本体の後部中央に取り付ける。

(2) 着装体

ア ハンモック

ポリエチレン成型品（白）とし、かぶり具合を調節できる補助ハンモック付きのものとする。

イ 連結リベット

真鍮成型品とし、帽体本体に固定され、ハンモック等の着装体が確実に取り付けられるものとする。

ウ ヘッドバンド

(ア) ヘッドバンドは、ポリエチレン成型品で吸収性及び耐久性に優れた汗止めを外周に取り付けてあるものとする。

(イ) 寸法調整については、ダイヤル調整式とする。

エ 緩衝パット

(ア) EVA発泡製で、長さ約120mm以上、幅約20mm以上、厚さ約6mm以上の寸法とする。

(イ) 取り付け位置は、ヘッドバンドと帽体本体の間に、前頭部及び両側頭部の位置とする。

(3) 衝撃吸収ライナー

ア 発泡スチロール又は、これと同等の衝撃吸収性能を有するものとする。

イ 帽体本体の内側に密着し、帽体外部からの衝撃エネルギーを有効かつ、安全に吸収できるように取り付ける。

(4) あごひも

ア ナイロン製の重織（黒色）のワンタッチ式とする。必要に応じて引きひも式も選べるができること。

イ 帽体又は着装体に固定され、使用中に帽体が脱落したり、ぐらつかないように確実に締め付けられるものとする。

ウ ポリエチレン成形品（あご当て 黒色）を取り付ける。

3 重量

完成重量は、600g以下とする。

4 性能

告示に示された耐貫通性能及び衝撃吸収性能の数値を満足すること。

5 補則

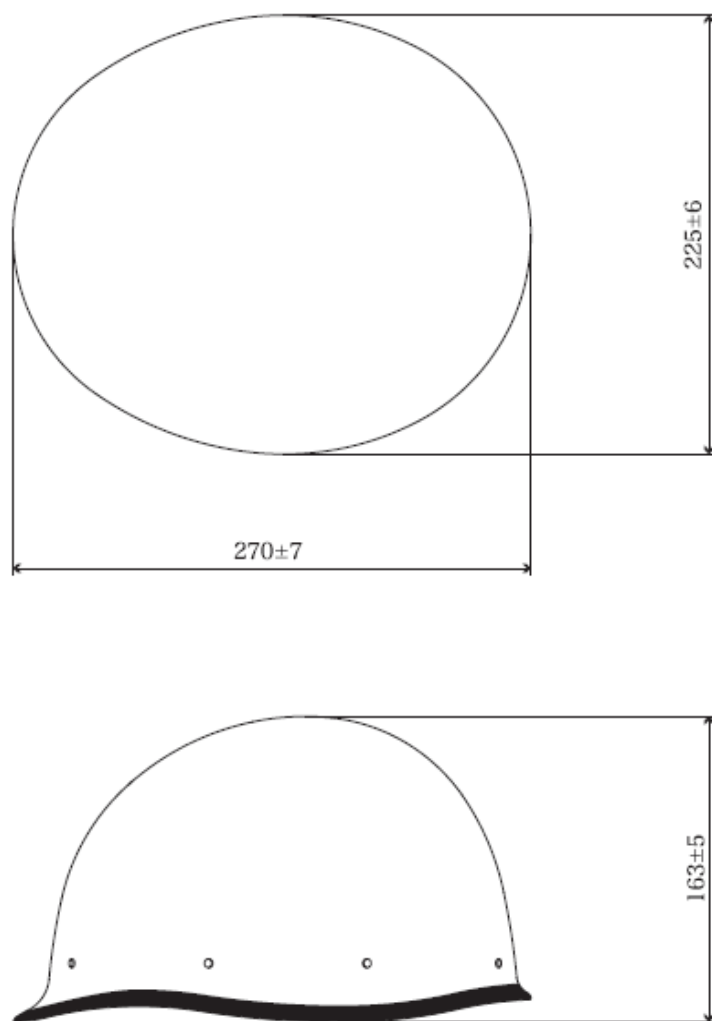
(1) 仕様書に記載のない部分については、当本部と打ち合わせをするものとする。

(2) 当本部と受注者は、常に信義を重んじ、本仕様書に記した内容全般における疑義及び不備に関して良心を持って協議し、変更を加えこれを解決するものとする。

概要図 1

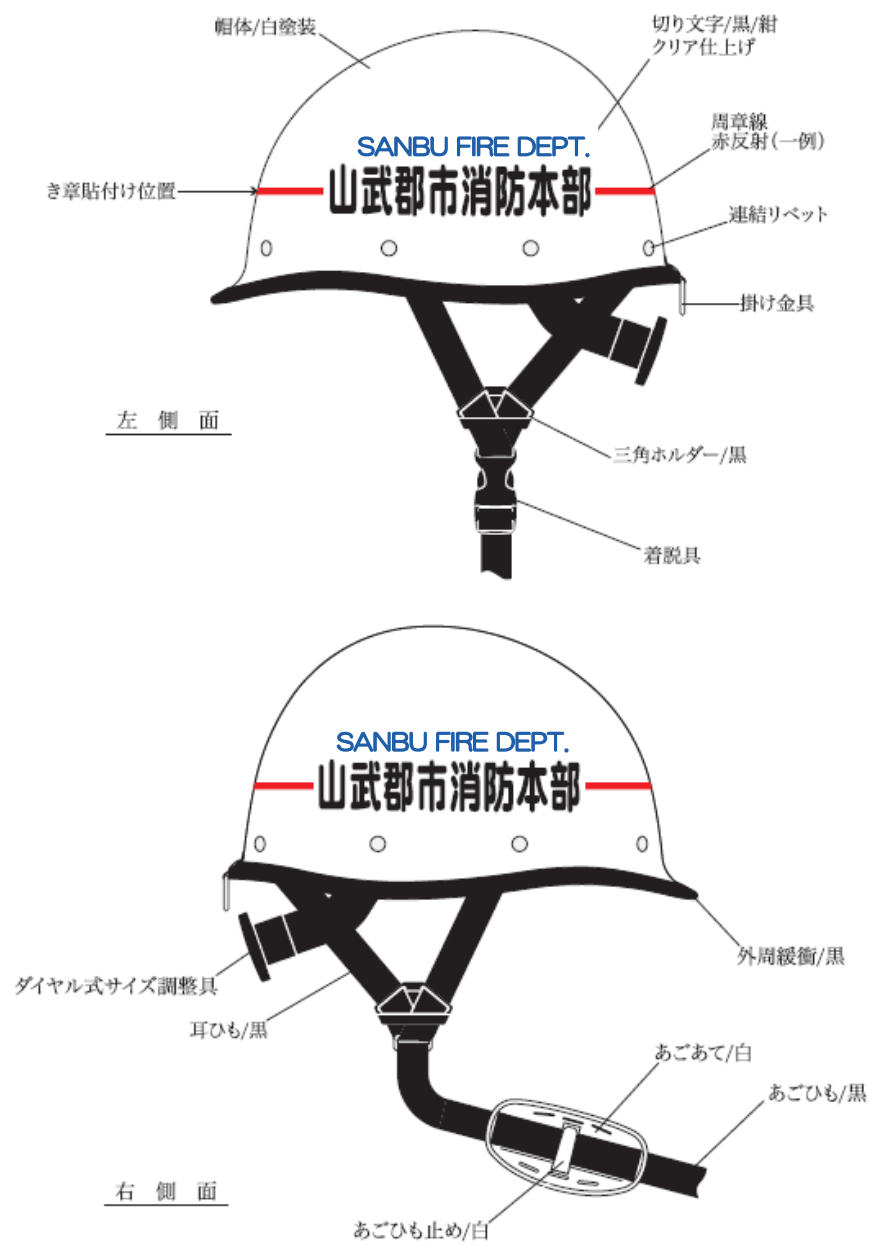
寸 法

単位:mm



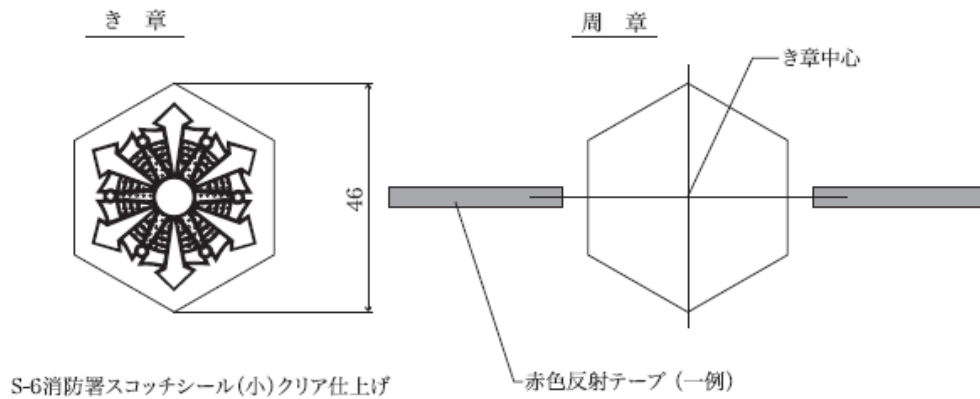
寸法は、外周緩衝を取り付けた時の数値とする。

概要図 2



概要図 3

単位:mm



標識の寸法及び向き

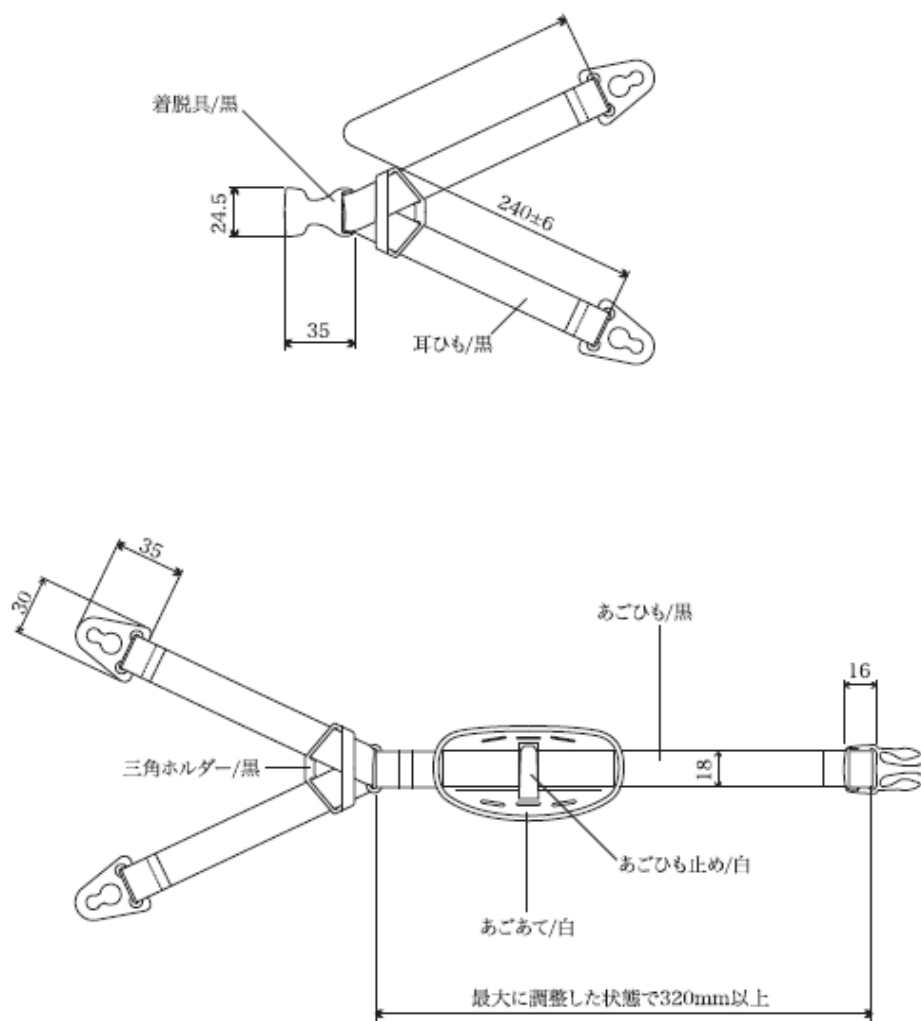
1. 相体の両側面
左書き
切り文字/黒 切り文字/紺
W17×H30×L150 英字H10×L125

SANBU FIRE DEPT.
山武郡市消防本部

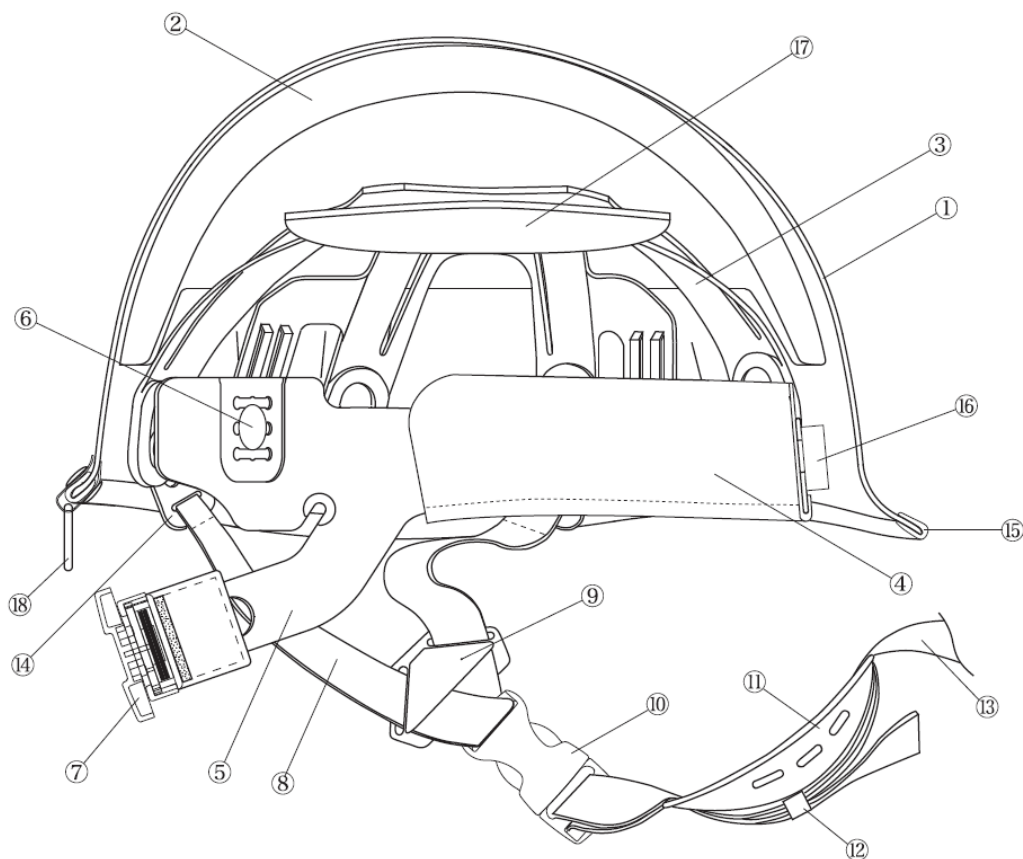
概要図 4

単位:mm

あごひもの形状



概要図 5



N o .	部品名
①	帽体
②	衝撃吸収ライナー
③	ハンモック
④	汗取り
⑤	ヘッドバンド
⑥	固定ピン
⑦	ダイヤル式サイズ調整具
⑧	耳ひも
⑨	三角ホルダー
⑩	着脱具
⑪	あご当て
⑫	あごひも止め
⑬	あごひも
⑭	フック
⑮	外周緩衝
⑯	緩衝パッド
⑰	ヘッドパッド
⑱	掛け金具

12 ヘルメット仕様書

(ダイヤル調整無・リング式)

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入するヘルメットについて定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 ヘルメットの納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 4 検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。
- 5 保安帽は、物体の飛来落下及び墜落から着装者の頭部を保護する構造及び性能を有し、頭部を動かしても、ぐらつきが小さく、着装者の不快感が少ないものとする。
- 6 保安帽は、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定に基づく保安帽の規格（昭和50年9月労働省告示第66号）に適合するものとする。
- 7 このヘルメットは、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
また、仕様内容と相違がある場合及び不合格の場合は、指示事項を訂正、修正又は交換の上、再検査を受けるものとする。
- 8 検査後であっても帽体、着装体等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 仕様材料

項 目		内 容	
帽体	本 体	材 質 表 面 寸 法	ポリエステル樹脂（F R P） 白とクリアの焼付け塗装 概要図1 参照
	階 級 線	材 質 貼付位置 反射素材	アクリル系プラスチック／赤反射 概要図2 参照 ガラスビーズ、アルミ反射層
	き 章	材 質 取付位置 寸 法	アクリル系プラスチック 概要図2 参照 概要図3 参照
	標 識	材 質 寸 法	塩化ビニール／黒／紺 概要図3 参照
	外周緩衝	材 質	軟質塩化ビニール／黒
	掛け金具	材 質	真鍮／ニッケルメッキ仕上げ
着装体	ハンモック	材 質	ポリエチレン／白
	連結リベット	材 質	真鍮
	ヘッドバンド	材 質	ポリエチレン／黒（吸湿性汗止め）
	緩衝パット	材 質 寸 法	E V A発泡 長さ1 2 0 mm以上、幅2 0 mm以上 厚み6 mm以上
衝撃吸収 ライナー		材 質 取 付 法	発泡スチロール 概要図5 参照
あごひも		材 質 寸 法	ナイロン／黒 概要図4 参照
重量		6 0 0 g 以下	

2 構造

保安帽は、帽体、着装体、衝撃救急ライナー及びあごひもで構成され概要図5のとおりとし、構成部分は次のとおりとする。

なお、(株) イマジョー製の品番 IMF-3 (白) 又は同等品以上とする。
同等品以上とする場合は事前に当消防本部と協議し承認を得ること。

(1) 帽体

ア 本体

- (ア) 本体は、帽体を形成する主要部分で、ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂（強化プラスチック製）とする。
- (イ) 外側の（表面）の仕上げは、白とクリアの焼付け塗装とし、安易に剥離しないものとする。
- (ウ) 表面は、滑らかで堅牢であること。

イ 階級線

- (ア) 階級毎に赤色の反射テープを帽体周囲に貼付すること。
- (イ) 貼付位置は周章の上端と下端が、き章の中心から等距離になるようにする。
- (ウ) 階級は消防正監・消防監・消防司令長・消防司令・消防司令補・消防士長・消防副士長・消防士とし、各数量については別途指示するものとする。

ウ き章

- (ア) スコッチシール（小） クリア仕上げ
- (イ) 取り付け位置は、前面の中央とし、接着は強固に行うものとする。

エ 本部名標識

文字の寸法及び向き等は、概要図3のとおりとする。

- (ア) 帽体の両側に、「SANBU FIRE DEPT. / 山武郡市消防本部」と2段で表示すること。
- (イ) 表示は、カッティングシールを使用し、「SANBU FIRE DEPT.」は青色、「山武郡市消防本部」は黒とする。
- (ウ) 字体は丸ゴシックとする。

オ 外周緩衝

帽体の外周には、幅約25mm、厚さ約1.5mm程度の黒ゴムを使用した緩衝材を内側と外側に折り曲げて張り巡らす。

カ 掛け金具

半月形で、黄銅製ニッケルメッキ及び同等の耐食性を有する金属製とし、本体の後部中央に取り付ける。

(2) 着装体

ア ハンモック

ポリエチレン成型品（白）とし、かぶり具合を調節できる補助ハンモック付きのものとする。

イ 連結リベット

真鍮成型品とし、帽体本体に固定され、ハンモック等の着装体が確実に取り付けられるものとする。

ウ ヘッドバンド

- (ア) ヘッドバンドは、ポリエチレン成型品で吸収性及び耐久性に優れた汗止めを外周に取り付けてあるものとする。
- (イ) ヘッドバンドの寸法は、長さ約660mm程度、幅約30mm程度とし、頭周に応じて概ね54cmから61cmまでの範囲で調整できること。

エ 緩衝パット

- (ア) EVA発泡製で、長さ約120mm以上、幅約20mm以上、厚さ約6mm以上の寸法とする。
- (イ) 取り付け位置は、ヘッドバンドと帽体本体の間で、前頭部及び両側頭部の位置とする。

(3) 衝撃吸収ライナー

- ア 発泡スチロール又は、これと同等の衝撃吸収性能を有するものとする。
- イ 帽体本体の内側に密着し、帽体外部からの衝撃エネルギーを有効かつ、安全に吸収できるように取り付ける。

(4) あごひも

- ア ナイロン製の重織（黒色）の引き紐式（リング式）とする。
- イ 帽体又は着装体に固定され、使用中に帽体が脱落したり、ぐらつかないように確実に締め付けられるものとする。
- ウ ポリエチレン成形品（あご当て 黒色）を取り付ける。

3 重量

完成重量は、600g以下とする。

4 性能

告示に示された耐貫通性能及び衝撃吸収性能の数値を満足すること。

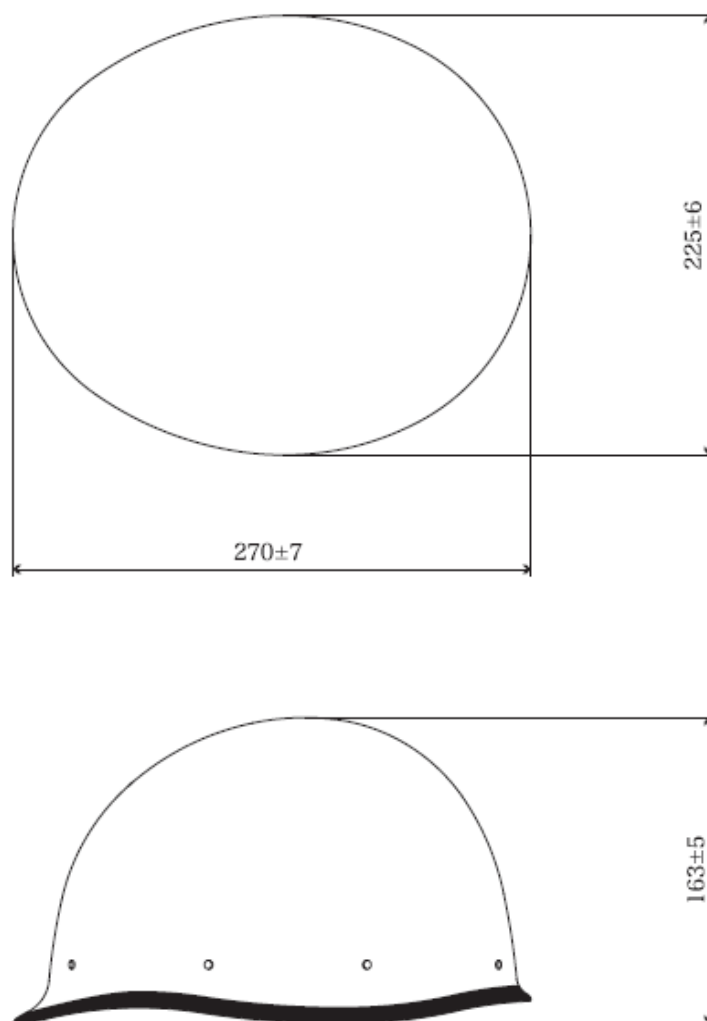
5 補則

- (1) 仕様書に記載のない部分については、当本部と打ち合わせをするものとする。
- (2) 当本部と受注者は、常に信義を重んじ、本仕様書に記した内容全般における疑義及び不備に関して良心を持って協議し、変更を加えこれを解決するものとする。

概要図 1

寸 法

単位:mm



寸法は、外周緩衝を取り付けたときの数値とする。

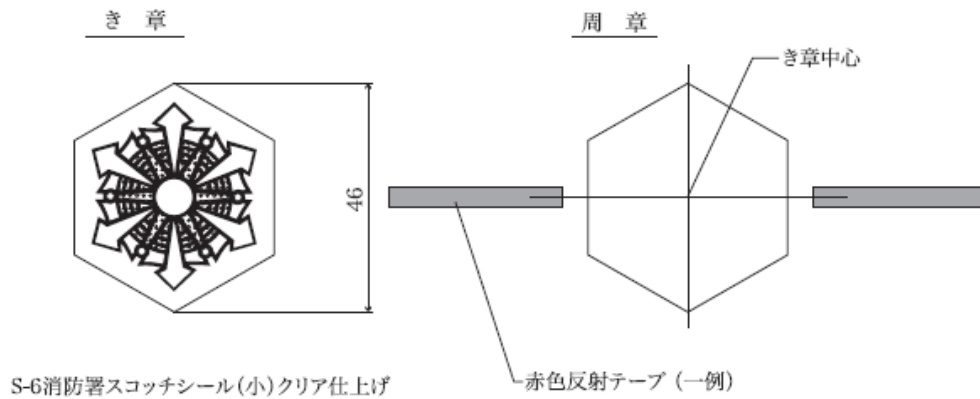
寸法は、外周緩衝を取り付けた時の数値とする。

概要図 2



概要図 3

単位:mm



標識の寸法及び向き

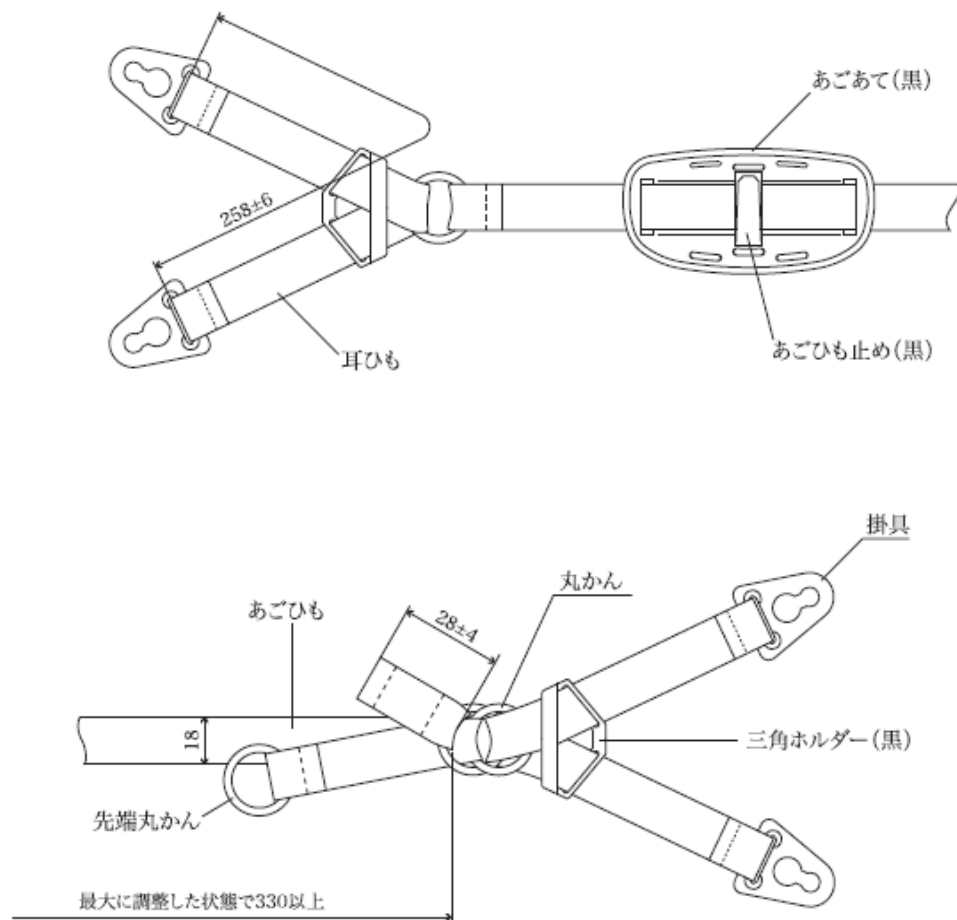
1. 相体の両側面
左書き
切り文字/黒 切り文字/紺
W17×H30×L150 英字H10×L125

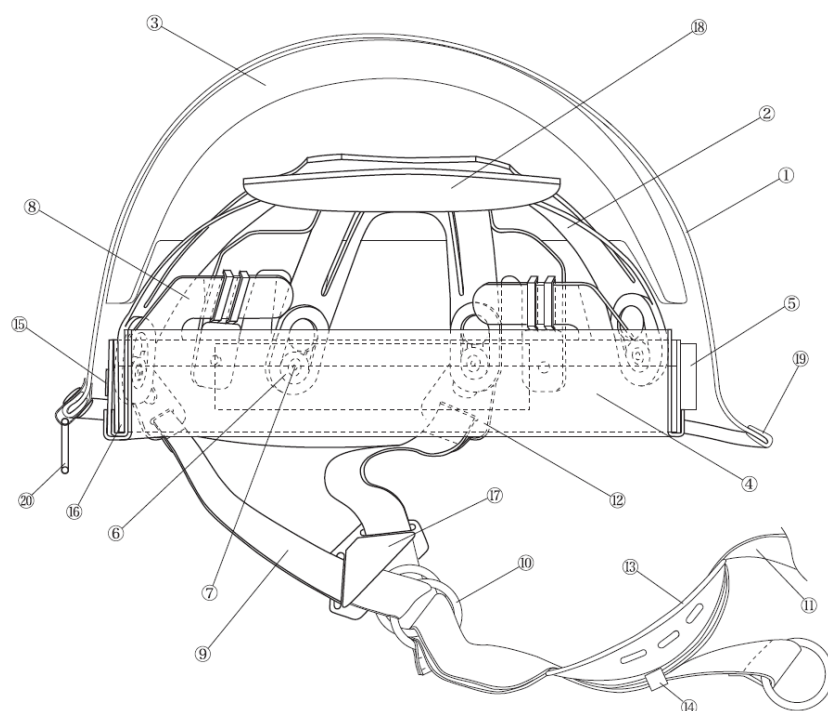
SANBU FIRE DEPT.
山武郡市消防本部

概要図 4

単位:mm

あごひもの形状





No.	部品名
①	帽体
②	ハンモック
③	衝撃吸収ライナー
④	汗取り
⑤	緩衝パッド
⑥	フランジ
⑦	リベット
⑧	ヘッドバンド
⑨	耳ひも
⑩	丸かん
⑪	あごひも
⑫	フック
⑬	あご当て
⑭	あごひも止め
⑮	固定金具
⑯	クッション
⑰	三角ホルダー
⑱	ヘッドクッション
⑲	緩衝材
⑳	掛け金具

13 ヘルメット仕様書

(ダイヤル調整無・ワンタッチ式)

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入するヘルメットについて定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 ヘルメットの納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 4 検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。
- 5 保安帽は、物体の飛来落下及び墜落から着装者の頭部を保護する構造及び性能を有し、頭部を動かしても、ぐらつきが小さく、着装者の不快感が少ないものとする。
- 6 保安帽は、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定に基づく保安帽の規格（昭和50年9月労働省告示第66号）に適合するものとする。
- 7 このヘルメットは、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
また、仕様内容と相違がある場合及び不合格の場合は、指示事項を訂正、修正又は交換の上、再検査を受けるものとする。
- 8 検査後であっても帽体、着装体等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 仕様材料

項 目		内 容	
帽体	本 体	材 質 表 面 寸 法	ポリエステル樹脂（F R P） 白とクリアの焼付け塗装 概要図1 参照
	階 級 線	材 質 貼付位置 反射素材	アクリル系プラスチック／赤反射 概要図2 参照 ガラスビーズ、アルミ反射層
	き 章	材 質 取付位置 寸 法	アクリル系プラスチック 概要図2 参照 概要図3 参照
	標 識	材 質 寸 法	塩化ビニール／黒／紺 概要図3 参照
	外周緩衝	材 質	軟質塩化ビニール／黒
	掛け金具	材 質	真鍮／ニッケルメッキ仕上げ
着装体	ハンモック	材 質	ポリエチレン／白
	連結リベット	材 質	真鍮
	ヘッドバンド	材 質	ポリエチレン／黒（吸湿性汗止め）
	緩衝パット	材 質 寸 法	E V A発泡 長さ1 2 0 mm以上、幅2 0 mm以上 厚み6 mm以上
衝撃吸収 ライナー		材 質 取 付 法	発泡スチロール 概要図5 参照
あごひも		材 質 寸 法	ナイロン／黒 概要図4 参照
重量		6 0 0 g 以下	

2 構造

保安帽は、帽体、着装体、衝撃救急ライナー及びあごひもで構成され概要図5のとおりとし、構成部分は次のとおりとする。

なお、(株) イマジョー製の品番 IMF-3 (白) 又は同等品以上とする。
同等品以上とする場合は事前に当消防本部と協議し承認を得ること。

(1) 帽体

ア 本体

- (ア) 本体は、帽体を形成する主要部分で、ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂（強化プラスチック製）とする。
- (イ) 外側の（表面）の仕上げは、白とクリアの焼付け塗装とし、安易に剥離しないものとする。
- (ウ) 表面は、滑らかで堅牢であること。

イ 階級線

- (ア) 階級毎に赤色の反射テープを帽体周囲に貼付すること。
- (イ) 貼付位置は周章の上端と下端が、き章の中心から等距離になるようにする。
- (ウ) 階級は消防正監・消防監・消防司令長・消防司令・消防司令補・消防士長・消防副士長・消防士とし、各数量については別途指示するものとする。

ウ き章

- (ア) スコッチシール（小） クリア仕上げ
- (イ) 取り付け位置は、前面の中央とし、接着は強固に行うものとする。

エ 本部名標識

文字の寸法及び向き等は、概要図3のとおりとする。

- (ア) 帽体の両側に、「SANBU FIRE DEPT. / 山武郡市消防本部」と2段で表示すること。
- (イ) 表示は、カッティングシールを使用し、「SANBU FIRE DEPT.」は青色、「山武郡市消防本部」は黒とする。
- (ウ) 字体は丸ゴシックとする。

オ 外周緩衝

帽体の外周には、幅約25mm、厚さ約1.5mm程度の黒ゴムを使用した緩衝材を内側と外側に折り曲げて張り巡らす。

カ 掛け金具

半月形で、黄銅製ニッケルメッキ及び同等の耐食性を有する金属製とし、本体の後部中央に取り付ける。

(2) 着装体

ア ハンモック

ポリエチレン成型品（白）とし、かぶり具合を調節できる補助ハンモック付きのものとする。

イ 連結リベット

真鍮成型品とし、帽体本体に固定され、ハンモック等の着装体が確実に取り付けられるものとする。

ウ ヘッドバンド

- (ア) ヘッドバンドは、ポリエチレン成型品で吸収性及び耐久性に優れた汗止めを外周に取り付けてあるものとする。
- (イ) ヘッドバンドの寸法は、長さ約660mm程度、幅約30mm程度とし、頭周に依じて概ね54cmから61cmまでの範囲で調整できること。

エ 緩衝パット

- (ア) EVA発泡製で、長さ約120mm以上、幅約20mm以上、厚さ約6mm以上の寸法とする。
- (イ) 取り付け位置は、ヘッドバンドと帽体本体の間で、前頭部及び両側頭部の位置とする。

(3) 衝撃吸収ライナー

- ア 発泡スチロール又は、これと同等の衝撃吸収性能を有するものとする。
- イ 帽体本体の内側に密着し、帽体外部からの衝撃エネルギーを有効かつ、安全に吸収できるように取り付ける。

(4) あごひも

- ア ナイロン製の重織（黒色）のワンタッチ式とする。必要に応じて引きひも式も選べるができること。
- イ 帽体又は着装体に固定され、使用中に帽体が脱落したり、ぐらつかないように確実に締め付けられるものとする。
- ウ ポリエチレン成形品（あご当て 黒色）を取り付ける。

3 重量

完成重量は、600g以下とする。

4 性能

告示に示された耐貫通性能及び衝撃吸収性能の数値を満足すること。

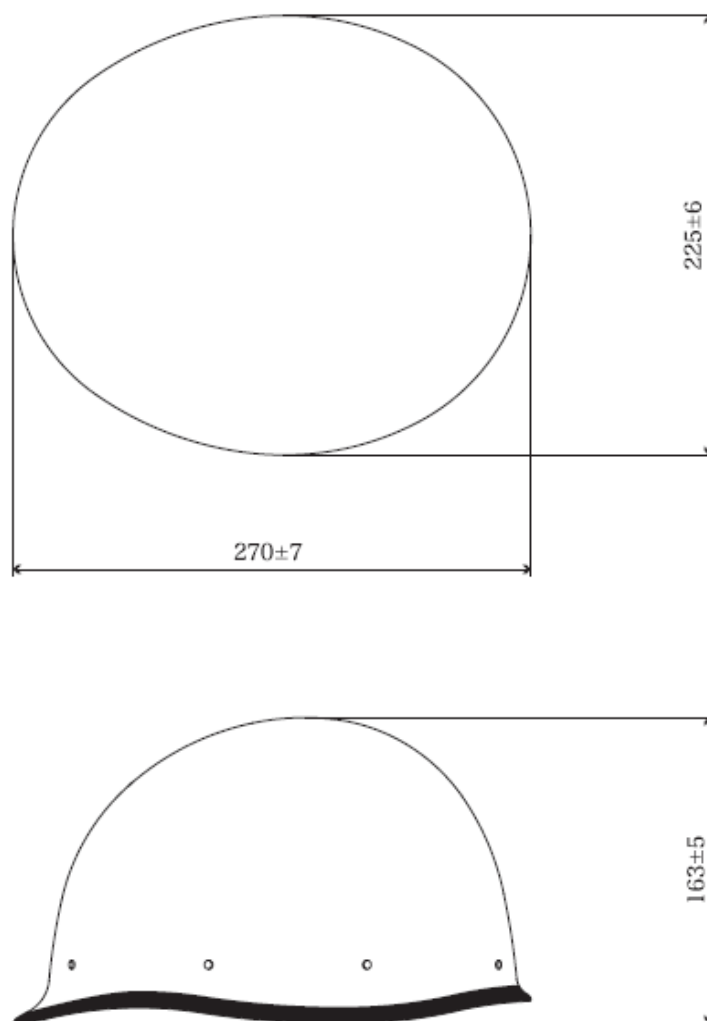
5 補則

- (1) 仕様書に記載のない部分については、当本部と打ち合わせをするものとする。
- (2) 当本部と受注者は、常に信義を重んじ、本仕様書に記した内容全般における疑義及び不備に関して良心を持って協議し、変更を加えこれを解決するものとする。

概要図 1

寸 法

単位:mm



寸法は、外周緩衝を取り付けたときの数値とする。

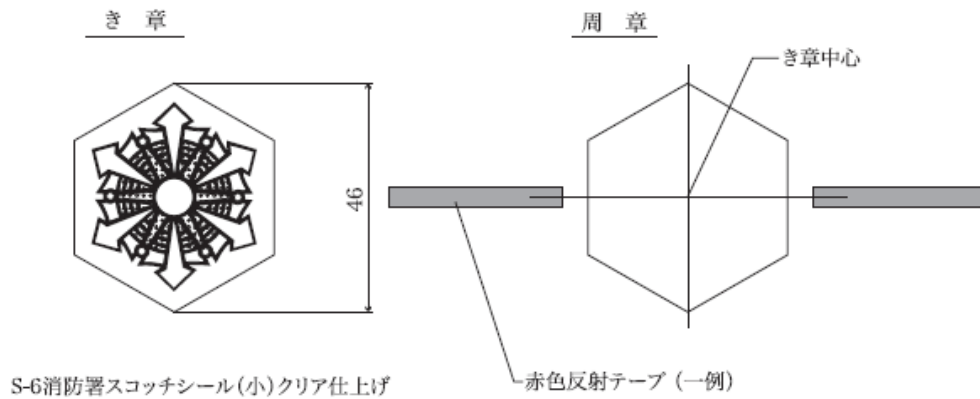
寸法は、外周緩衝を取り付けた時の数値とする。

概要図 2



概要図 3

単位:mm



標識の寸法及び向き

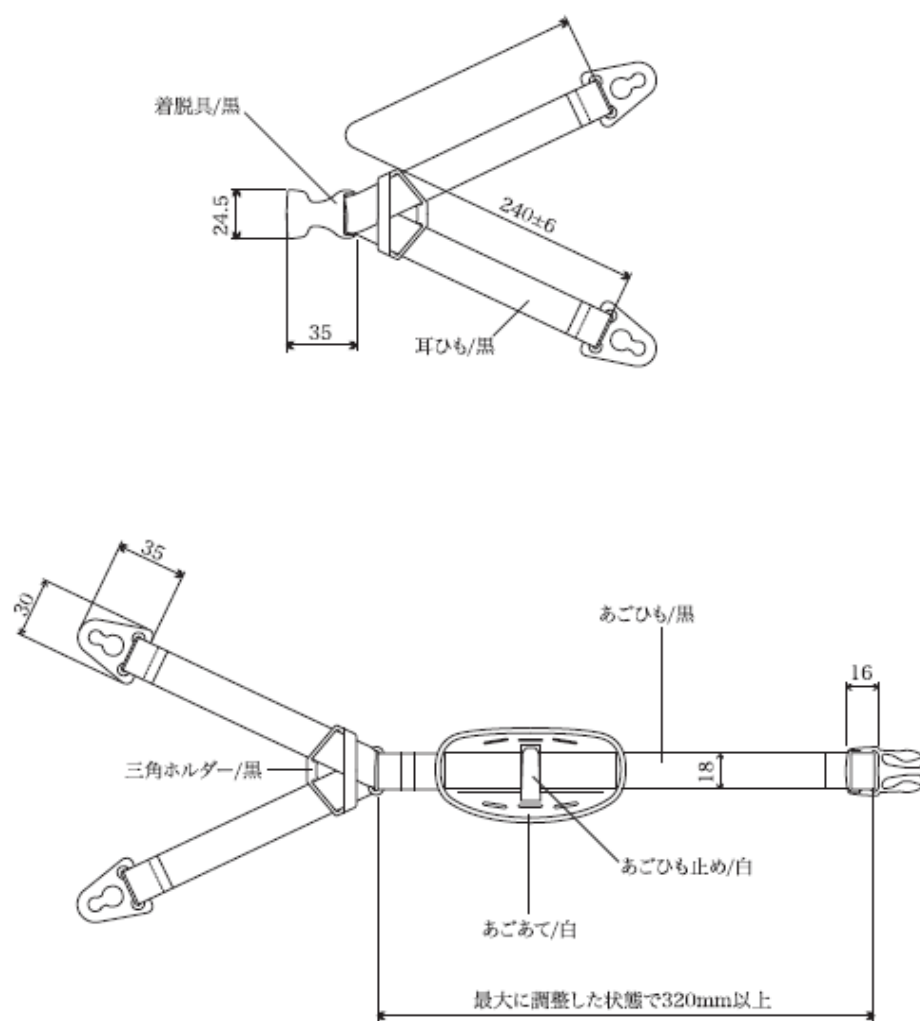
1. 相体の両側面
左書き
切り文字/黒 切り文字/紺
W17×H30×L150 英字H10×L125

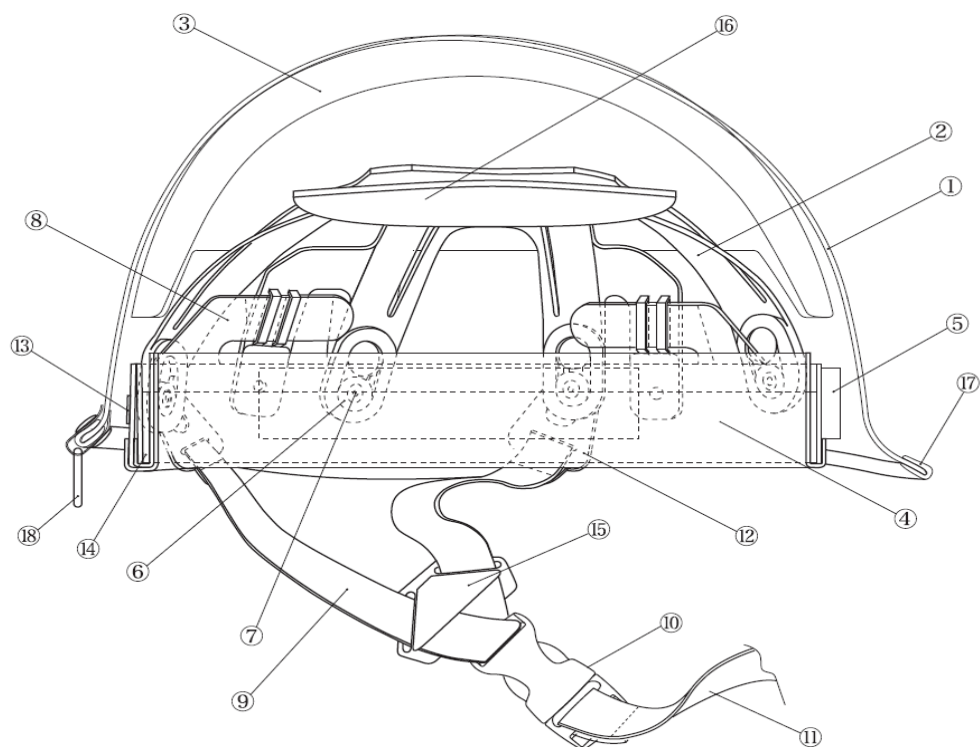
SANBU FIRE DEPT.
山武郡市消防本部

概要図 4

単位:mm

あごひもの形状





No.	部品名
①	帽体
②	ハンモック
③	衝撃吸収ライナー
④	汗取り
⑤	緩衝パッド
⑥	フランジBタイプ
⑦	リベット
⑧	ヘッドバンド
⑨	耳ひも
⑩	着脱具
⑪	あごひも
⑫	フック
⑬	固定金具
⑭	クッション
⑮	三角ホルダー
⑯	ヘッドクッション
⑰	緩衝材
⑱	掛け金具

1 4 ヘッドアップライト及びスペアゴム仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入するヘッドアップライト及びスペアゴムについて定める。
- 2 このヘッドアップライト及びスペアゴムは、仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。

第2 仕様

- 1 ヘッドアップライト
参考型式 エンデューロプロ Haz-Lo IEC 防爆モデル（同等品以上可）
- 2 ヘッドライト用スペアゴム
ヘッドアップライトヘルメット装着用シリコン製ゴムバンド
(20mm×700mm ゴム厚1mm)

第3 購入数

別紙納入物件一覧表のとおり。

第4 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第5 補則

納入先は当本部の指定する場所とする。

検査後であっても、不良品については受注者が全て責任をもって無償で修理又は交換する。

1 5 防 火 手 袋 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する防火手袋について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 この防火手袋は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 4 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理または交換すること。

第2 型式

- 1 厚手 トンボ K-A177NV ネイビー
サイズ（SS・S・M・L・LL・3L）
- 2 薄手 トンボ K-144NV ネイビー
サイズ（SS・S・M・L・LL・3L）

第3 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 防火手袋の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。

1 6 救 助 革 手 袋 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する救助革手袋について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 この救助革手袋は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 4 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 型式

- 1 アテ有 富士グローブ CW-021（サイズS・M・L・LL）
- 2 アテ無 トンボ R-MAX1（サイズS・M・L・LL）

第3 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 救助革手袋の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。

17 ブーツバンド仕様書

第1 総則

この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入するブーツバンドについて定める。

第2 型式

別図のとおりとし、業務での使用に際し支障のない強度・耐久性及び安全性等を持つものとする。

第3 購入数

別紙納入物件一覧表のとおり。

第4 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第5 補則

- 1 納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

別 図

全 長 約 2 0 0 mm
本体部分直径 約 6 mm
止金部分 約 1 0 mm



18 防塵メガネ仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する防塵メガネについて定める。
- 2 この防塵メガネは、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 3 フレーム
素材はハードコート加工されたポリカーボネート樹脂製の外側レンズとセルロースプロピオネート樹脂製の防曇加工された内側レンズで構成された透明な二重レンズで、交換可能なものとする。
- 4 レンズ
素材はハードコート加工されたポリカーボネート樹脂製の外側レンズとセルロースプロピオネート樹脂製の防曇加工された内側レンズで構成された透明な二重レンズで、交換可能なものとする。
- 5 質量は115g程度とする。
- 6 J I S T 8147と同等以上のレンズ耐衝撃性能を有すること。

第2 型式

防塵メガネ Tabata セイバービジョン（マットブラック）

第3 購入数

別紙納入物件一覧表のとおり。

第4 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第5 補則

防塵メガネの納入先は当本部の指定する場所とする。

検査後であっても、不良品については受注者が全て責任をもって無償で修理又は交換する。

1 9 防塵マスク及び吸収缶仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する防塵マスク及び吸収缶について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 この防塵マスク及び吸収缶は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 4 検査後であっても、不良品については受注者が全て責任をもって無償で修理又は交換すること。

第2 型式

- 1 防塵マスク シゲマツ TW02S
- 2 吸収缶 シゲマツ XL3/OV（2つ1組）

第3 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 防塵マスク及び吸収缶の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。

2 0 墜落制止用器具仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部が令和7年度に購入する墜落制止用器具について定める。
- 2 この墜落制止用器具は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 3 検査後であっても、生地、縫製上等による不良品は、受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 形状及び寸法

形状及び寸法は別図のとおりとする。

第3 購入数

別紙納入物件一覧表のとおり。

第4 材料

墜落制止用器具に使用する主な材料は、下表のとおりとする。

部品	材料
胴締めベルト	合成繊維を用いた細幅織のもの
バックル	JISG3141（冷間圧延鋼板及び鋼帯）SCM-435、又はこれと同等以上の機械的性質を有したもの
D 環（1 個）	JISG3101（一般構造用圧延鋼材）SS400、又はこれと同等以上の機械的性質を有したもの
D 環止め（1 個）	－
カラビナ	JISH4140（アルミニウム又はアルミニウム合金鍛造品）又はこれと同等以上の機械的性質を有したもの
ロープ	合成繊維製ロープを使用したもの
ショックアブソーバ	合成繊維製ベルトを使用したもの

第5 構造

墜落制止用器具の各部の構造は、下表のとおりとする。

部品	構造
胴締めベルト	ベルトの一端にバックル本体を取付け、他端に差込プレートを取付けた構造とする。バックル本体取付部は縫糸によって強固に縫い付け、十分な強度を有することとする。また、差込プレート側の端末はほつれ止め加工を施す。
バックル	装着の操作がワンタッチバックル式であること。取り外しの操作は、ツータッチ以上であること。ベルト長さ調節が容易な構造とする。
D 環	継目のない一体鍛造製であること。ベルトとの接触部分には磨耗防止の措置を講じること。
カラビナ	カギ部は二重の外れ止め装備を備えたものであること。
ロープ	三つ打ち Z 捻りとし、ロープの一端にカラビナを、他端にはショックアブソーバを 3 回以上のさつま編込みにて連結した構造とする。そのカラビナ取付部には摩耗防止の措置を講じること。
ショックアブソーバ	墜落制止時に衝撃を緩和する機能を有し、一端に胴ベルトと連結するための D 環を取付けること。

第 6 性能

墜落制止用器具の性能は、下記のとおりとする。

試験項目	試験方法	規格値
胴締めベルトの強さ	ベルトの両端をチャックでつかみ、引張り速さを毎分約 300mm 以内として引張荷重を加える。	15.0 kN 以下で破断しないこと
ロープの強さ	ロープの両端をチャックでつかみ、引張荷重を加える。	15.0 kN 以下で破断しないこと
カラビナの強さ	カラビナに引張用金具を掛けて、引張荷重を加える。	11.5 kN 以下で破断しないこと
D 環の強さ	D 環に引張用金具を掛けて、引張荷重を加える。	11.5 kN 以下で破断しないこと
D 環取り付け部の強さ	安全帯を径 260mm のドラムに装着し D 環に引張用金具を掛けて、引張荷重を加える。	11.5 kN 以下で破断しないこと
バックル連結部の強さ	バックルを使用状態にセットしベルトの全幅をチャックでつかみ引張荷重を加える。	8.0 kN 以下で破断しないこと
ショックアブソーバの強さ	ショックアブソーバに引張用金具を掛けて、引張荷重を加える。	15.0 kN 以下で破断しないこと
完成品の衝撃吸収性及び強さ	試験鉄塔の上部に取り付けたロードセルにロープ先端のカラビナを掛けて 100kg の砂のうに装着した安全帯をロープ長さ（1.6 m）だけ自由落下させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・衝撃荷重が 4.0kN 以下であること ・ショックアブソーバの伸びが 1.2m 以下であること

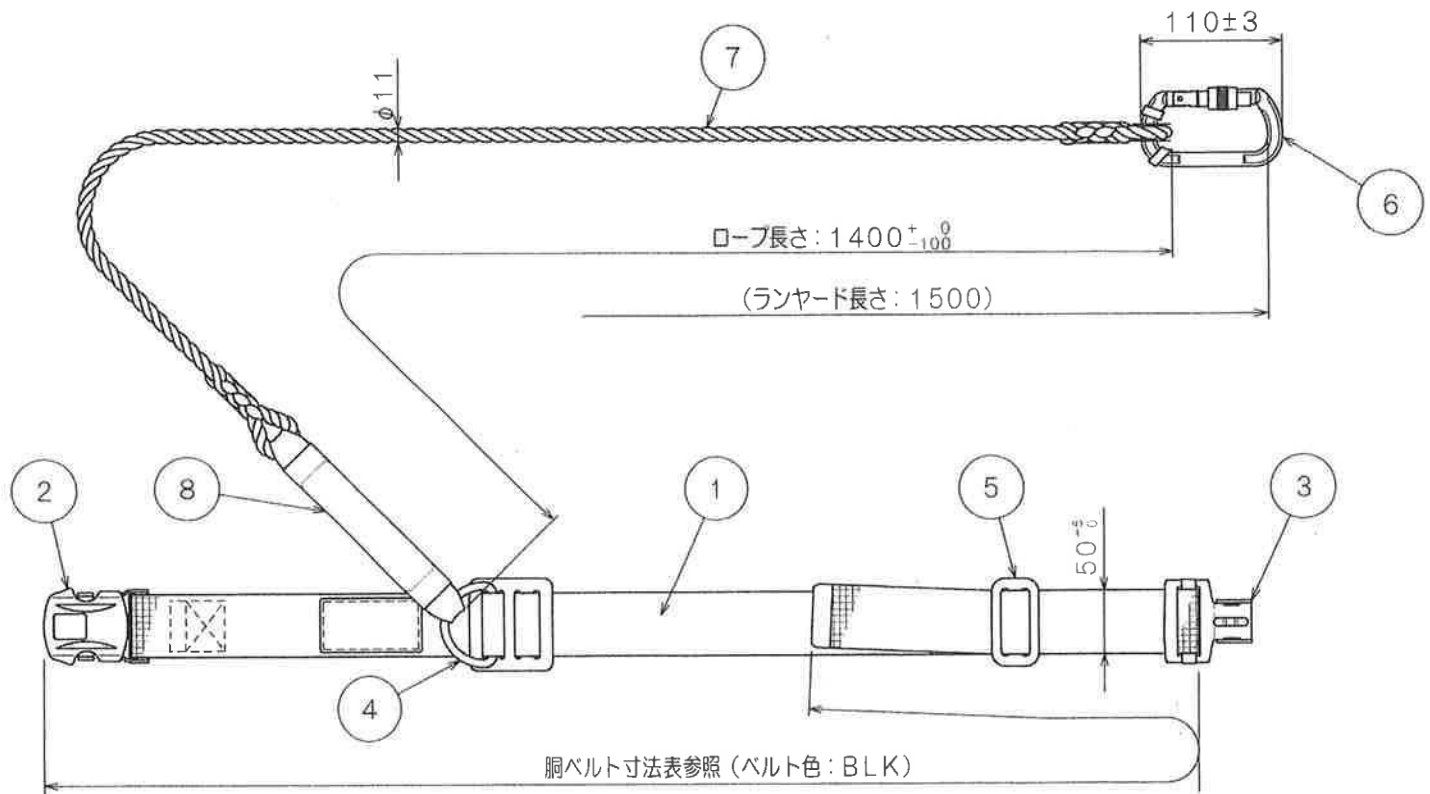
第 7 表示

墜落制止用器具の適当な箇所に次の事項を表示すること。

- 1 製造年月
- 2 製造番号
- 3 製造業者名又はその略号

別図

(単位：mm)



胴ベルト寸法表

番号	名称	番号	名称
1	胴ベルト	5	ベルト通し
2	ワンタッチバックル本体	6	カラビナ
3	バックル差込プレート	7	ロープ
4	D環	8	ショックアブソーバ

L	1400
M	1200
サイズ	寸法

※ 公差：±30

2 1 防 火 フ ー ド 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する防火フードについて定める。
- 2 この防火フードは、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。

第2 仕様

アラミド繊維又は炭素系繊維を使用し、「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン（改訂版）」に求められる性能を有していること。

色にあつては黒色とする。

参考型式 カムイプロファイター キャスバン 防火フード AK-F219

第3 購入数

別紙納入物件一覧表のとおり。

第4 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第5 補則

- 1 納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

22 丸首シャツ等仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する丸首シャツ等について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり。
- 3 売渡人は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この消防用被服は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても生地、縫製上等による不良品は売渡人が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 丸首シャツ

(1) 型式

ア 丸首シャツ(半袖紺)

- (ア) 難燃Tシャツ グランロボ 18600 ネイビー
(イ) 胸部及び背部に右図に示すプリントをする
(ウ) 文字の色にあってはオレンジとする



イ 丸首シャツ(長袖紺)

難燃長袖Tシャツ グランロボ 28650 ネイビー

(2) 寸法

(単位: cm)

	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
身 丈	63	66	69	72	75	78	80	82
身 幅	90	96	102	108	114	120	126	132

2 トレーナー

(1) 型式

トレーナー (紺) A I M Y 0 0 1 8 3 - N S C

(2) 寸法

(単位：cm)

サイズ	袖 丈	身 丈	身 巾	肩 幅
X S	5 6	6 0	4 7	4 2
S	5 9	6 4	5 0	4 4
M	6 2	6 7	5 3	4 7
L	6 3	7 0	5 6	5 0
L L	6 3	7 3	5 9	5 3
3 L	6 3	7 6	6 2	5 6

3 白手

(1) 型式

フジテ ナイロンW巻べりホック付

(2) 寸法

S ・ M ・ L ・ L L

4 警笛

型式 モルテン R A 0 0 5 0 K

第3 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 丸首シャツ等の納入先は、当本部の指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。

2 3 短 靴 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する静電気帯電防止性能を有する短靴について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この短靴は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても革、縫製上等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 製法及び種類

靴の製法は、JIS S 5050（革靴）に規定するセメント式（C式）製法とし、靴の種類は JIS T 8103 に規定する静電気帯電防止靴（記号 A S－W）に準ずる。

2 形式

形式は、プレーンスリップオン式短靴（通気機能付）とする。（図－1）

3 各部の名称及び主要材料

(1) 各部の名称

各部の名称は、表－4 及び図－1 による。

(2) 主要材料

ア 甲被

甲被は厚さが均等で、きずなどの欠点がなく、クロムなめし法により製造し、JIS T 8101 の革の試験方法により試験し、表－1 の規定に適合した牛クロムなめし革を用いる。

表－1

項 目		規格
厚さ		1.5 mm ± (0.2 mm)
銀面割れ	高さ	6.0 以上 (mm)
	荷重	150 N 以上
クロム含有量		3.0 ～ 5.5 (%)

イ 甲縫糸

甲縫糸は、太さ及びより方は均等で、使用目的に適合する合成繊維糸を用いる。

ウ 中底

中底は、柔軟かつ、強靱で、屈とう性、吸湿性に富み、使用条件に適合する材料とする。

エ 表底

表底は、JIS T 8101 の表底の試験方法により試験し、表－２の規定に適合した発泡ポリウレタンを用いる。

表－２

項 目	規格値
引張強さ	6 MPa 以上
伸 び	3 0 0 %以上
引裂強さ	2 5 N/mm以上

オ 付属品

先芯、中敷等の付属品は、使用目的に適合したものを使用する。

4 構造及び寸法

(1) 構造

靴の構造は、つま先部に合成材、先芯を装着したもので、履口にクッションを取り付けたプレーンスリップオン式短靴の形状とする。(図－１、２参照) 表底に通気溝を設け、中底、中敷には通気穴を施した通気構造を兼ね備えたものとする。

(図－２、３参照) 表底は、クッション性の良い発泡ポリウレタンを使用し、底意匠は滑り止め機能を有する意匠とする。(図－２参照) また、靴底は静電気を除去する目的の静電気帯電防止機能がある構造とする。

(2) 寸法

靴型寸法は、JIS S 5037 靴のサイズに規定する EEE(男女兼用)を準用し、サイズは表－３のとおりとする。

表－３

(単位：c m)

23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0
26.5	27.0	27.5	28.0	29.0	30.0

5 完成品の性能及び試験方法

(1) 表底のはく離抵抗

靴の表底のはく離抵抗は、JIS S 5050 に規定するはく離試験方法により試験し、1 5 0 N以上とする。

(2) かかと部の衝撃エネルギー吸収性

靴のかかと部の衝撃エネルギー吸収性は、JIS T 8101 のかかと部の衝撃エネルギー吸収性試験方法により試験し、吸収エネルギーは2 0 J 以上とする。

(3) 屈曲性

靴の屈曲性は、厚生労働省 独立行政法人産業安全研究所の「安全靴技術指針」に規定する屈曲試験方法により試験し、屈曲抵抗は90未満（区分2）とする。

(4) 耐滑性

靴の耐滑性は、厚生労働省 独立行政法人産業安全研究所の「安全靴技術指針」に規定する屈曲試験方法により試験し、耐滑性能の等級区分は4以上とする。

(5) 静電気帯電防止性能

靴の静電気帯電防止性能は、JIS T 8103 の試験方法により試験し、電気抵抗(R)は、 $1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^9$ 以内であること。

6 品質及び外観

靴は仕上げが良好で、形状が均整かつ、堅固なもので、3の規定を満足する材料を用い、傷、斑点、汚れ、その他著しく外観を損なうような欠点がないものとする。

7 検査及び試験

(1) 静電気帯電防止性能試験

靴の静電気帯電防止性能試験は、JIS T 8103（1998年度版）に規定する第2試験方法により全数検査を行う。

(2) 材料及び完成品検査

材料及び完成品についての検査は、合理的な方法で行い、試験は JIS S 5050、JIS T 8101、及び「安全靴技術指針」の規定により行う。

8 包装

靴は、1足ずつ個装箱に箱詰めする。

9 表示

(1) 表底

靴の表底には、サイズ（足長、足囲）、製造業社名又は略号等を容易に消えない方法で表示する。

(2) 個装箱

個装箱には、靴の品名、サイズ（足長、足囲）、製造業者名又は略号等を表示する。

10 試験成績票及び使用説明表

静電靴には、1足毎に試験成績票及び使用説明表（様式－1）を添付する。

表一4

(単位:mm)

No.	名 称	材 料 名	摘 要
①	先 革	牛クロムなめし革 黒	別規格の通り
②	腰 内 革	〃 〃	〃
③	腰 踵 革	〃 〃	〃
④	べ ろ 革	〃 〃	〃
⑤	履 口 革	〃 〃	〃
⑥	バンド革	〃 〃	〃
⑦	バンド飾りテープ	3ツ折りテープ 黒合皮	幅4.0標準
⑧	先 裏 布	合成材 (キルティング) グレー	厚さ2.0標準
⑨	腰 裏 布	不織布 (マリーク) 〃	片面糊引加工
⑩	べ ろ 裏	〃 〃	〃
⑪	す べ り	合成材	厚さ0.8以上
⑫	履口スポンジ	ウレタンスポンジ	厚さ5.0標準
⑬	甲 ゴ ム	甲ゴム	幅25
⑭	ワンポイント美錠	真鍮製	
⑮	甲 縫 糸	合成繊維糸	#30番手相当
⑯	先 芯	合成材	厚さ1.2以上
⑰	月 型 芯	合成材	最厚部1.7以上
⑱	中 底	合成材(導電ライトレン)+プレスボード中継	厚さ2.5以上
⑲	中 物	導電スポンジ	厚さ2.5以上
⑳	踏まずしん	樹脂シャンク	厚さ1.0標準
㉑	中 敷	カップインソール (導電仕様)	アーチクッション付
㉒	表 底	発泡ポリウレタン (静電配合)	別規格の通り

第3 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 短靴の納入先は、当本部が指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。

図-1 外觀図

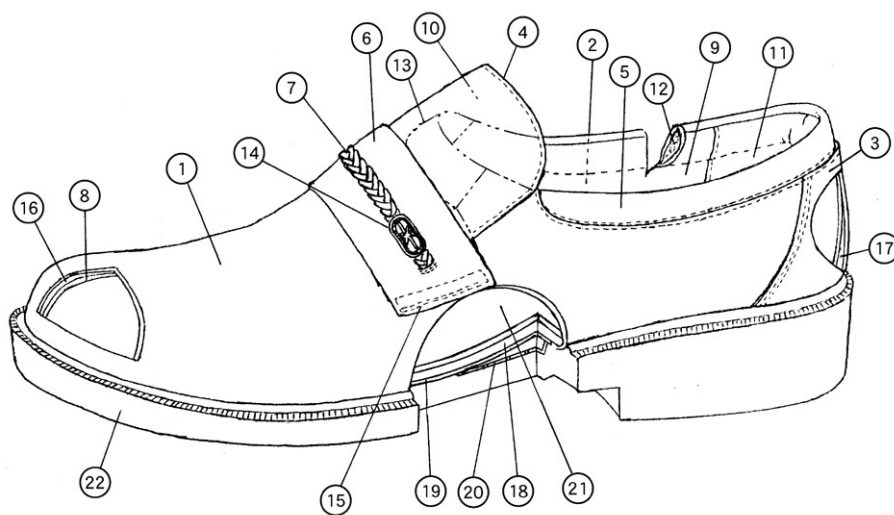


図-2 底意匠図

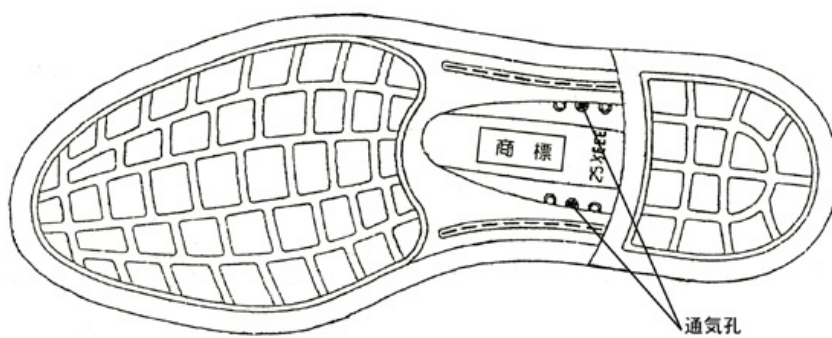
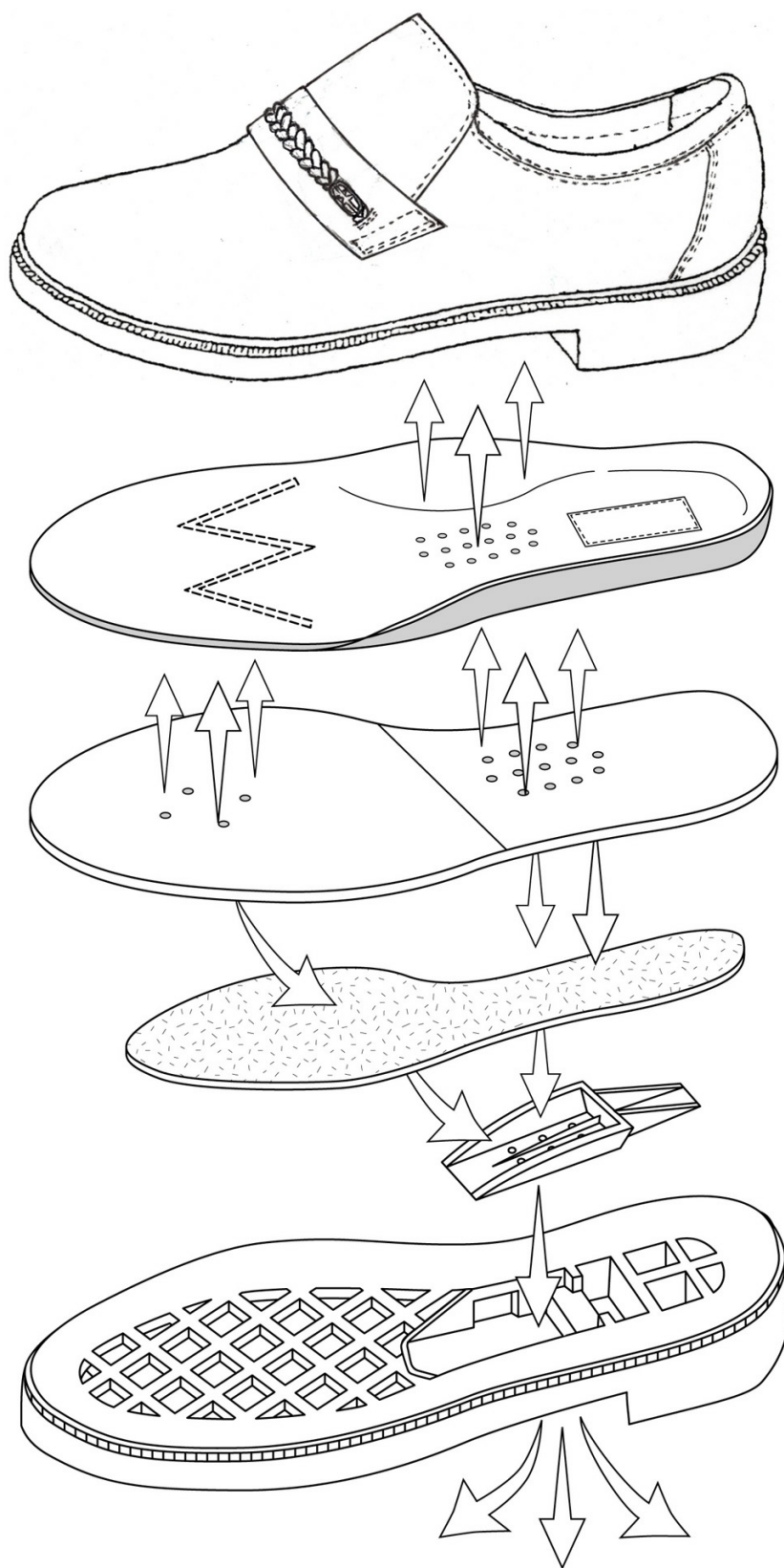


図-3 通気構造図



様式1

表面

静電靴試験票				検査年月日	
規格	種類	静電気帯電防止靴		検査担当者	
	電気抵抗(R) $\times 10^6 \Omega$ [M Ω]	$0.1 \leq R \leq 1000$			
試料番号		№ 088569		着用年月日	年 月 日
電気抵抗(R) $\times 10^6 \Omega$ [M Ω]	JIS規格法(抜取検査)20℃				所属
	右		左		
	個別測定法(全数検査)				氏名
	合格				

(注) 個別測定法とは、JIS T 8103-1983 版の第2試験方法を採用。
 お願い：太枠内の事項をご記入の上安全担当部門にお渡し願います。

裏面

静電靴をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

この静電靴は、JIS T 8103 (静電気帯電防止靴) の規格による帯電防止性能を有した靴です。
 静電気帯電防止及び安全確保上、ご使用の際次の事項を厳守されますようお願いいたします。

注 意 事 項

- 絶縁性のプラスチック系張り床、塗り床などでは帯電防止が期待できませんので、床の静電気対策も実施して下さい。
- 感電防止を目的とした靴ではありませんので、靴または体の一部を電気機器、配線などの充電部（裸線等）にふれないで下さい。
- 着用後、使用状況等により帯電防止性能（靴の抵抗値）が、変化する場合がありますので、定期的に帯電防止性能を確認して下さい。
- 静電気帯電防止性能を維持するために、次のことを遵守して下さい。
 - 絶縁性の中敷きや厚手の靴下を使用しないこと。
 - 靴底に塗料、樹脂などの物質が付着した場合には、帯電防止性能が低下しますので、取り除いて下さい。
- 次の場合には、抵抗値が変化しますので、使用しないで下さい。
 - 表底にくぎ、金属片などの導電性物体が突き刺さったとき、又は靴底が損傷、劣化した場合。
 - 靴全体が濡れた状態である場合。
- ご不明の点、疑問等ございましたらミドリ安全㈱にお問い合わせ下さい。

2 4 編 上 靴 仕 様 書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する静電気帯電防止性能を有する編上靴について定める。
- 2 購入数 別紙納入物件一覧表のとおり
- 3 受注者は、各自の採寸を行うこと。
- 4 この編上靴は、この仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。
- 5 検査後であっても革、縫製上等による不良品は受注者が全て責任を持って無償で修理又は交換すること。

第2 仕様

1 製法及び種類

靴の製法は、直接加硫圧着式製法とし、靴の種類は JIS T 8101 : 2006（安全靴）に規定する革製普通作業用（S）とし、付加的性能として、かかと部の衝撃エネルギー吸収性（E）、耐滑性（F）、耐踏抜き性（P）を有し、かつ、JIS T 8103 : 2010（静電気帯電防止靴）に規定する静電安全靴：環境区分1（ED-P/C1）とする。

2 形式

形式は、外ファスナー付きひもタイプ内羽根長編上靴とする。（図－1）

3 各部の名称及び主要材料

(1) 各部の名称

各部の名称は、表－6 及び図－1 による。

(2) 主要材料

ア 甲被

甲被は、厚さが均等で、傷などの欠点がなく、クロムなめし法により製造し、JIS T 8101:2006（安全靴）の革の試験方法によって試験したとき、表－1 に適合した耐熱性のある牛クロムソフト型押し銀付革を用いる。

表－1

項 目		規 格
銀面割れ	突き上げ高さ	6. 0 mm以上
	荷重	1 5 0 N以上

クロム含有量	3. 0%～5. 5%
--------	-------------

イ 甲縫糸

甲縫糸は太さ及びより方は均等なもので、使用目的に適合する合成繊維糸を用いる。

ウ 先しん

先しんは、表面をすべて平滑に仕上げ、へり、かどに丸味をつけたワイド強化樹脂先しんを用いる。

エ 中底

中底は、導電性を有し、柔軟性、吸放湿性に富み、使用条件に適合する材料を用いる。

オ 表底

表底接地部（アウトソール）は、滑り止め効果のある形状を有し、JIS T 8101：2006 の表底の試験方法によって試験したとき、表－2 に適合した合成ゴムを用いる。

表－2

項 目		規 格
引張試験	引張強さ	1 4 M p a 以上
	伸び	3 0 0 % 以上
引裂試験	引裂強さ	3 5 N / mm 以上
老化試験	引張強さの変化率	± 1 5 %
浸せき試験	体積変化率	1 2 % 以下

カ 付属品

付属品は、使用目的に適合したものを使用する。

4 構造及び寸法

- (1) 人体に帯電する静電気を低温低湿度環境下でも安定して靴底から漏洩させる性能を有した構造で、下記の特徴をもつ内羽根長編上タイプとする。

ア つま先にワイド強化樹脂製先しんを装着

イ 内腰部にパッチ革（当て革）付き

ウ 履き口部裏に靴内部に入れた裾がずれないようにスベリ止め（縁裏）付き

エ 市革部と踵部の2か所に暗所での視認性を高めるための反射材付き

オ 外腰部に脱ぎ履きが容易なように履き口から足甲部側のファスナーを傾斜

カ 屈曲しやすいようにはとめ革足首付近に切れ込み入り

キ ファスナーに長さ3 0 mm～3 5 mmのつまみ付き

ク べろ革裏に氏名片布付き

(2) 表底

クッション性と耐熱性に優れ、JIS T 8101 : 2006 に表底材として規定された合成ゴムの加熱一体成形された 2 層底（発泡ゴムと無発泡ゴムの 2 層構造）で、踏抜防止板を内装し、底意匠（スリップサイン付）は耐滑性、屈撓性、泥づまり防止を加味したものとする（図－ 1、 2）。

(3) サイズ

靴のサイズは JIS S 5037 : 1998（靴のサイズ）に規定する E E E を準用し、表－ 3 のとおりとする。

表－ 3

（単位： c m）

22	22.5	23	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	29	30
----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	----	----

6 完成品の性能

(1) 完成品の性能

ア 耐衝撃性及び耐圧迫性

靴の耐衝撃性及び耐圧迫性は、JIS T 8101 : 2006 の衝撃試験方法及び圧迫試験方法によって試験したとき、表－ 4 に適合すること。

イ 表底のはく離抵抗

靴の表底のはく離抵抗は、JIS T 8101 : 2006 の表底のはく離試験方法によって試験したとき、表－ 4 に適合すること。

ウ かかと部の衝撃エネルギー吸収性

靴のかかと部の衝撃エネルギー吸収性は、JIS T 8101 : 2006 のかかと部の衝撃エネルギー吸収試験方法によって試験したとき、表－ 4 に適合すること。

エ 耐滑性

靴の耐滑性は、JIS T 8101 : 2006 の耐滑試験方法によって試験したとき、表－ 4 に適合すること。

オ 耐踏抜き性

靴の耐踏抜き性は、JIS T 8101 : 2006 の耐踏抜き試験方法によって試験したとき、表－ 4 に適合すること。

カ 帯電防止性能

靴の帯電防止性能は、JIS T 8103 : 2010 の 9.1 によって試験したとき、測定値では 1 5 秒値と 1 分値の両方で、靴 1 個当たりの電気抵抗（R）が表－ 4 に適合すること。

また、JIS T 8103 : 1983 の第 2 試験方法によって試験したとき、靴 1 個当たりの電気抵抗（R）が表－ 4 に適合すること。

表－ 4

項 目	規 格		
耐衝撃性及び耐圧迫性 （試験条件： S 種）			
	サイズ（ c m）	すき間（ mm）	

		2 3 以下	1 2. 5 以上	※すき間…中底と先しんとのすきま
		2 3. 5 ～ 2 4. 5	1 3. 0 以上	
		2 5 ～ 2 5. 5	1 3. 5 以上	
		2 6 ～ 2 7	1 4. 0 以上	
		2 7. 5 ～ 2 8. 5	1 4. 5 以上	
		2 9 以上	1 5. 0 以上	
表底のはく離抵抗	表底のはく離抵抗が 3 0 0 N 以上			
かかと部の 衝撃エネルギー吸収性	吸収エネルギーが 2 0 J 以上			
耐滑性	動摩擦係数が 0. 2 0 以上			
耐踏抜き性	くぎが貫通したときの力が 1 1 0 0 N 以上			
帯電防止性能	JIS T 8103 : 2010 の 9.1 によって試験したとき、 靴 1 個当たりの電気抵抗 (R) が、 測定温度 23±2℃、相対湿度 12±3% (環境区分 1) において、 1.0×10 ⁵ ≤ R ≤ 1.0×10 ⁸ Ω (0.1 ≤ R ≤ 100 MΩ) 測定温度 0+2℃ (相対湿度を定めない) において、 1.0×10 ⁵ ≤ R ≤ 1.0×10 ⁹ Ω (0.1 ≤ R ≤ 1000 MΩ)			
	JIS T 8103 : 1983 の第 2 試験方法によって試験したとき、 靴 1 個当たりの電気抵抗 (R) が、 1.0×10 ⁵ < R < 1.0×10 ⁸ Ω (0.1 < R < 100MΩ)			

6 耐熱性能

(1) 表底の接触耐熱性

表底及び表底接地部の接触耐熱性は、ISO20344：2011の8.7の高温耐熱接触性試験方法によって試験したとき、表－5に適合すること。

(2) 靴内部の接触断熱性

靴内部の接触断熱性は、ISO20344：2011の5.12の接触断熱性試験方法によって試験したとき、表－5に適合すること。

表－5

項 目		規 格
表底の 接 触 耐 熱 性	表底 (ミッドソール)	300℃、1分の接触で溶融なく、屈曲による亀裂が発生しない事
	表底接地部 (アウトソール)	

靴内部の接触断熱性	1 5 0℃熱板接触で靴内部の 2 2℃温度上昇するまでの時間が 20 分以上
-----------	---

7 品質及び外観

靴は、仕上げが良好で、形状が均整かつ堅固なもので、使用上有害な傷、斑点、汚れ及びその他著しく外観を損なうような欠点がないものとする。

8 検査及び試験

(1) 帯電防止性能検査

靴の帯電防止性能検査は、JIS T 8103 : 2010 の 9.1 に規定する試験方法により、抜取検査を行うと共に JIS T 8103 : 1983 の 6.1.2 に規定する第 2 試験方法により全数検査を行う。

(2) 材料及び完成品検査

材料及び完成品についての検査は合理的な方法で行い、試験は JIS T 8101 : 2006 の規定により行う。

9 包装

靴は、1 足ずつ個装箱に箱詰めする。

10 表示

(1) 製品

靴の表底には、社標、サイズ、JIS マーク、認証機関名又は略号等を容易に消えない方法で表示する。

靴の中敷には、JIS マーク、認証機関名又は略号、JIS 規格による種類、JIS 認証番号、製造業者名又は略号等を表示する。

また、べろ革裏にネーム布（図－2）を縫い付ける。

(2) 個装箱

靴の個装箱には、品名、サイズ、JIS マーク、認証機関名又は略号、JIS 認証番号、JIS 規格番号、JIS 規格による種類、製造業者名又は略号等を表示する。

(3) 静電靴検査票

靴には、1 足毎に静電靴検査票（裏面：注意事項）を添付する。

11 品質及び環境保全

本仕様書に規定される靴は、JIS 合格品であり、2. 製法及び種類に該当する JIS 認定工場、かつ、品質に関わる ISO9001 及び環境に関わる ISO14001 またはエコアクション 2.1 を認証取得した工場で製造する。

第3 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第4 補則

- 1 編上靴の納入先は、当本部が指定する場所とする。
- 2 本仕様書に疑義を生じた場合は、速やかに当本部に連絡するとともに、必要な指示を受けること。

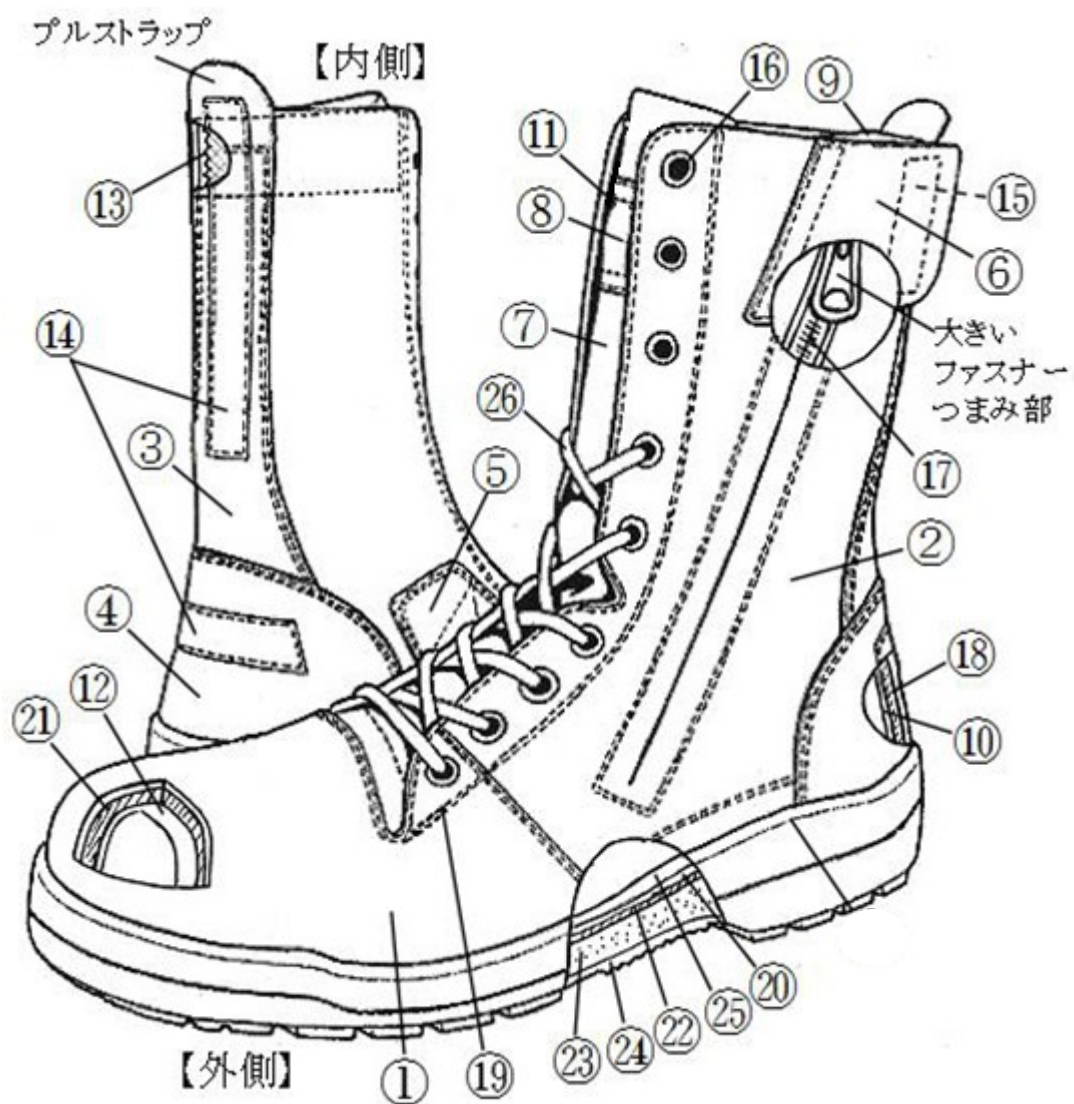
表－6

(単位：mm)

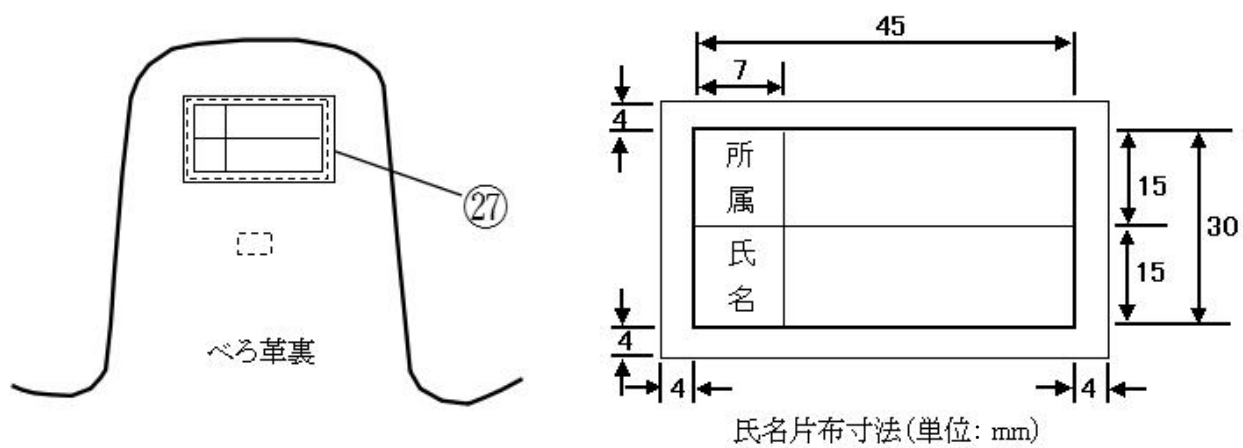
NO.	名 称	使 用 材 料	備 考
①	先 革	牛クロムソフト型押し銀付革 黒	厚さ 1.7 標準
②	腰 革	// //	//
③	市 革	// //	//
④	アウポケ	// //	//
⑤	パッチ革	// //	//
⑥	ファスターカバー革	// //	//
⑦	べろ革	牛ソフト革 //	厚さ 1.1 標準
⑧	べろ落ち防 止革	// //	//
⑨	防水革	// //	//
⑩	インポケ	// //	//
⑪	はとめ裏	// //	//
⑫	先 裏	合成材 グレー	
⑬	縁 裏	PVC製 黒	
⑭	反射テープ	合成材反射布 オレンジ	幅 15 標準、市革部・アウポケ部

⑮	マジックテープ	合成樹脂製 黒	幅 25×45 標準
⑯	はとめ	真鍮製 〃	#300 丸／黒天塗
⑰	サイドファスナー	樹脂コイルファスナー No.8 〃	長さ 200～230 標準、つまみ長さ 35 標準
⑱	月形しん	再生革	
⑲	甲縫糸	合成繊維糸 黒	#20 番手相当
⑳	中 底	導電性合成材	
㉑	先しん	ワイド強化樹脂製	
㉒	踏抜防止板	ステンレスバネ鋼	厚さ 0.4 標準
㉓	表底 (ミッドソール)	発泡合成ゴム 黒	静電配合
㉔	表底接地部 (アウトソール)	耐油性合成ゴム 〃	〃 図 - 3 による
㉕	中 敷	合成材全敷 (カップ°インソール) 〃	導電構造、抗菌・防臭加工
㉖	靴ひも	綿、合成繊維混紡 〃	長さ 1600 標準
㉗	氏名片布	綿布	

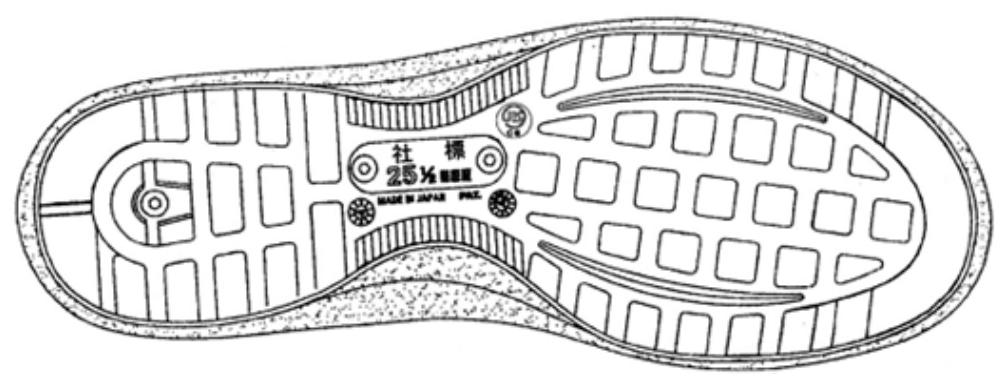
図-1 外観



図－２ 氏名片布



図－３ 底意匠



※ただし、図による各部の形状は多少の相違を認めるものとする。

2 5 エルボーパッド・ニーパッド仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入するエルボーパッド及びニーパッドについて定める。
- 2 このエルボーパッド及びニーパッドはこの仕様書の全てを満足させるものであるとともに、納入時の検査によって仕様書に適合することが確認されること。

第2 型式

- 1 エルボーパッド シルバーフォックス（SP300）
- 2 ニーパッド シルバーフォックス（SP400）

第3 購入数

別紙納入物件一覧表のとおり。

第4 検査

検査は、納入時に当本部の係員が立会いの上で数量、外観目視点検を行うものとする。

第5 補則

納入先は当本部の指定する場所とする。

検査後であっても、不良品については受注者が全て責任をもって無償で修理又は交換する。